

ビジネスパーソン向け 統計データ活用セミナー

跡見学園女子大学
山澤成康

プログラム概要

- 1. なぜ今「データ分析×政府統計」か？
- 2. データ分析は何から始めればいいのか？
- 3. Excelを使った政府統計データの分析（演習）

1. なぜ今「データ分析×政府統計」か？

- ① データ分析に政府統計を使うメリット
— 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完
- ② ビジネスシーンでの活用可能性
— 市場分析・需要予測・地域比較などへの応用
- ③ 政府統計データ活用の先行事例紹介
— 民間企業での具体的導入例を紹介

- ①データ分析に政府統計を使うメリット
ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

政府統計のメリット

信頼性

公的に整備された客観データ
経営計画・報告書

多様なデータ

市場・需要の把握
新商品開発・販路拡大

マクロ経済の把握

景気・産業の動向分析
リスクマネジメント

詳細さ

立地・商圈分析
店舗展開計画

コスト削減

無料の高品質データ
分析の基本

説得力

公的根拠で説得力UP
提案書・IR資料

- ①データ分析に政府統計を使うメリット
ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

主な統計の紹介

	統計名称	調査項目
人口統計	国勢調査	年齢、性別、世帯構成、職業など
		世帯数、家族構成、住宅情報
	人口推計	年齢別人口、男女別人口、地域別人口
生活関連統計	家計調査	消費支出、収入、貯蓄・負債
	労働力調査	就業者数、就業形態、失業率
産業・企業統計	経済センサス	企業数、業種別売上高、従業員数
	鉱工業指数	製造業や鉱業の生産数量、出荷額、在庫水準
	商業動態統計調査	小売業、卸売業の売上高、在庫、販売数量

- ①データ分析に政府統計を使うメリット
ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

統計の紹介

家計調査

- ・ 毎月何にどの程度支出したか
- ・ 収入階級別、年齢別

国勢調査

- ・ 地域ごとの人口、世帯

経済センサス 活動調査

- ・ 地域ごとの事業所数、従業員数、売上高

- ①データ分析に政府統計を使うメリット
 ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

ビジネスシーンでの活用例（1）

分野	活用内容	主な利用統計例
① 市場分析	商品の特性を分析する	家計調査
② 地域分析・立地戦略	地域ごとの人口構成、所得水準、産業構造を分析して出店・投資先を決定	国勢調査、経済センサス活動調査
③ 顧客セグメンテーション	年齢・性別・職業・家族構成などの人口統計からターゲット顧客層を設定	国勢調査、就業構造基本調査
④ 景気・業界動向分析	マクロ経済・産業別動向をモニタリングし、経営判断や在庫調整に活用	景気動向指数、鉱工業生産指数、法人企業統計調査
⑤ 労働市場・人材戦略	労働需給や賃金動向を分析し、採用・給与戦略に反映	労働力調査、賃金構造基本統計調査

- ①データ分析に政府統計を使うメリット
ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

ビジネスシーンでの活用例（2）

分野	活用内容	主な利用統計例
⑥サステナビリティ・ESG対応	CO ₂ 排出、エネルギー消費、廃棄物量などの統計で環境経営を支援	総合エネルギー統計
⑦ 観光・インバウンド分析	訪日外国人の動向や旅行支出の分析で観光ビジネスを最適化	インバウンド消費動向調査 (旧 訪日外国人消費動向調査)
⑧ 不動産・都市開発分析	地価・住宅需要・建築動向を把握し、開発計画や投資判断に活用	住宅・土地統計調査、建築着工統計調査
⑨ リスクマネジメント・事業継続計画（BCP）	災害リスク、人口減少、感染症動向などを定量的に評価	気象統計、人口動態調査
⑩ イノベーション・新規事業探索	統計を組み合わせ、未開拓ニーズ・成長分野を特定	科学技術研究調査

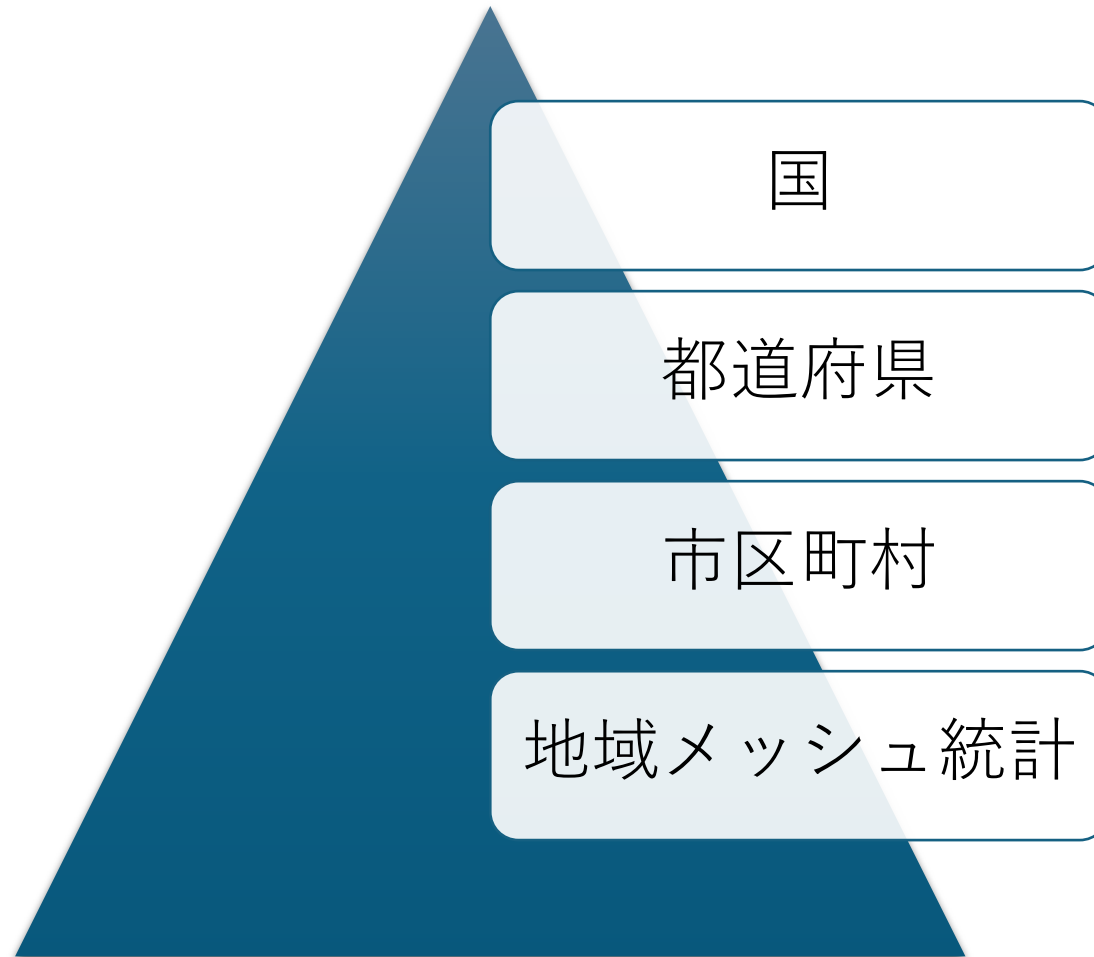
- ①データ分析に政府統計を使うメリット
ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

地域別データで地域特性も可視化が可能



GDP統計、鉱工業生産
指数など

「統計でみる都道府県の
すがた」参照

「統計でみる市区町村
のすがた」参照

①データ分析に政府統計を使うメリット

ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

参考：「統計でみる都道府県のすがた」
「統計でみる市区町村のすがた」

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

「統計でみる都道府県のすがた」「市町村のすがた」は、社会・人口統計体系の指標データの中から自治体別の主要なものを抜粋し報告書に取りまとめたもの。数値を見やすくするための目安として、自治体別順位を付している。

総合統計書のご案内

統計でみる都道府県のすがた の概要

統計の目的
統計の沿革

本書の内容

- 利用上の注意
- 統計表
- バックナンバー
- 正誤情報

公表予定

Q&A

問合せ先

統計でみる都道府県のすがた

統計でみる都道府県のすがた 2025

Statistical Observations of Prefectures

「統計でみる都道府県のすがた」は、社会・人口統計体系の指標データの中から、都道府県別の主要なものを抜粋し取りまとめたもので、**408指標**を掲載しています。[2025年2月刊行]

本書のほか「[統計でみる市区町村のすがた](#)」も刊行しています。



更新情報

- 2025年2月21日 [統計でみる都道府県のすがた 2025](#)を掲載しました。

データ表示 (都道府県データ) 市区町村データへ切り替え

統計表表示

グラフ表示

地域選択 ?

任意の地域

類似の地域

地域を選択してください。

1 絞り込み

地域区分 ☒ 都道府県 ☐ 地方 類型 I ▼ [地方の選び方](#)

2 地域候補

地域候補 48地域

00000_全国
01000_北海道
02000_青森県
03000_岩手県
04000_宮城県
05000_秋田県
06000_山形県
07000_福島県
08000_茨城県
09000_栃木県
10000_群馬県

地域を選択>

全て選択>

<地域を削除

< 全て削除

選択中地域 0地域 (残り 2500 地域選択可能)

クリア

キャンセル

確定

地域選択
<

表示項目選択
>

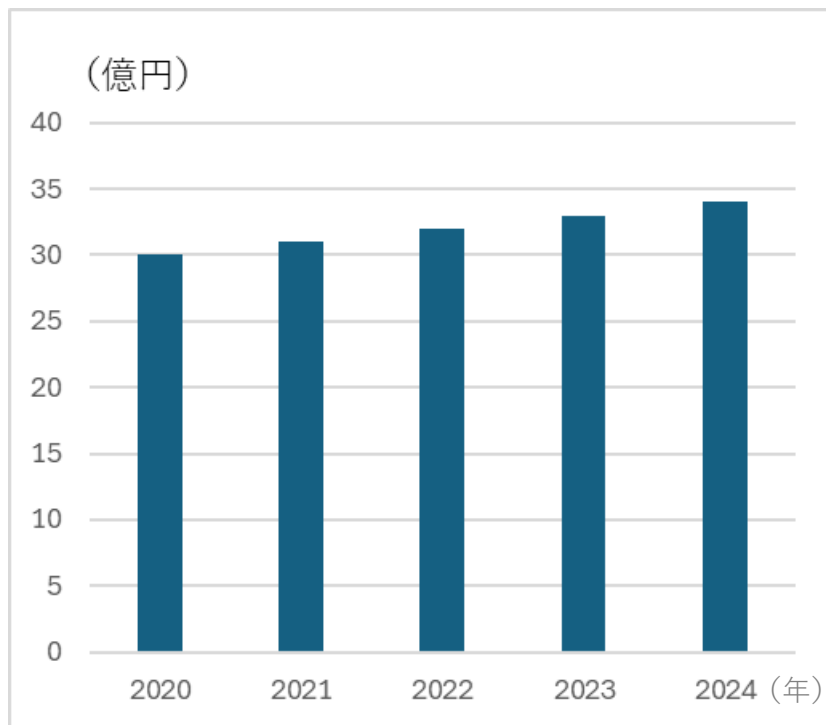
レイアウト設定
>

URL : <https://www.stat.go.jp/data/k-sugata/index.html>

- ①データ分析に政府統計を使うメリット
ー 企業内データだけでは見えない社会的傾向を補完

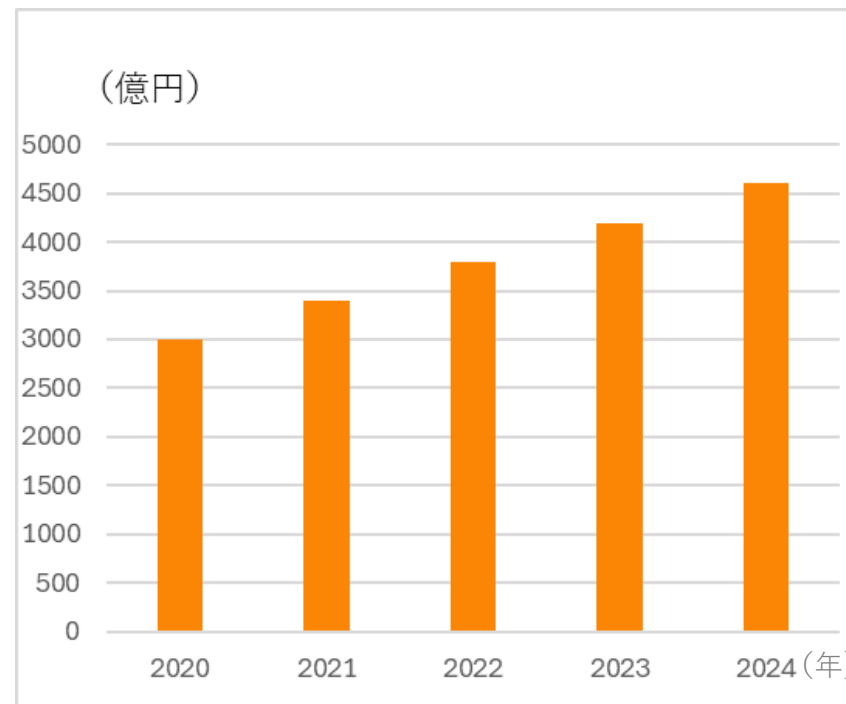
企業の状態を社会全体の傾向と比較

自社の製品が伸びていても…



A社の外食部門の売上高

国全体ではもっと伸びている場合も



国全体の外食の消費額（仮設値）

② ビジネスシーンでの活用可能性

ー 市場分析・需要予測・地域比較などへの応用

マーケティングツールとしての家計調査

- 「ビッグデータ」
- さまざまな商品の特性を捉えられる
- 日本全体の傾向がわかる
- 総額、収入階級別、年齢階級別で分析
- 金額、数量、価格面からも分析可能（今回は金額中心）
- 高い信頼性

② ビジネスシーンでの活用可能性

ー 市場分析・需要予測・地域比較などへの応用

家計調査で2010年に比べて伸び率が高い品目

	品目分類（2020年改定）	2010年	2024年	伸び率(%)
1	766 携帯電話機【円】	2,392	8,037	236.0
2	75B レンタカー・カーシェアリング料金【円】	1,236	4,122	233.5
3	953 寄付金【円】	3,797	10,426	174.6
4	3X5 ウイスキー【円】	1,252	2,887	130.6
5	38A 乳飲料【円】	1,229	2,830	130.3
6	353 チョコレート菓子【円】	1,143	2,568	124.7
7	363 他の主食的調理食品【円】	9,056	20,033	121.2
8	316 キウイフルーツ【円】	1,073	2,352	119.2
9	365 サラダ【円】	2,936	6,351	116.3
10	387 炭酸飲料【円】	3,666	7,722	110.6
11	1.6.2 果物加工品【円】	1,830	3,745	104.6
12	370 冷凍調理食品【円】	5,432	11,032	103.1
13	676 子供用靴・サンダル(2019年までは運動靴、サンダルを含	1,132	2,270	100.5
14	38B ミネラルウォーター【円】	2,362	4,558	93.0
15	229 他の加工肉【円】	1,793	3,452	92.5
16	397 喫茶代【円】	5,143	9,837	91.3
17	711 保健用消耗品【円】	6,727	12,738	89.4
18	906 歯磨き【円】	2,090	3,936	88.3
19	361 調理パン【円】	3,731	6,915	85.3
20	299 他の野菜・海藻加工品のその他【円】	1,361	2,460	80.7

家計調査
2人以上の世帯
年次
品目分類（2020年改定）
（総数・金額）

2人以上世帯の約600品目の消費額について、伸び率の高い順に並べ替えたもの。

結果表に記載された2010年～2024年の伸び率を詳しく把握したい場合は、グラフ化して見える化することも可能。

（→次頁以降参照）

（出典）家計調査

② ビジネスシーンでの活用可能性
ー 市場分析・需要予測・地域比較などへの応用

レンタカー・カーシェアリング支出額（2010～2024年経年）

▼ もっと見る

統計表表示

グラフ表示

?

表章項目

金額 ▼

世帯区分（年次ー二人以上の世帯）

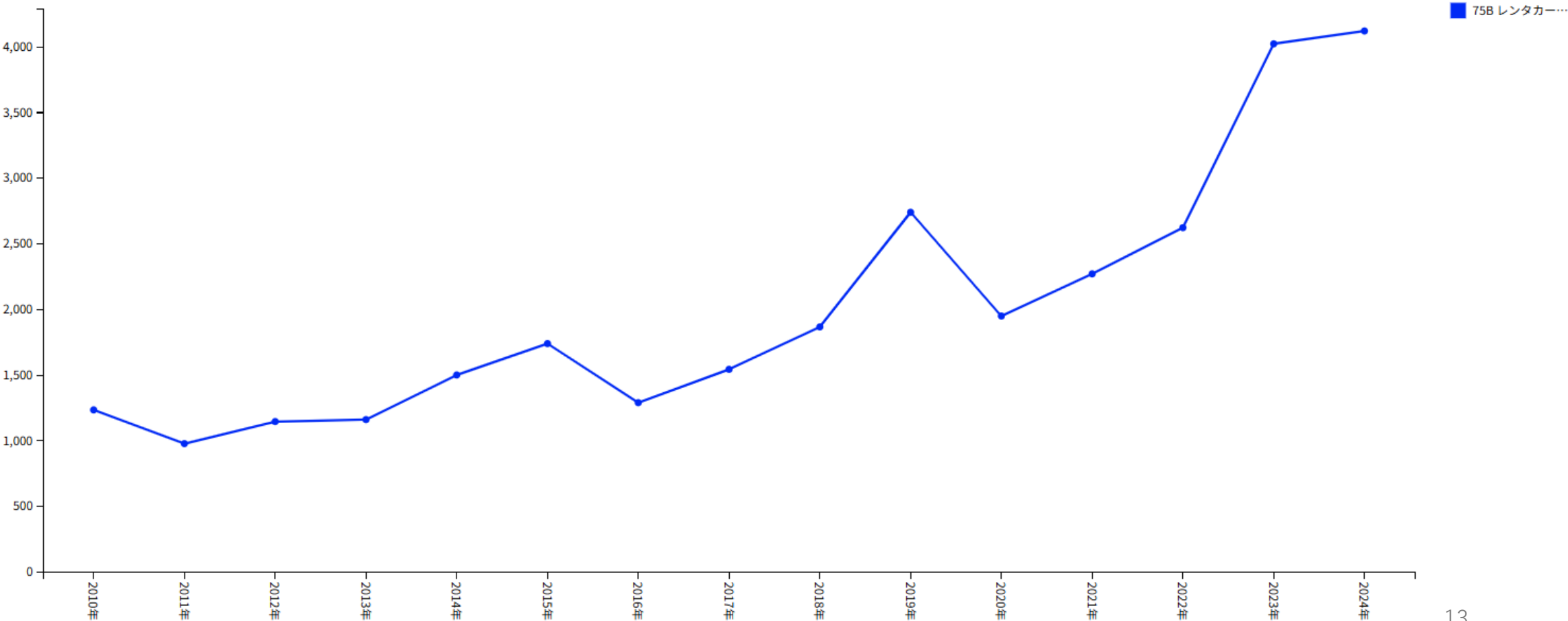
二人以上の世帯（2000年～） ▼

地域区分

全国 ▼

再表示

表示項目選択 >
レイアウト設定 >
グラフ表示設定 >



② ビジネスシーンでの活用可能性
ー 市場分析・需要予測・地域比較などへの応用

チョコレート菓子支出額（2010～2024年経年）

統計表・グラフ表示

統計名	家計調査 家計収支編 二人以上の世帯
表番号	010
表題	品目分類（2020年改定）（総数：金額）

▼ もっと見る

統計表表示

グラフ表示

?

表示項目選択
レイアウト設定
グラフ表示設定

世帯区分（年次ー二人以上の世帯）

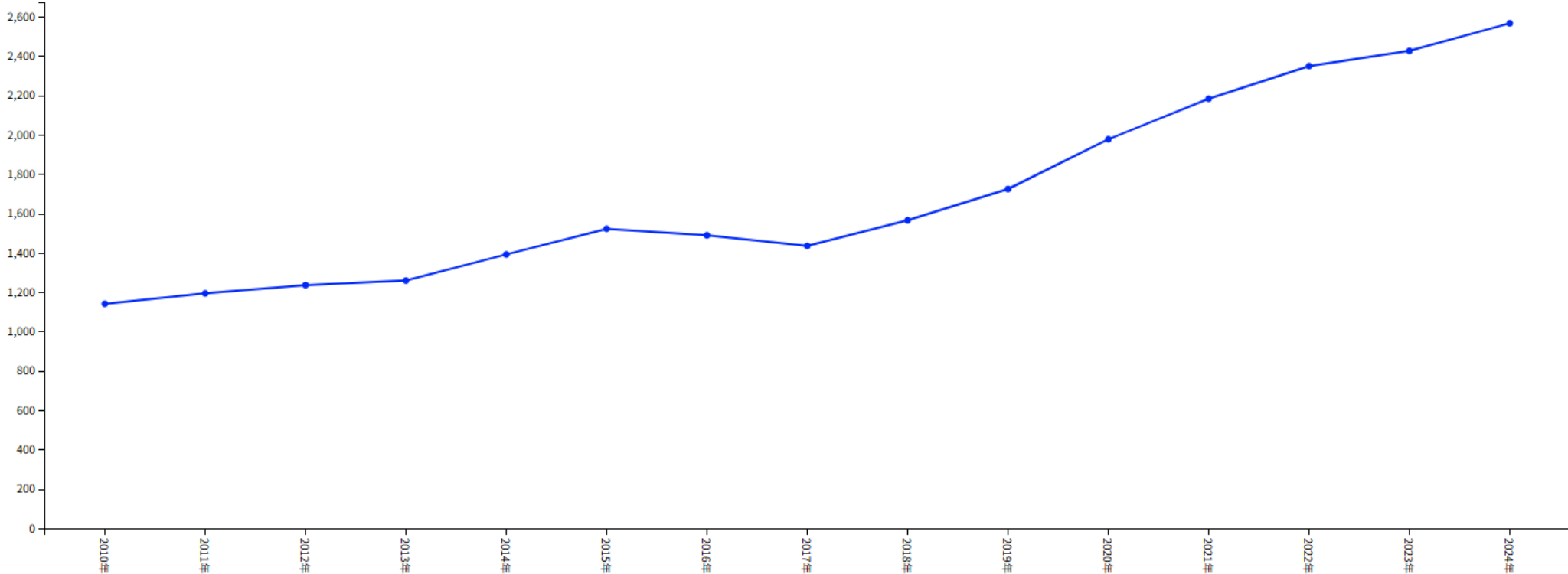
二人以上の世帯（2000年～）

地域区分

全国

再表示

チョコレート菓子支出額



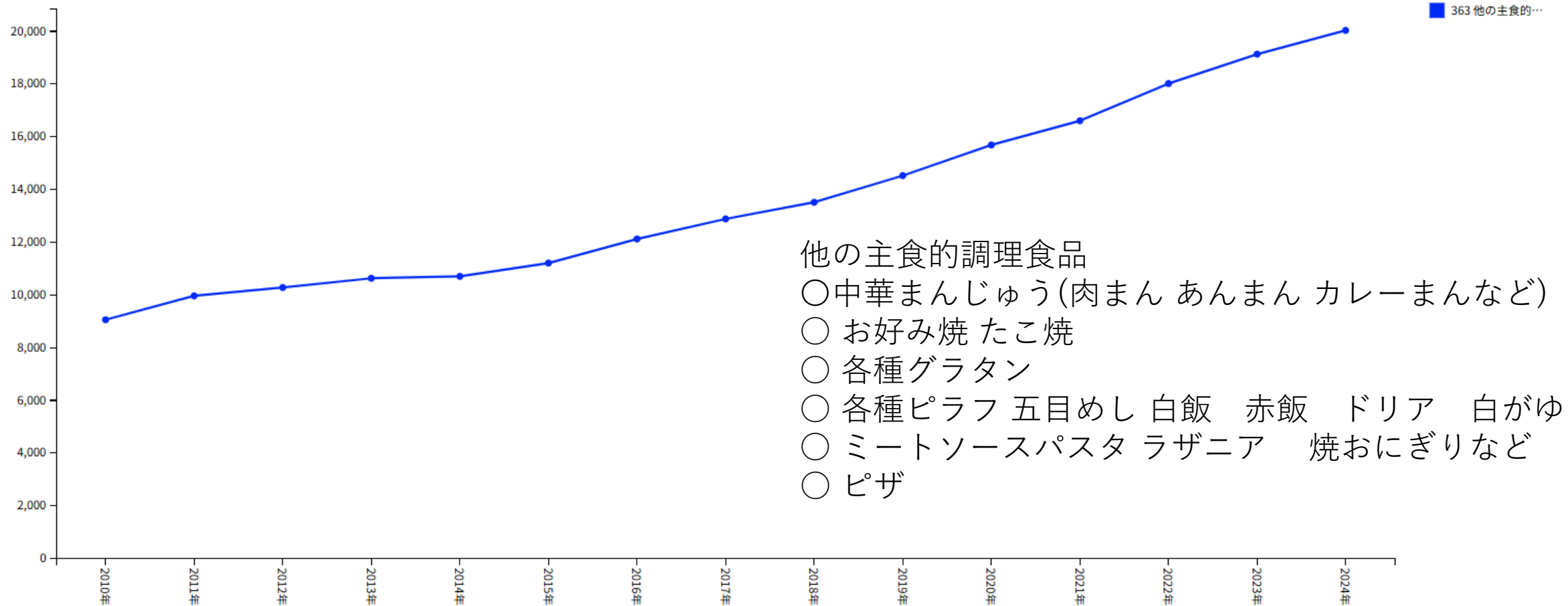
他の主食的調理食品支出額（2010～2024年経年）

統計表表示

グラフ表示



表章項目 金額 世帯区分（年次－二人以上の世帯） 二人以上の世帯（2000年～） 地域区分 全国 再表示



月謝支出額（スポーツ・音楽・語学）（2024年収入階級別）

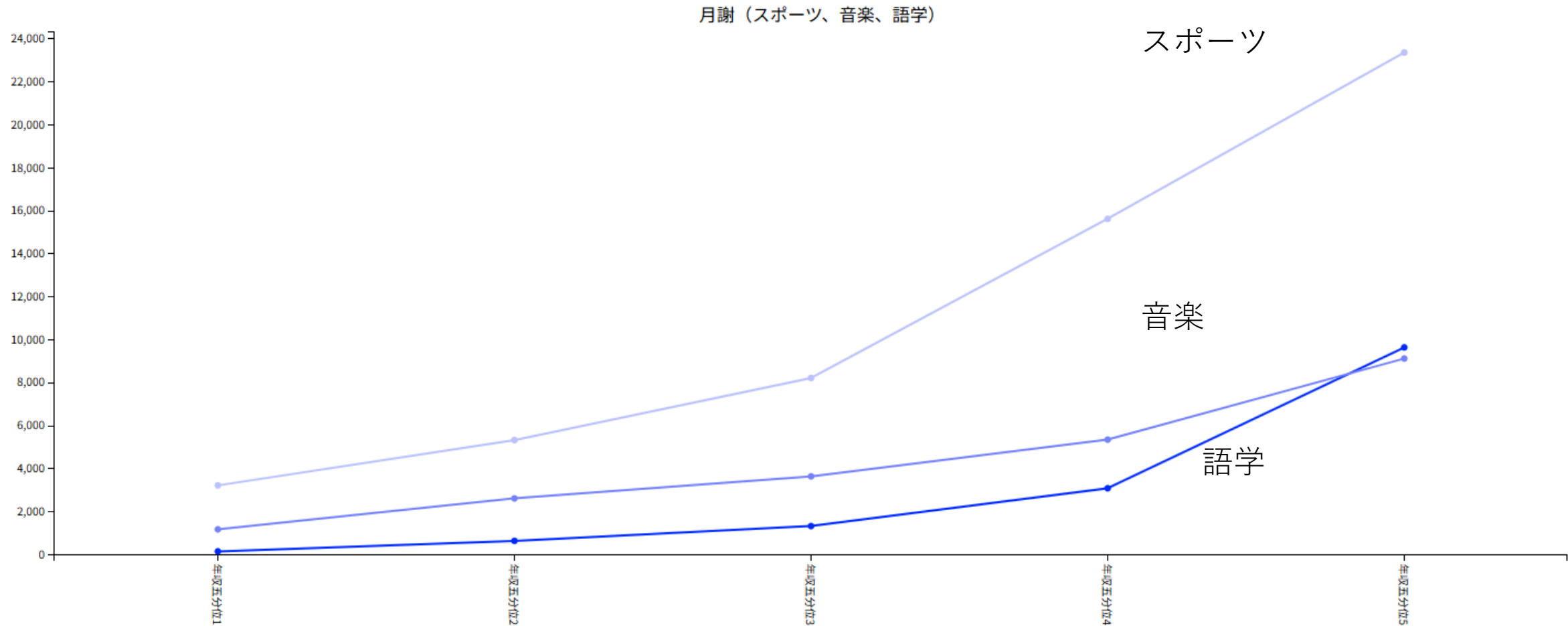
統計表表示

グラフ表示



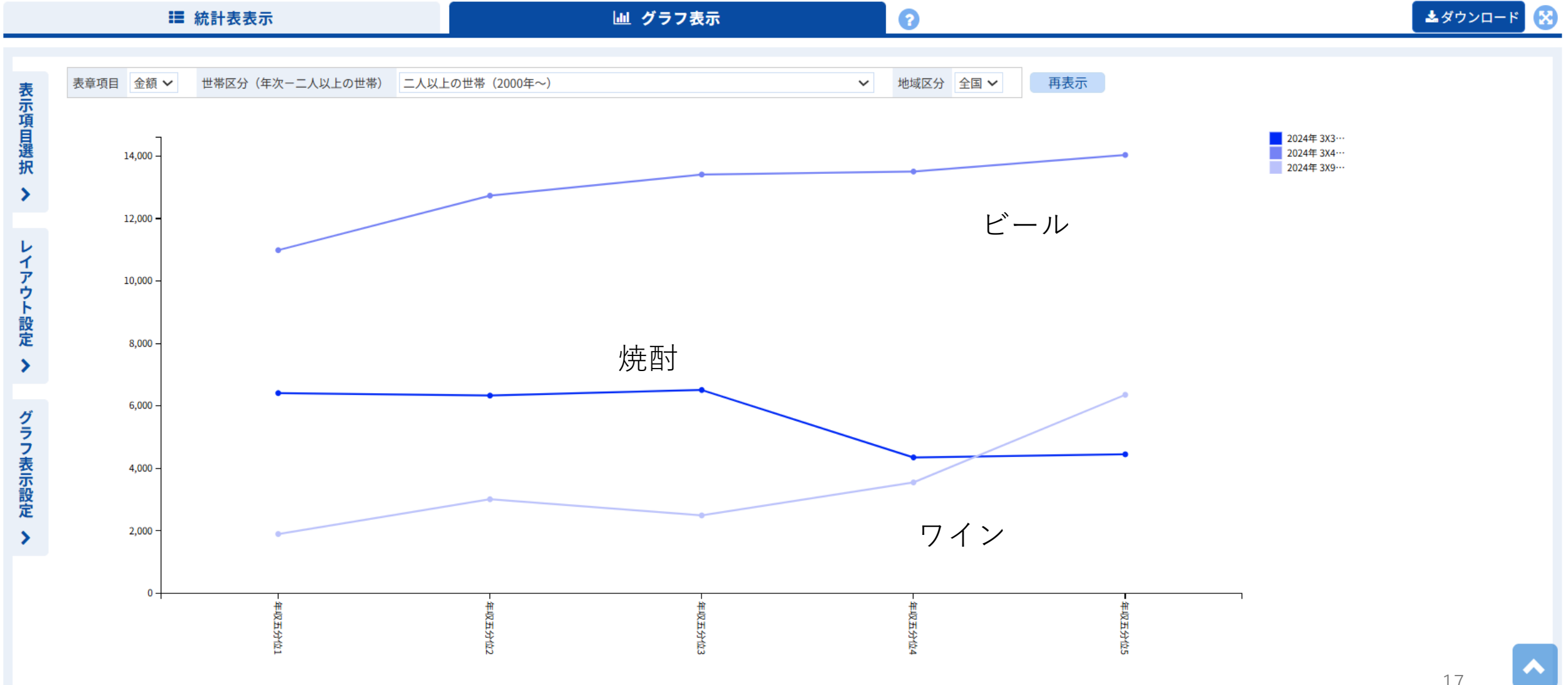
表示項目選択
レイアウト設定
グラフ表示設定

表章項目 金額▼ 地域区分 全国▼ 時間軸（年次） 2024年▼ 再表示



② ビジネスシーンでの活用可能性
ー 市場分析・需要予測・地域比較などへの応用

酒類支出額（2024年収入階級別）



② ビジネスシーンでの活用可能性
ー 市場分析・需要予測・地域比較などへの応用
菓子類支出額（2024年年齢階級別）

統計表表示

グラフ表示

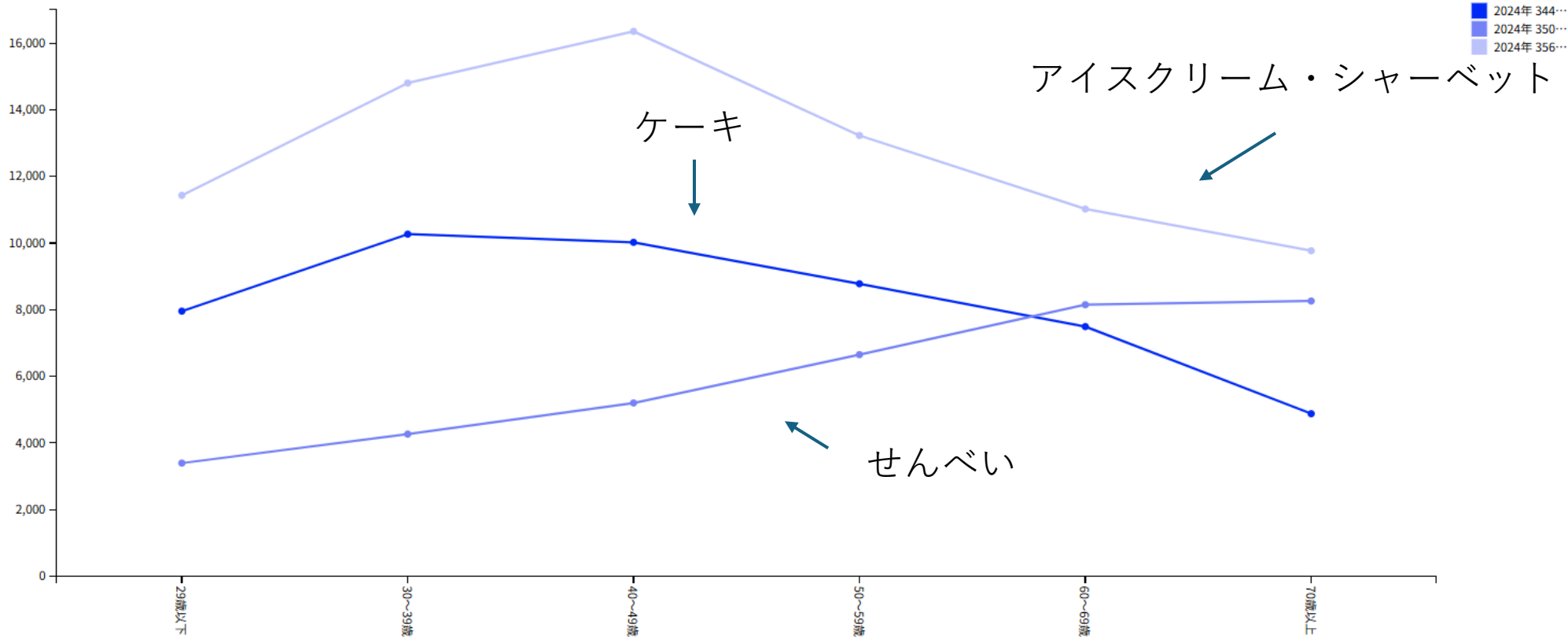
ダウンロード

表示項目選択

レイアウト設定

グラフ表示設定

表章項目 金額 世帯区分（年次－二人以上の世帯） 二人以上の世帯（2000年～） 地域区分 全国 再表示



40～49歳

政府統計データ活用の先行事例紹介

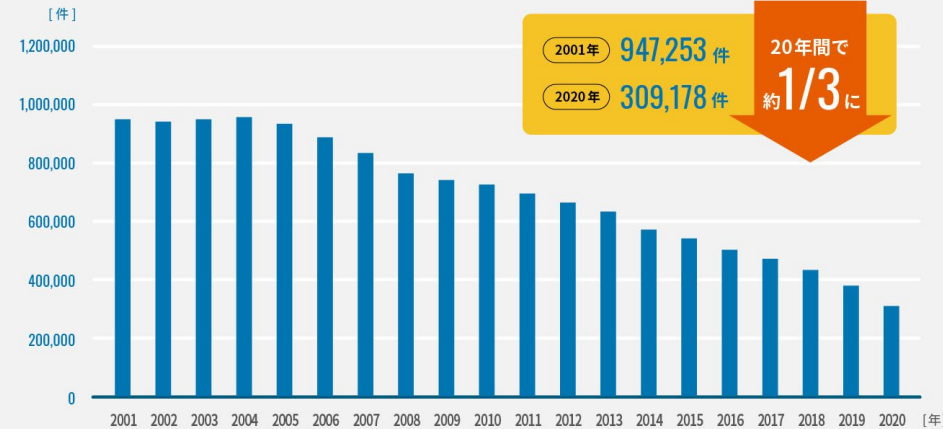
- ③ 政府統計データ活用の先行事例紹介
ー 民間企業での具体的導入例を紹介

市場動向を把握

ナッフファクトリー（板金塗装業）

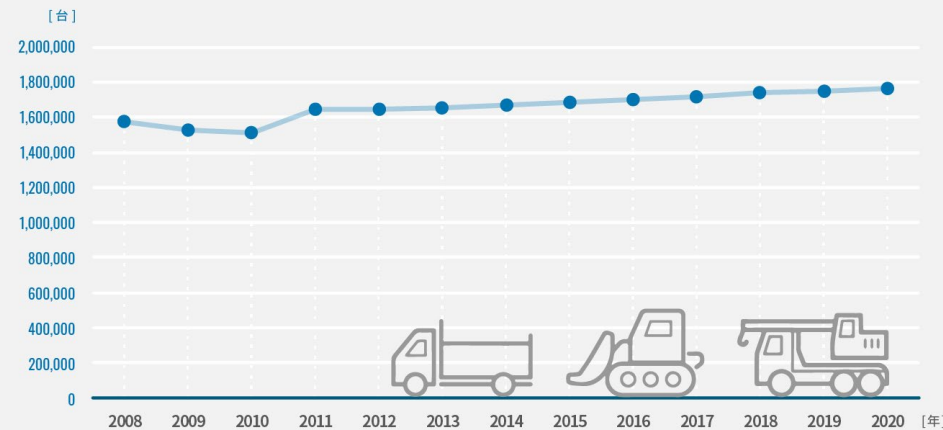
- 事故件数の減少で、板金塗装業市場の縮小を確信。
 - 自動車保有台数（国土交通省）と自動車事故（警察庁 道路の交通に関する統計）の件数
 - 安全装置付き自動車の普及状況
 - 損害保険会社の支払額の推移
- 一方で救急車や特装車など特殊車両への需要が堅調に推移。
 - 自動車保有車両数特殊用途合計（国土交通省）
- 特殊自動車の架装（装備や機器の取り付け）に業態転換。

交通事故発生状況の推移（2001年～2020年）



[資料] 道路の交通に関する統計（警察庁）

自動車保有車両数 当月末 特種(殊)用途合計数（2008年～2020年）



[資料] 自動車保有車両数（国土交通省）

③ 政府統計データ活用の先行事例紹介 ー 民間企業での具体的導入例を紹介

コンビニの立地

- コンビニ「歩いて5分程度で昼間人口3000人、夜間人口3000人、世帯数1000世帯以上が条件」。
- 国勢調査に関する「地域メッシュ統計」を使い条件にあうメッシュ（500メートル）を抽出。
- そのうち、コンビニがない場所を見つける。

図3 第2条件クリア図



(出典) GIS NEXT 第26号 ネクストパブリッシング
総務省地域メッシュ統計、集計の結果、結果の活用事例
<https://www.stat.go.jp/data/mesh/pdf/jirei.pdf>

③ 政府統計データ活用の先行事例紹介
ー 民間企業での具体的導入例を紹介

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

不動産取引価格を推定

株式会社おたに

- GEEOでは、総務省統計局や国土交通省などが提供している路線価、国勢調査、住宅・土地統計調査などの官公庁系オープンデータをベースに、独自のアルゴリズムで物件の販売価格を予想。
- 価格予想にオープンデータを取り入れることで、解析対象となるデータ量は格段に増加し、アルゴリズムの工夫次第では、今後、データから解釈できる内容を広げることできる。

地図上の対象地点の不動産価格を表示（売買・投資物件、自宅の資産価値の検討等に有効）



時系列で価格表示も可能。

（出典）デジタル庁 民間事業者による利活用事例、オープンデータ100民間事業者による事例
https://www.digital.go.jp/resources/data_case_study_private

- ③ 政府統計データ活用の先行事例紹介
ー 民間企業での具体的導入例を紹介

揺れやすさ指標の作成

大和ハウス工業株式会社

- 建設業者や住宅購入者向けに提供される地震リスク評価サービス。
- 所在地を入力すると、J-SHIS の地震動予測値や地盤データを基に揺れやすさを算出する。

(出典) デジタル庁 民間事業者による利活用事例、オープンデータ100民間事業者による事例
https://www.digital.go.jp/resources/data_case_study_private

→国勢調査データを組み合わせると、人口密度を確認したうえで災害時の危険度を評価することも可能。

1. なぜ今「データ分析 × 政府統計」か？

2. データ分析は何から始めればいいの？

3. Excelを使った政府統計データの分析(演習)

大阪・梅田に住宅を購入する予定の場合

STEP 1 住所を入力してください

都道府県: 大阪府
市町村: 大阪市北区
町丁目: 梅田三丁目
番地: 3-5

STEP 2 解析が終了しました

解析結果を表示します。これから何年間の結果を表示しますか？
20 年間の解析結果を表示

STEP 3 評価結果

大阪府 大阪市北区 梅田三丁目 3-5

20 年間の揺れに襲われる確率

震度	確率
震度5弱以上	91.6%
震度5強以上	71.7%
震度6弱以上	38.9%
震度6強以上	8.7%

お客さまの居住地（都道府県・市町村・町・丁目）を選択

ご希望の結果表示期間（5年間～50年間：5年単位）を選択

震度の発生確率、付近の断層情報（予測震度・距離・深さ・マグニチュード・発生確率）を表示

建設予定地の住所を入力することで、地震発生確率や予測震度を診断してくれる

ココゆれでこう変わった！

- 地震の発生確率や予測震度が簡単に読み取ることができるようになり、顧客は専門的な知識を持たなくても地震リスクを自身で調べられるようになった



2. データ分析は何から始めればいいのか？

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎
- 相関分析：2つの指標の関係を捉える
- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

②データ分析の基本姿勢

- 思い込みに左右されない判断
- グラフの目的に応じた使い方を学ぶ

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

見え方の基礎

- 平均値、中央値、最頻値
- 標準偏差
- 相関

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

多くのデータを代表値で表す

- 平均値：すべてのデータを足して、データの数で割る
- 中央値（メジアン）：データを値の大きさの順に並べた場合の真ん中の値
- 最頻値（モード）：データセットの中で最も頻繁に出現したデータ

それぞれ、エクセルで計算できる。

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

平均値の計算（その1）

- 平均値を求めてください。
- 平均値は全部足して、個数で割ったもの。
- $55 \div 11 = 5$

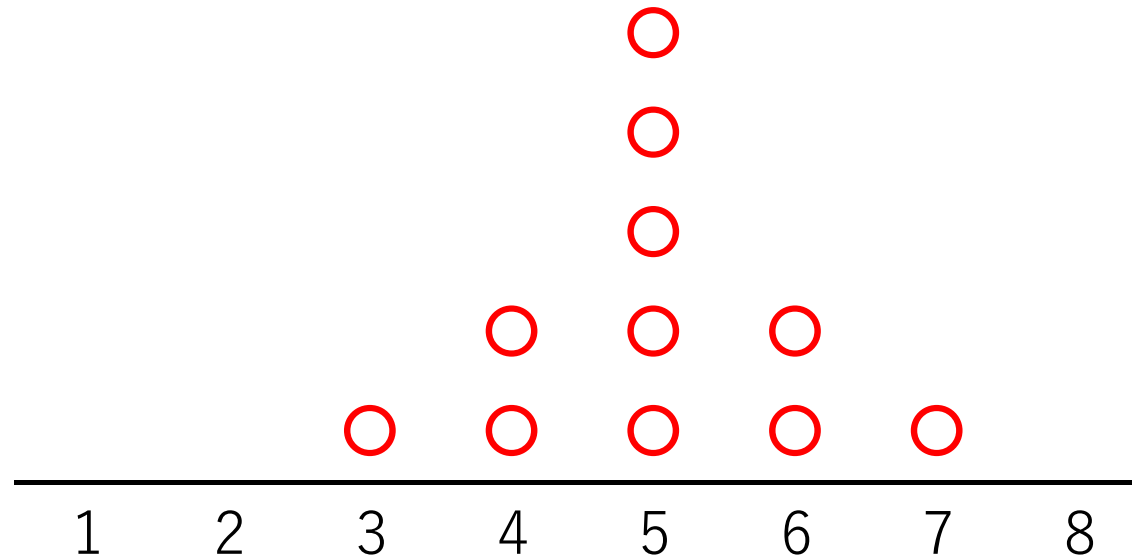
5	7	5	6	3	4	4	5	6	5	5
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

中央値と最頻値の計算（その1）

- 中央値：11サンプルなので、上から6番目→5
- 最頻値：5が5回あるので、5



①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

平均値の計算（その2）

- 平均値を求めてください。
- 平均値は全部足して、個数で割ったもの。
- $55 \div 11 = 5$

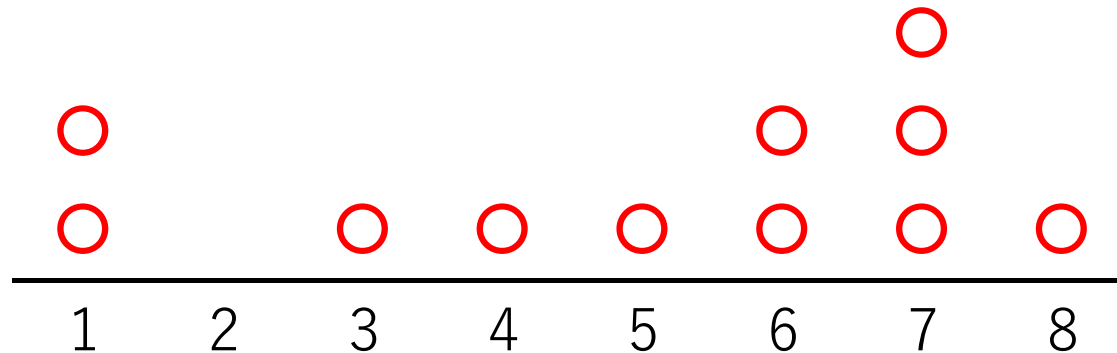
7	7	1	6	3	5	1	7	8	4	6
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

中央値と最頻値の計算（その2）

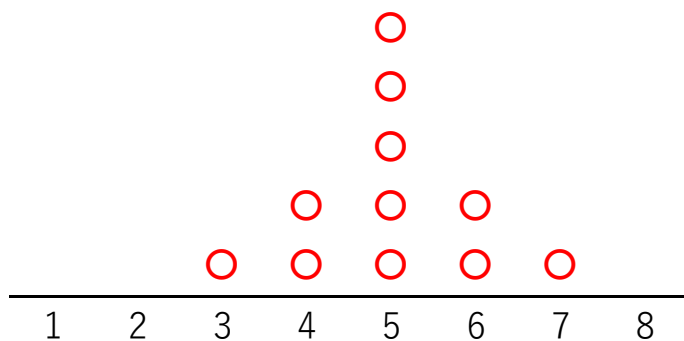
- 中央値：11サンプルなので、上から6番目→6
- 最頻値：7が3回あるので、7



①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

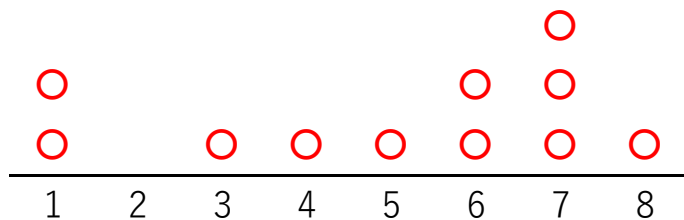
分布が変わると、代表値は変化する



平均値：5

中央値：5

最頻値：5



平均値：5

中央値：6

最頻値：7

①データの「見え方」を知る

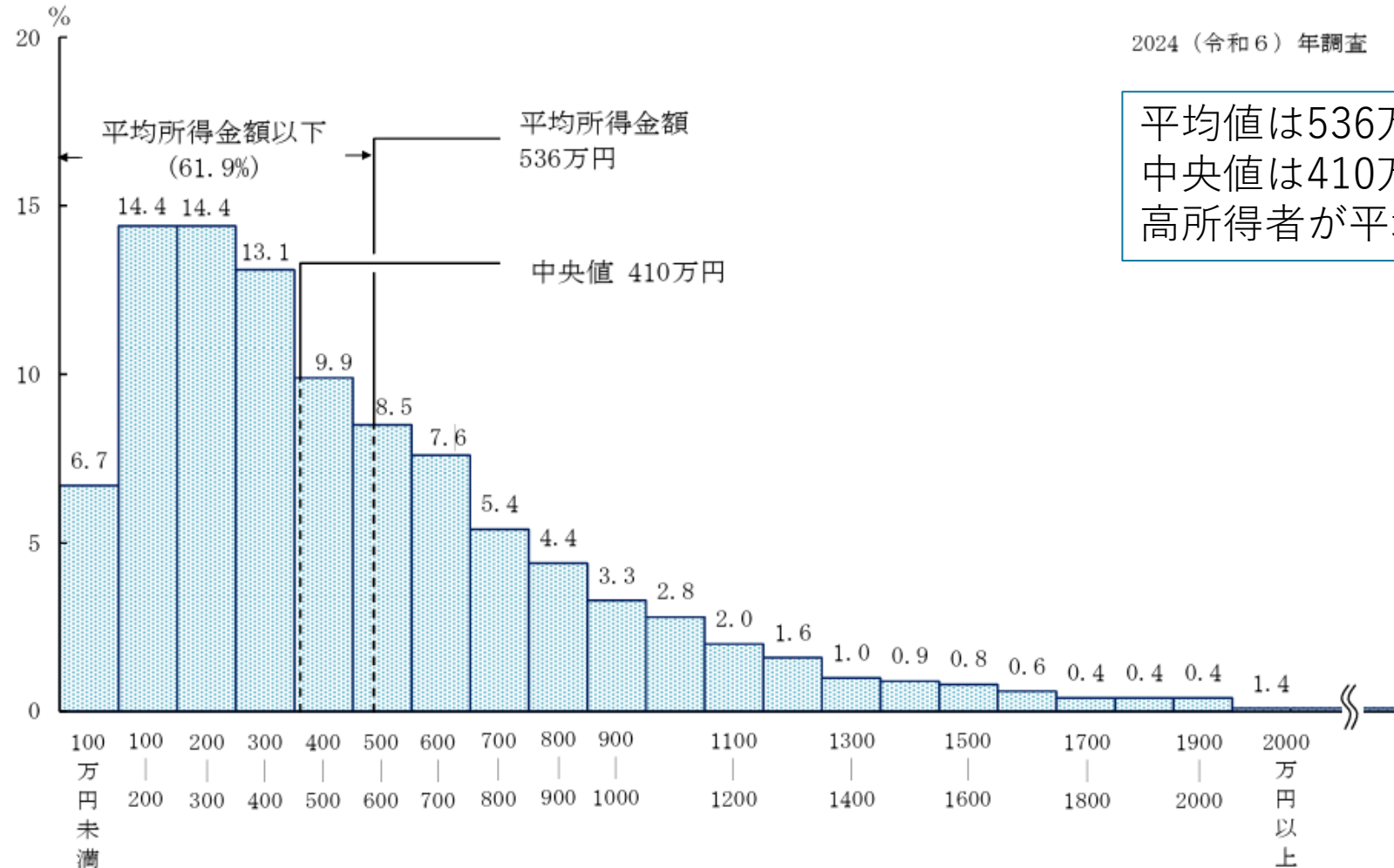
- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

図9 所得金額階級別世帯数の相対度数分布



平均値は536万円だが、
中央値は410万円。
高所得者が平均を引き上げている。

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

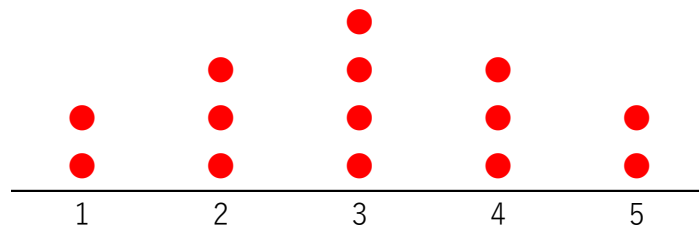
「ばらつき」を考える理由

- 代表値（平均・中央値・最頻値）に加えて、データの「ばらつき」を知りたいことは多い。

例1：アンケート調査（5が満足度高）

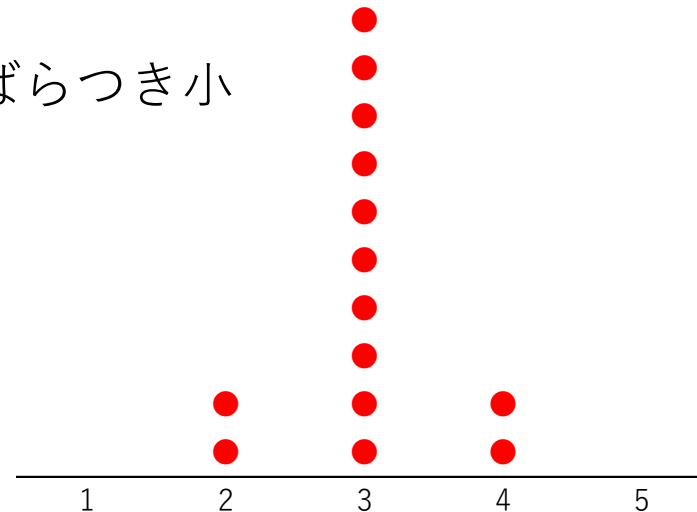
平均はどちらも3だが…

ばらつき大



満足度に大きな差

ばらつき小



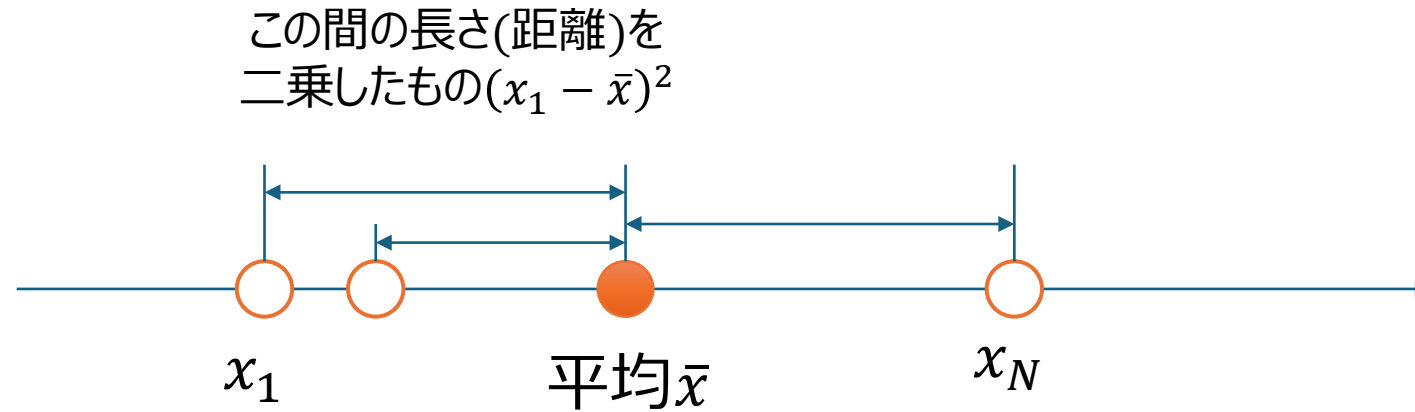
満足度はだいたい同じ

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

ばらつき（分散）を測る方法

- 全データが平均的に「平均 $\bar{x}$ とどれくらい離れているか？」を測る。



- 分散が大きい→**平均値と大きく違う数が多い**→広がっている。
- 差を単純に足すと、プラスとマイナスが打ち消してゼロになるので、それぞれ二乗する。

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

分散の公式

- データ $x_1, x_2, \dots, x_N$ の分散
 - 「平均値との差の二乗」の平均

$$\sigma^2 = \frac{(x_1 - \bar{x})^2 + \dots + (x_N - \bar{x})^2}{N}$$

平均値

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

標準偏差もばらつき具合を表す

• 例

- 分散が100なら、標準偏差は10
- 分散が2なら、標準偏差は $\sqrt{2}$
- 分散が0なら、標準偏差も0

• なので、標準偏差を二乗したら分散

- 標準偏差が10なら、分散は100
- 標準偏差が $\sqrt{2}$ なら、分散は2

• ばらつき度合いを表すという意味では分散と同じ。分散の平方根をとったもの。

• あるデータがどのくらい平均から離れているかを表すときの物差しとなる。

• ばらつきの1単位。

(例) 標準偏差の0.5倍ならあまり平均からはなれていない。2倍なら結構離れている…など。

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

標準偏差の使い方

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

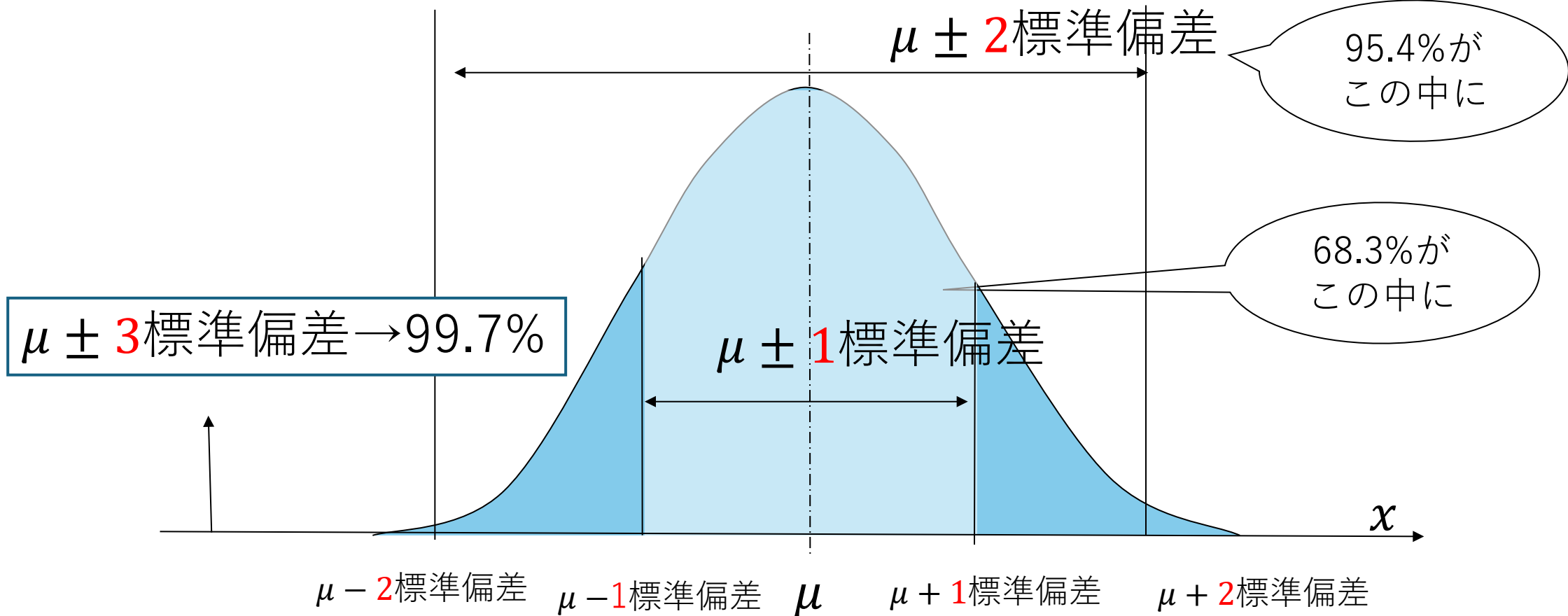
3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

<ポイント>

1標準偏差 68.3%(7割)

2標準偏差 95.4%

3標準偏差 99.7%



プラスマイナス1標準偏差なら7割、プラスマイナス2標準偏差ならほぼ全部。

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

標準偏差

- （出典）厚生労働省「2023年 国民健康・栄養調査」40歳～49歳

	性別	平均値	標準偏差	平均-2 標準偏差	平均+2 標準偏差
体重 (kg)	男性	70.4	12.1	46.2	94.6
	女性	55.8	10.3	35.2	76.4
歩数 (歩)	男性	8,039	4,871	-1,703	17,781
	女性	7,172	4,218	-1,264	15,608

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

歩数（男性：40歳～49歳）

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

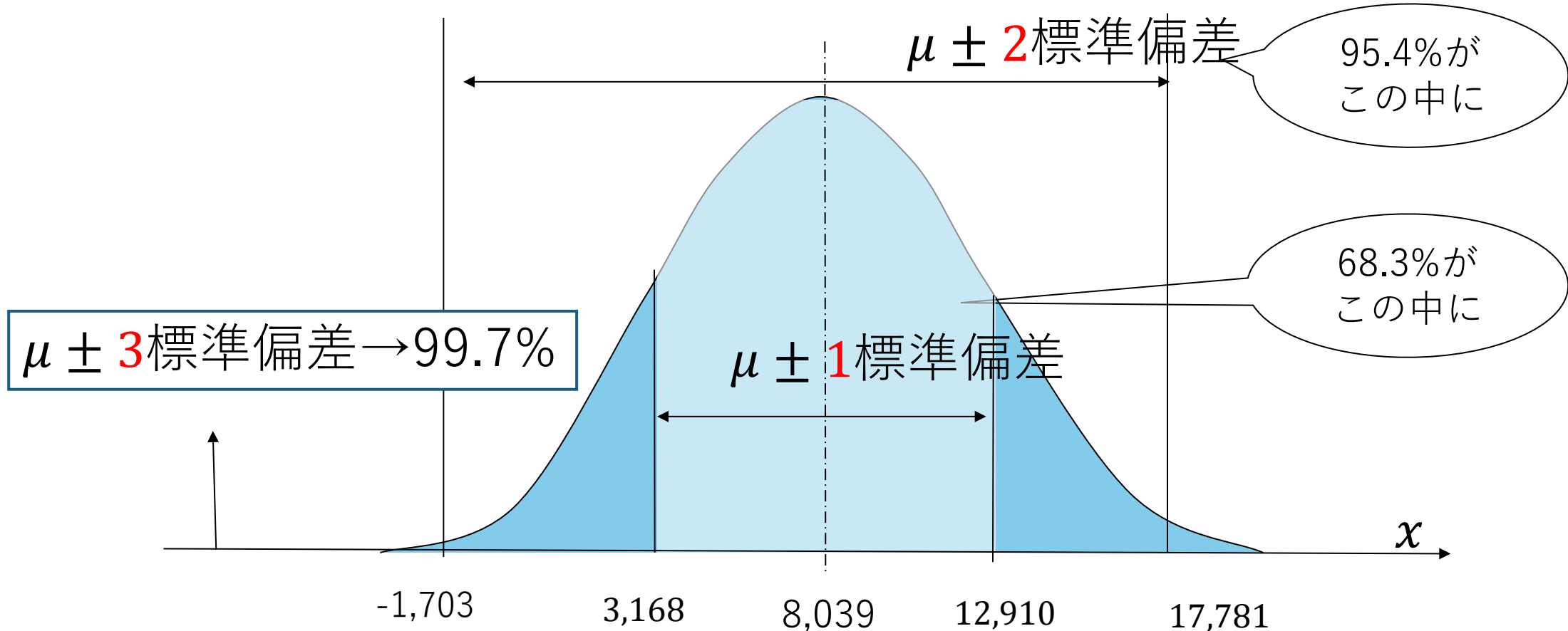
3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

<ポイント>

1標準偏差 68.3%(7割)

2標準偏差 95.4%

3標準偏差 99.7%



プラスマイナス1標準偏差なら7割、プラスマイナス2標準偏差ならほぼ全部。

①データの「見え方」を知る

- 平均値・中央値・最頻値・標準偏差などの基礎

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

エクセルの関数を使って計算できます

代表値	関数
平均値	=AVERAGE(セルの範囲)
中央値	=MEDIAN(セルの範囲)
最頻値	=MODE(セルの範囲)
分散	=VAR.P(セルの範囲) =VARP(セルの範囲)
標準偏差	=STDEV.P(セルの範囲) =STDEVP(セルの範囲)

	A	B	C
1	名前	得点	
2	Aさん	67	
3	Bさん	88	
4	Cさん	82	
5	Dさん	71	
6	平均	77	
7			
8			
9			
10			

=AVERAGE(B2:B5)

セルの範囲の示し方→

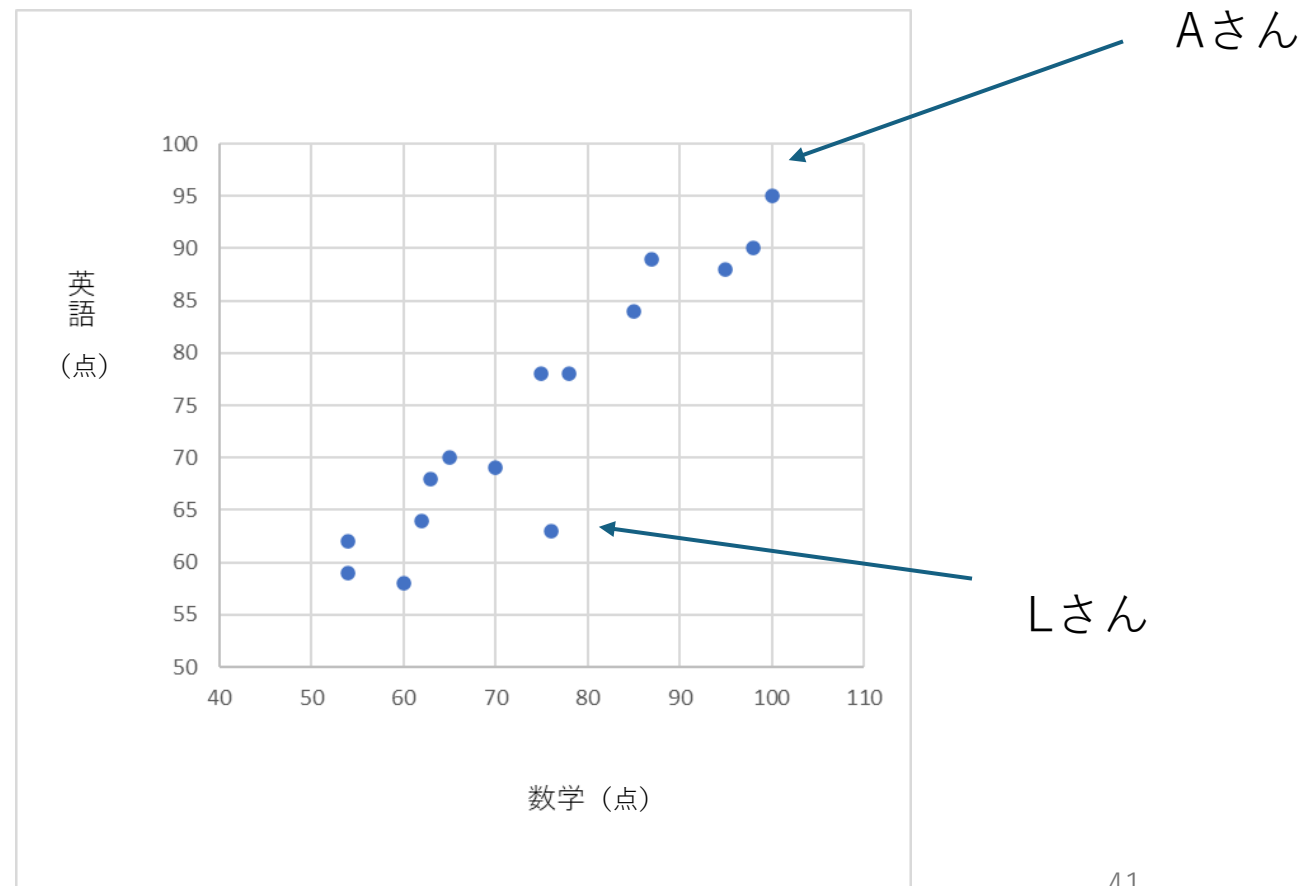
①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

散布図

- 2つの変数の関係を表す。1つの変数が増えた時、もう1つの変数がどうなるかがわかる。

	数学 (点)	英語 (点)
A	100	95
B	98	90
C	95	88
D	87	89
E	85	84
F	78	78
G	75	78
H	65	70
I	70	69
J	63	68
K	62	64
L	76	63
M	54	62
N	54	59
O	60	58

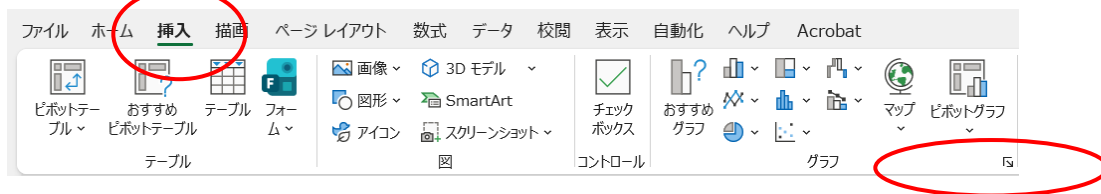


①データの「見え方」を知る

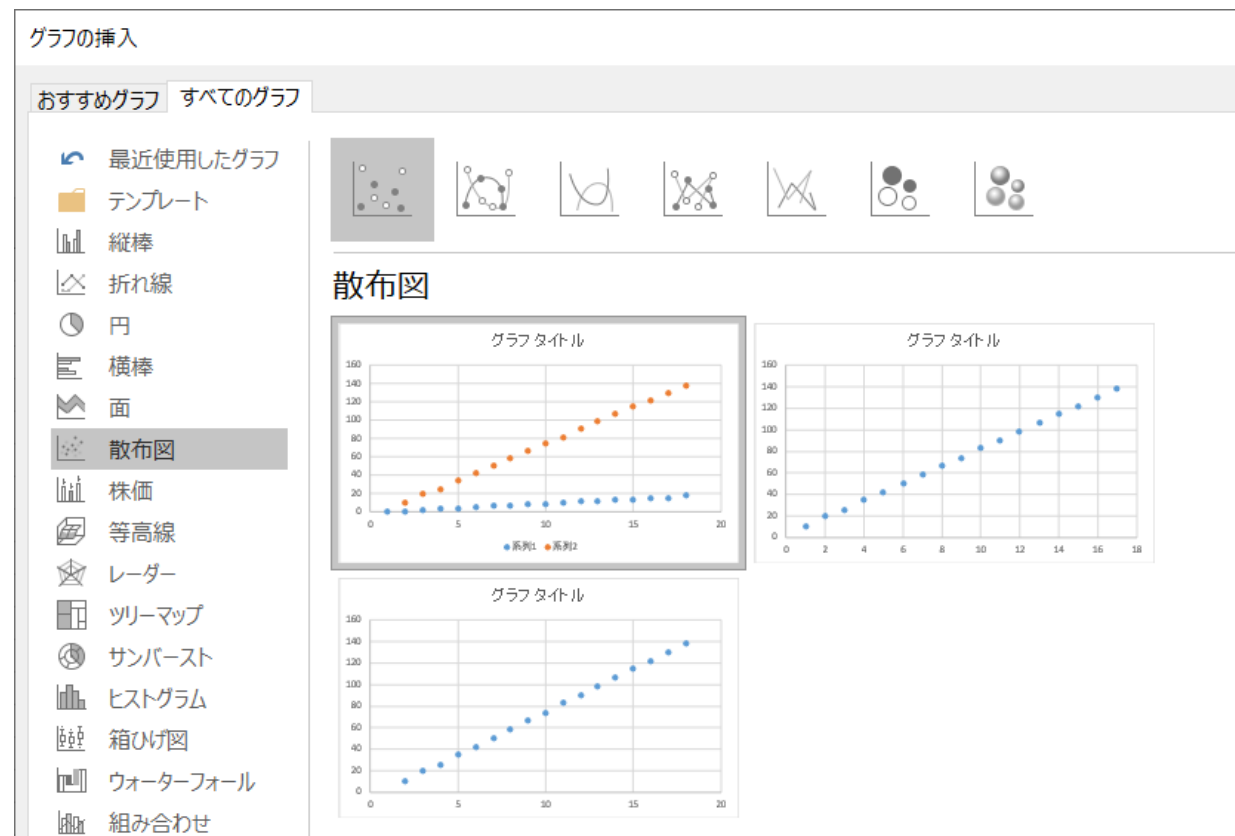
- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

散布図の作り方

- Microsoft Excelのグラフ機能に標準で搭載されている。



データの範囲を選択→挿入タブ→グラフ挿入画面で散布図を選択。



①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

「相関」とは

2つの量に一定の関係があること

- 2つの量の関係性
 - 経済分析では因果関係を知りたいことが多い
 - 因果関係とまではいかななくても、関係性があるかどうかをまず調べる
- 例
 - 気温とアイスの売り上げ高の関係性
 - 広告費と売上高
 - 価格と需要量
 - 運動量と体脂肪率
 - 降水量と傘の売上高

3種類の相関

- 正の相関

- $x_1 \rightarrow$ 大、 $x_2 \rightarrow$ 大
- 例：身長と体重

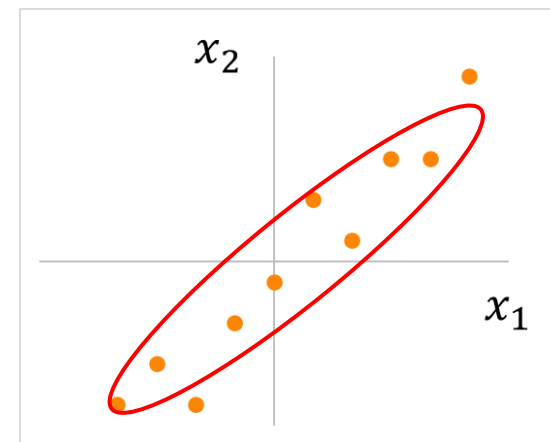
- 負の相関

- $x_1 \rightarrow$ 大、 $x_2 \rightarrow$ 小
- 例：身長と100m走のタイム

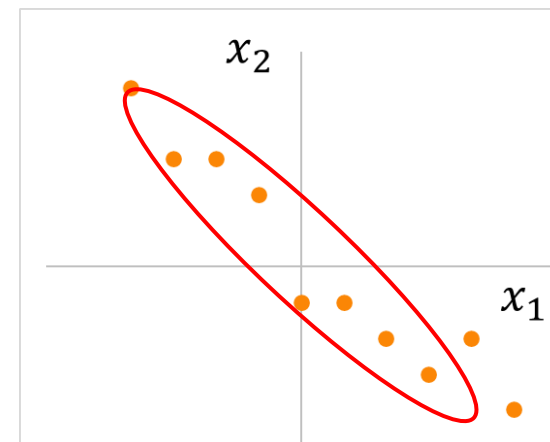
- 無相関

- $x_1 \rightarrow$ 大、 $x_2 \rightarrow$ 特段の傾向無し
- 要するに、 x_1 と x_2 は無関係
- 例：身長と年収

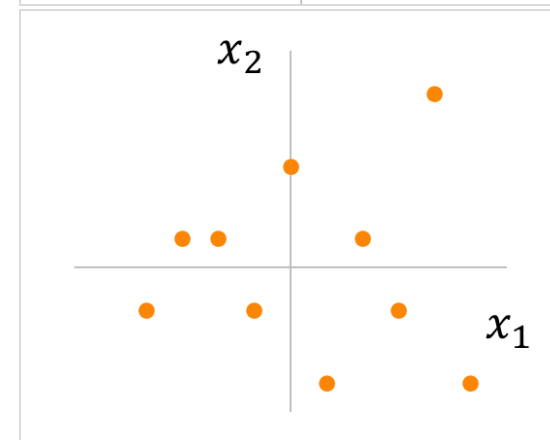
正の相関



負の相関



無相関



相関係数

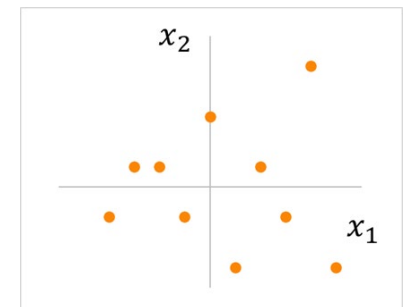
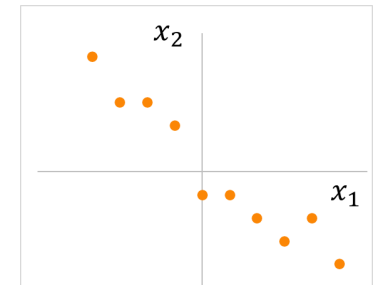
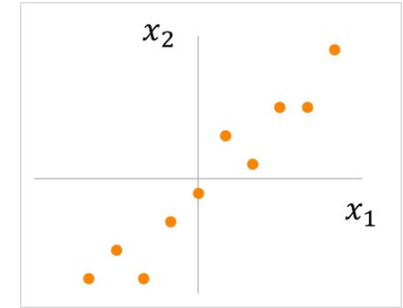
分子のプラスマイナスに注目



$$\rho = \frac{(x_1 \times x_2) \text{の平均値}}{\sqrt{x_1 \text{の分散} \cdot x_2 \text{の分散}}}$$

簡単に説明するため、 x_1 と x_2 の平均値がゼロの場合

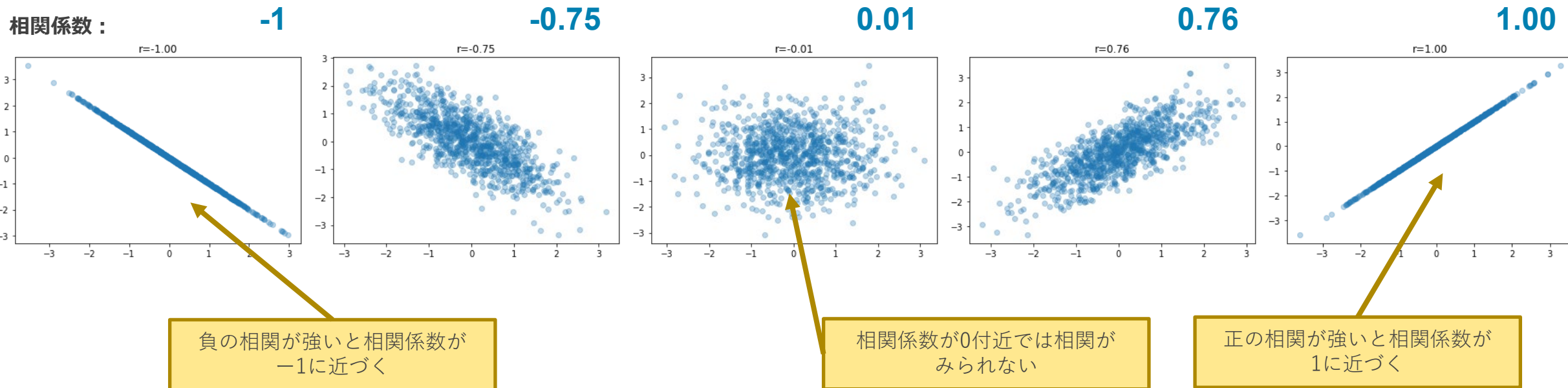
- 正の相関： x_1 と x_2 が同じ符号(+と+、-と-)になりやすい
→ $x_1 \times x_2$ は正になりやすい
- 負の相関： x_1 と x_2 が逆の符号になりやすい
→ $x_1 \times x_2$ は負になりやすい
- 無相関： x_1 と x_2 の符号は同じだったり逆だったり
→ $x_1 \times x_2$ も正だったり負だったり



①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

相関係数の大きさとばらつき具合の様子



①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

相関を確認する

- 相関係数の関数はCORREL
- 2つの変数のセルを選ぶ
- =CORREL(セルの範囲,セルの範囲)

1	2	=CORREL(C6:C10,D6:D10)
2	4	
3	7	
4	9	
5	11	

①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

コーヒーチェーン店出店数と総人口の相関係数

データの収集

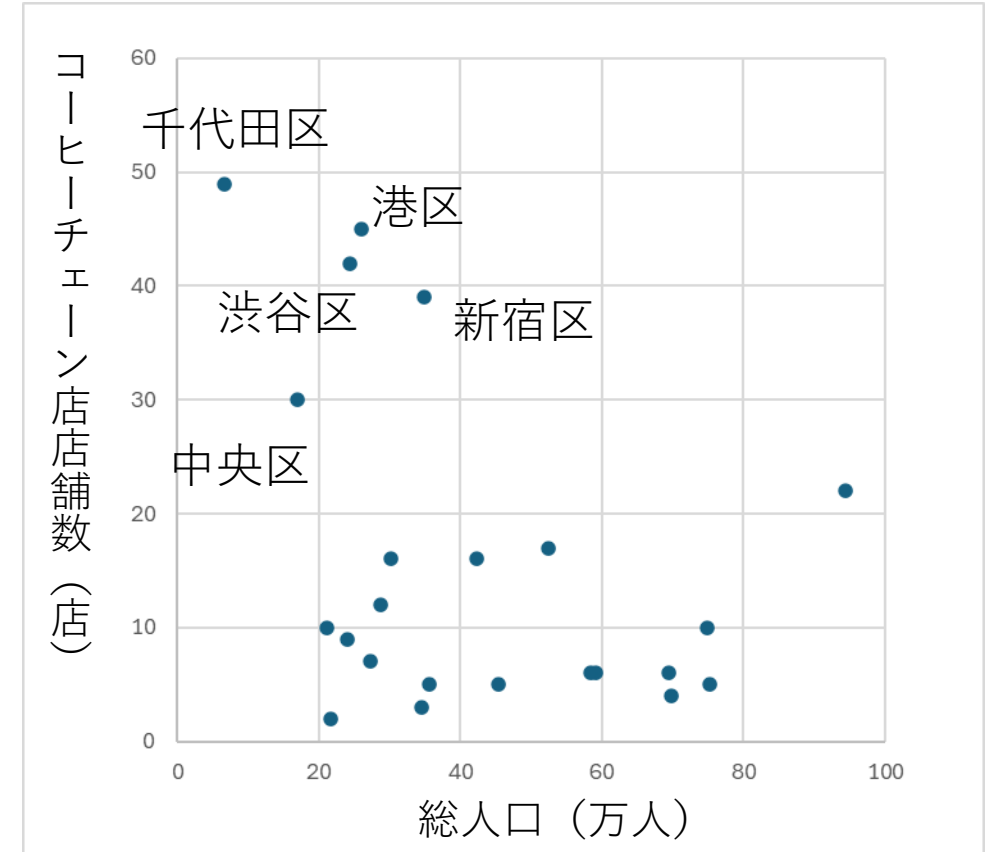
- コーヒーチェーン店出店数
 - ホームページの店舗一覧から入力
- 総人口（e-Statを利用）
 - 統計データを活用する・地域
 - 市区町村データ・データ表示
 - 東京都・特別区
 - 基礎データ・A人口・世帯
 - A1101 総人口

①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

コーヒーチェーン店出店数と総人口の相関係数

- 散布図を描く
- 相関係数 $=\text{CORREL}($)
- $= -0.40$



①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

コーヒーチェーン店出店数と昼間人口の相関係数

データの収集

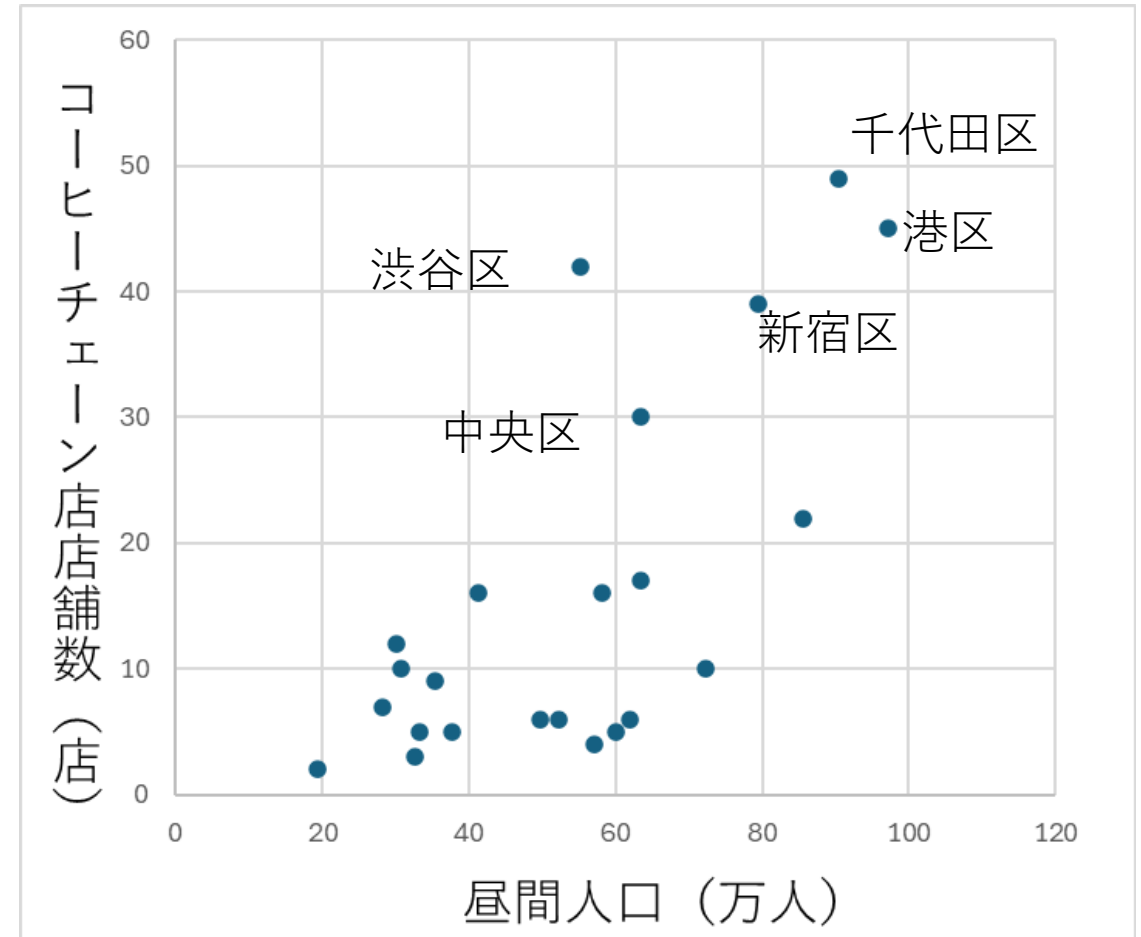
- コーヒーチェーン店出店数
 - ホームページの店舗一覧から入力
- 昼間人口（e-Statを利用）
 - 統計データを活用する・地域
 - 市区町村データ・データ表示
 - 東京都・特別区
 - 基礎データ・A人口・世帯
 - A6107 昼間人口

①データの「見え方」を知る

- 相関分析：2つの指標の関係を捉える

コーヒーチェーン店出店数と昼間人口の相関係数

- 散布図を描く
- 相関係数 =CORREL()
- =0.71



①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

回帰分析とは

- データ同士を結び付ける「魔法」

①原因の解明

- ある変数がほかの変数の原因になっているかどうかを判断することができる。

②予測

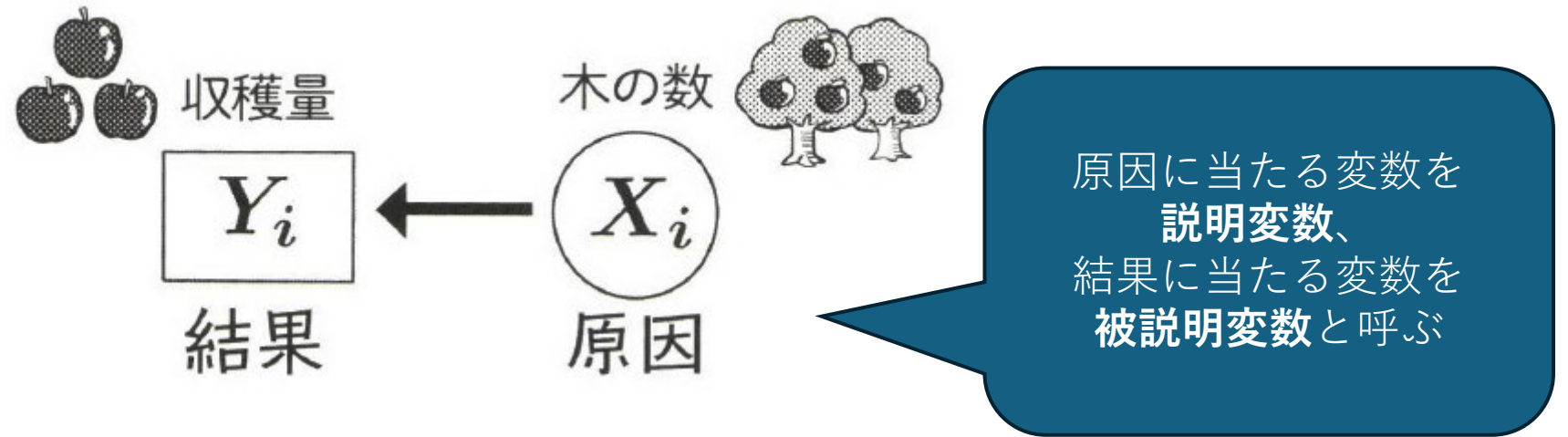
- ある変数を使って、ほかの変数を予測することができる。

①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

回帰分析は、2つの変数の関係を式で表す

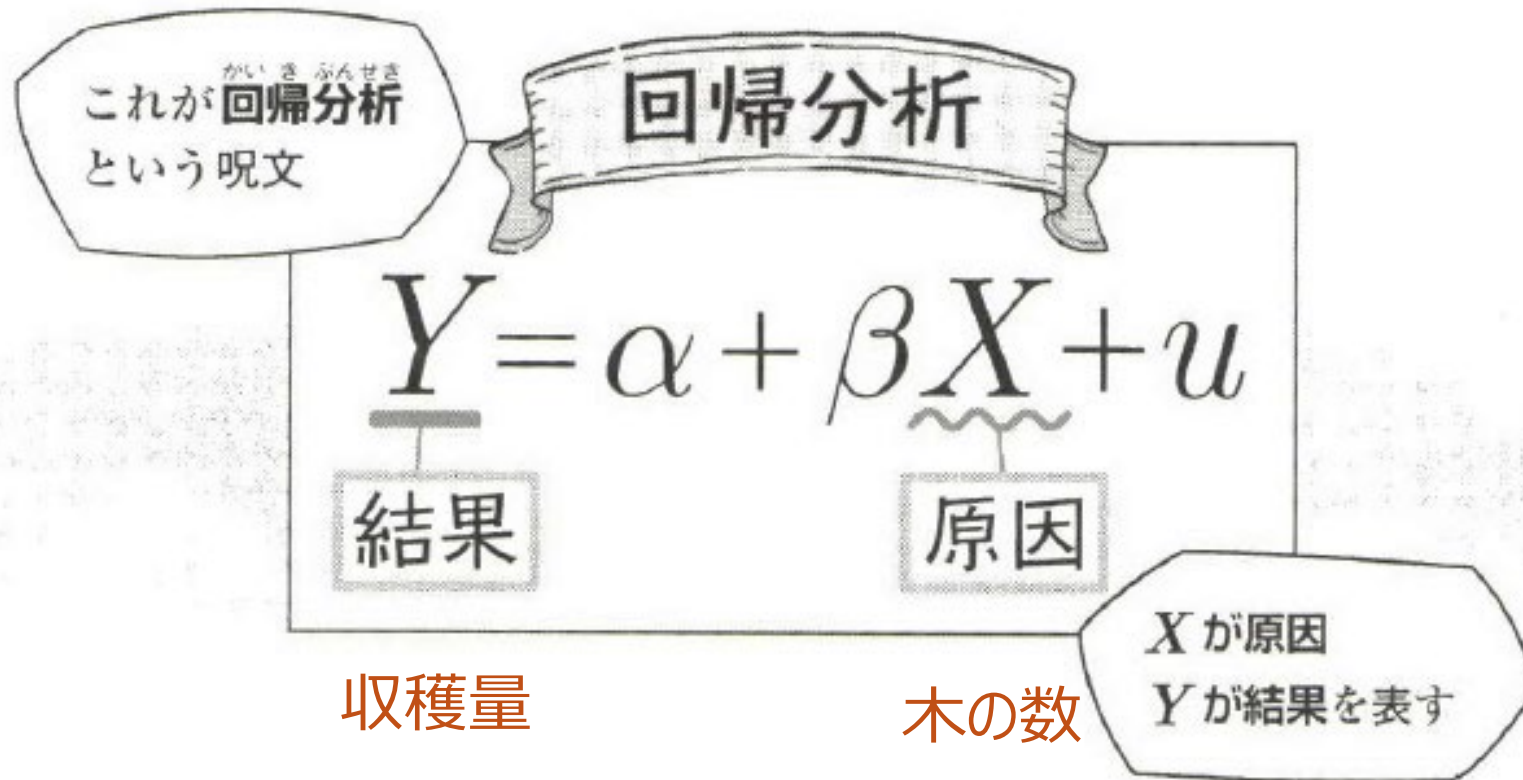
木の数が増えたら、収穫量はどうなるだろうか？



①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

2つの変数を式で関係づけるのが回帰分析



山澤成康『回帰分析から学ぶ計量経済学』

①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

係数と誤差項

$$Y_i = \alpha + \beta X_i + u_i$$

係数

誤差項
(かく乱項)

回帰式を完成するためには、 α や β を知る必要がある。
Xから計算した答えはぴったりYにならないため、誤差項も必要。

山澤成康『回帰分析から学ぶ計量経済学』

①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

単回帰分析

$$Y_i = \alpha + \beta X_i + u_i$$



タンカイキ！

$$Y_i = 99 + 0.52X_i$$

α の推定値

$\hat{\alpha}$

β の推定値

$\hat{\beta}$

α や β は「最小二乗法」
という方法で計算できる。

①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

具体的な例で考える

- 大学生の毎月のアルバイト収入と毎月の支出金額の例

	X	Y
	アルバイト収入（万円）	支出額（万円）
Aさん	4.0	3.1
Bさん	8.0	4.8
Cさん	12.0	6.9
Dさん	2.0	2.0
Eさん	6.0	3.9

回帰分析を使うと…

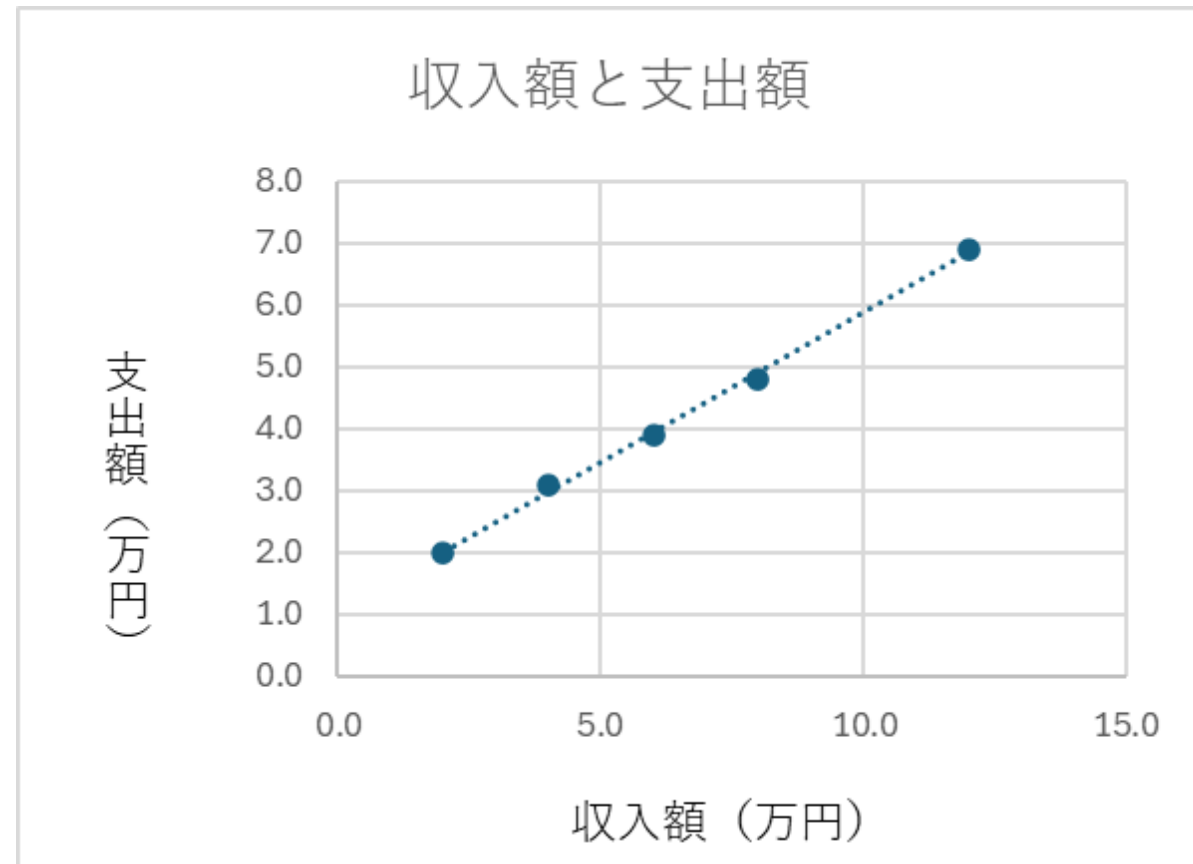
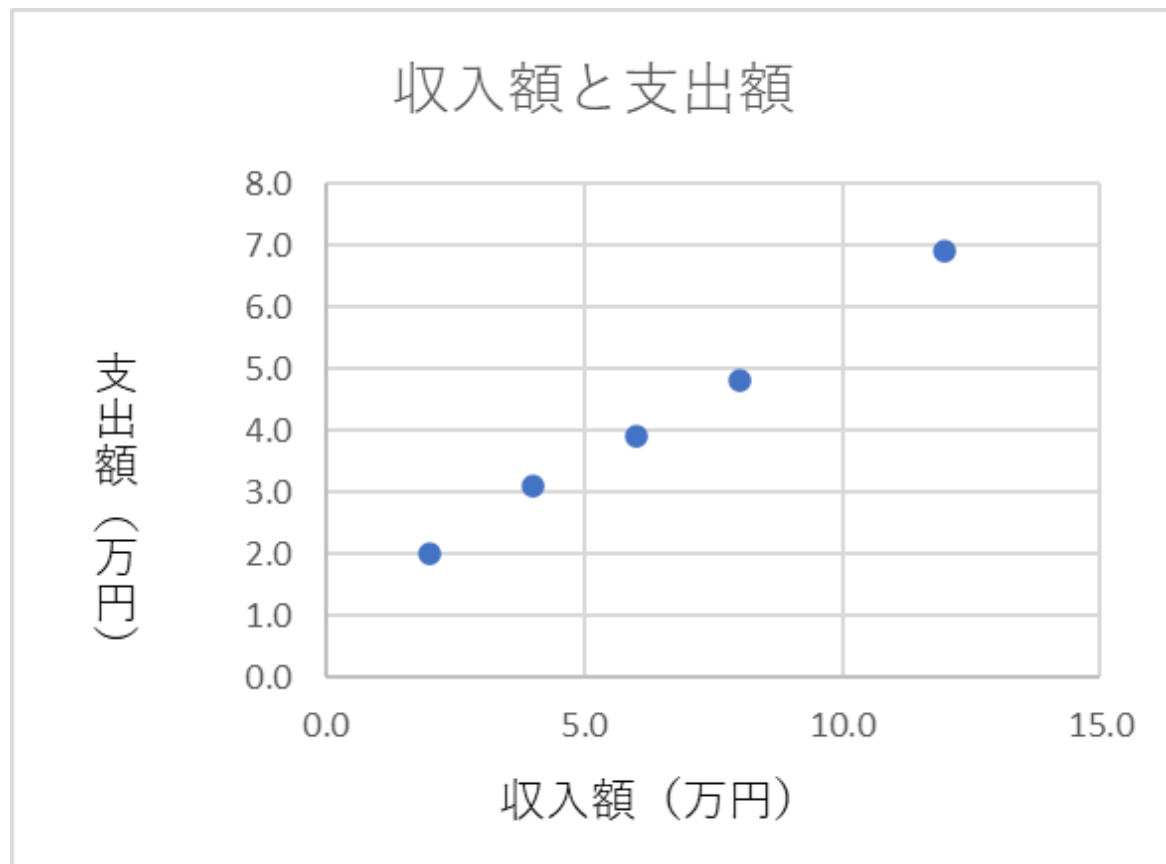
- ・「収入が多い人は支出が多い。」といことを確認できる。
- ・5万円の収入の人はどのくらい支出するかを予測することができる。

①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

散布図で描くと

直線が引けそうなので、
1次関数の式で表せそう。



- ・ 最小二乗法を使えば、2つの関係を図示できる。
- ・ また、切片と傾きが推定できて予測ができる。

①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

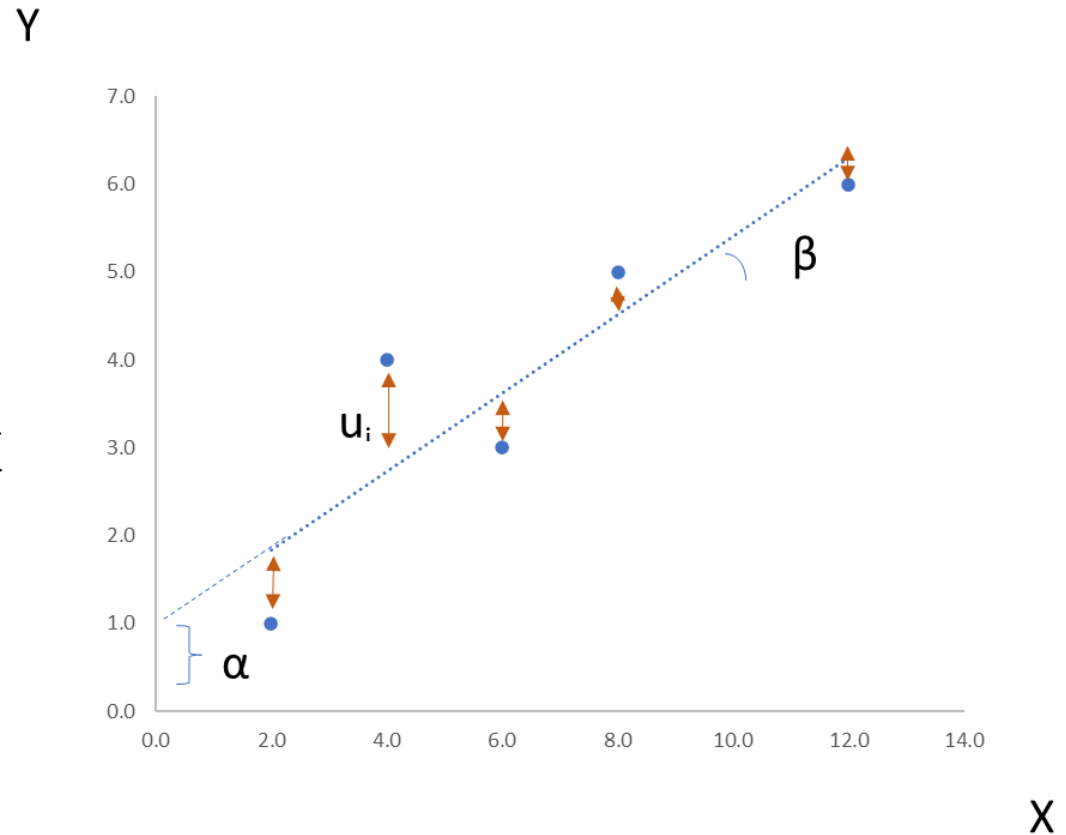
実際のデータに当てはめて推定値を求める

$$Y_i = \alpha + \beta X_i + u_i$$

切片

傾き

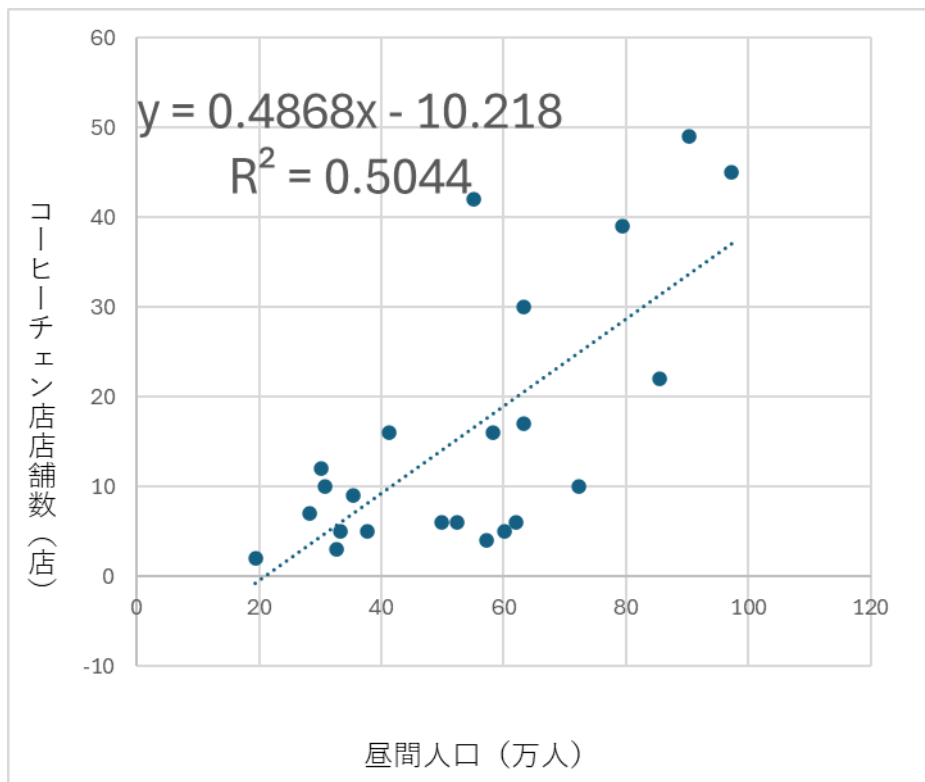
誤差項



①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

エクセルでも回帰分析はできる



「数式の表示の仕方」

- ・ データを選んで右クリック
- ・ 近似曲線の追加
- ・ 線形近似
- ・ 切片、グラフに数式を表示する、
グラフにR-2乗値を表示する
- ・ グラフで数式を表示できるのは x が
一つの場合のみ。
- ・ 分析ツールを使えば、複数の x でも
可能。

①データの「見え方」を知る

- 回帰分析：2つの変数の関係を捉える

推定した式を使うと何がわかるのか

- コーヒーチェーンの出店数が人口などのデータとどの程度関係があるのかがわかる。
- 関係がわかると、予測ができる。
- たとえば、以下の関係がわかる。

$$\text{出店数（店）} = 0.49 \times \text{昼間人口（万人）} - 10$$

- 昼間人口が100万人の場所には、39店あると予測できる。

②データ分析の基本姿勢

ー 思い込みに左右されない判断

データ分析の落とし穴

- 「原因と結果」の関係ではないが、そのような関係に見えるパターンがある。

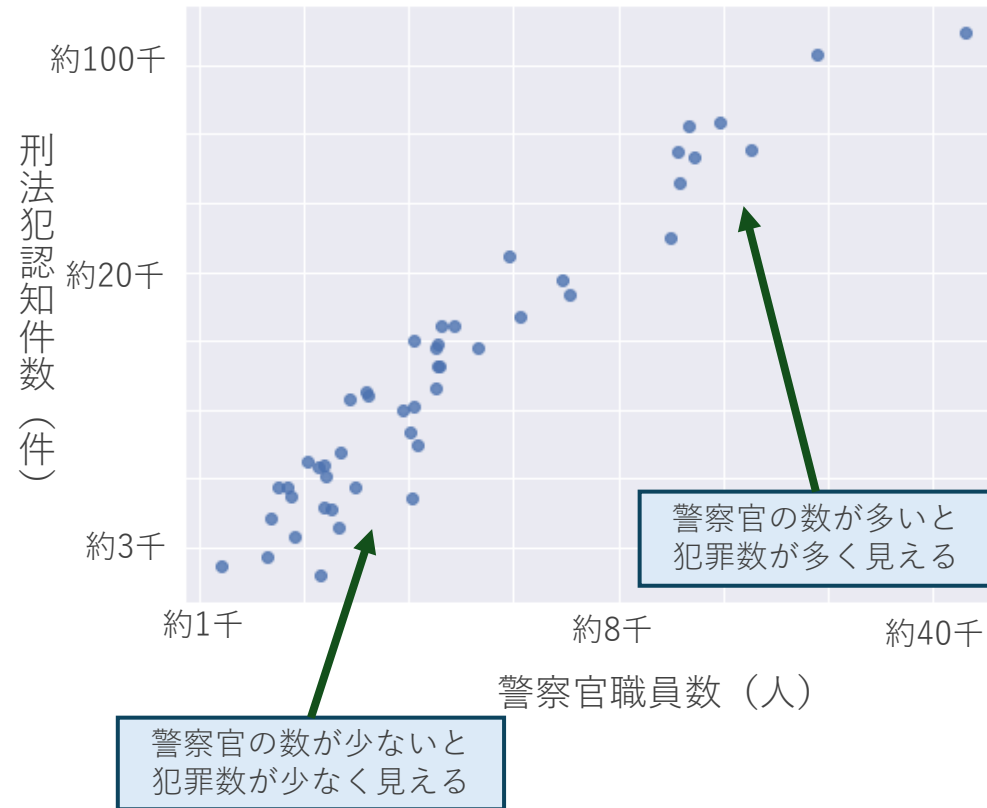
偶然	• 原因と結果の関係にあるように見える二つの要素が、たまたまそのように見えるだけのパターン
第三の変数	• 原因と結果の関係にあるように見える二つの要素が、それらとは別の要素によって変動しているパターン
逆の因果関係	• 原因と結果の関係にあるように見える二つの要素が、認識しているものと原因と結果が逆であるパターン

②データ分析の基本姿勢

ー 思い込みに左右されない判断

データ分析の落とし穴

都道府県別警察官の職員数と刑法犯認知件数



刑法犯認知件数（警察庁 刑法犯に関する統計資料）

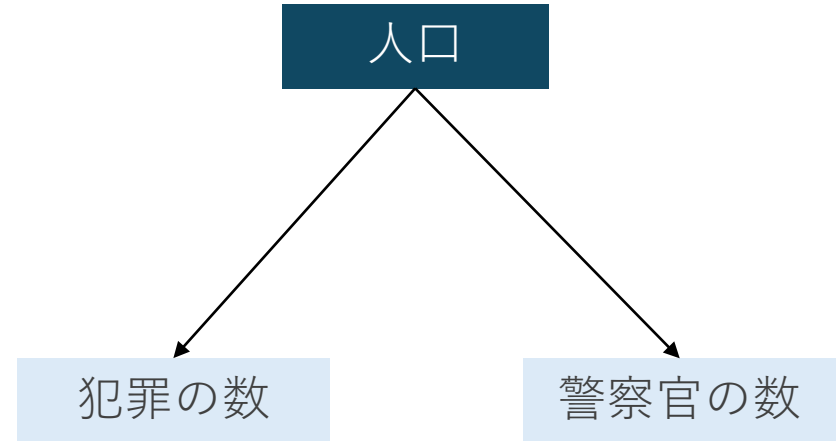
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/jousei.html>

部門別職員数（総務省 地方公共団体定員管理調査（都道府県データ））

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/teiin/index.html

原因

結果



Memo

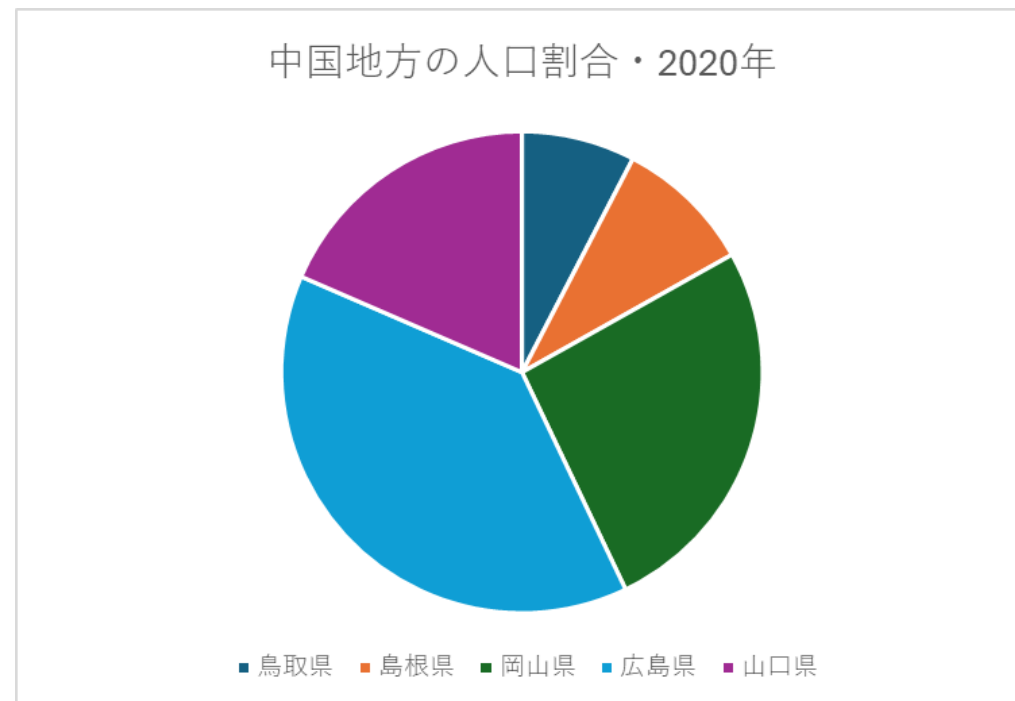
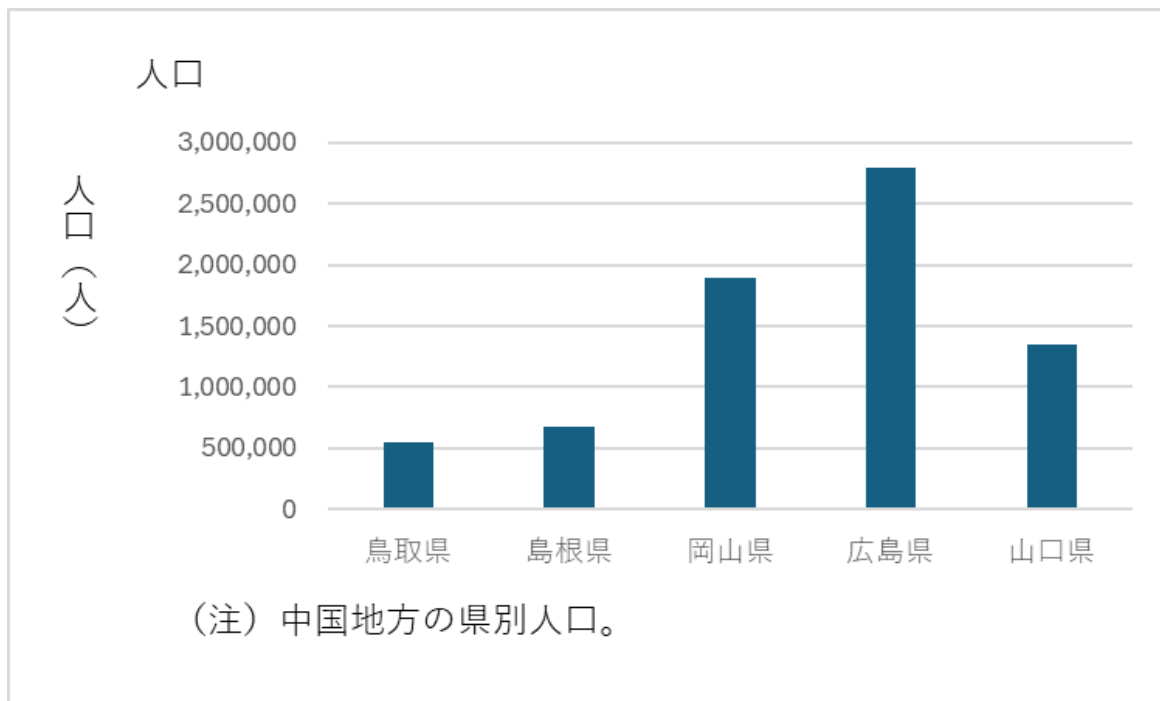
- グラフの作りは、横に行くほど警察官の数が多く、縦に行くほど刑法犯認知件数が多い作りである。
- グラフを見るだけだと、警察官の数が増えるほど、犯罪の数が増えているように見える。
- しかし、犯罪の数や警察官の数は、グラフ上に出ていない、「人口」という第三の変数に依存すると考えられる。このため、警察官の数を減らしても犯罪数は減らないと考えられる。
- なお、左のグラフは対数変換を行っているのでグラフのメモリは等間隔でない。

②分析の基本姿勢

ーグラフの目的に応じた使い方を学ぶ

棒グラフ・円グラフ

- ・カテゴリー別のデータには棒グラフや円グラフを使う。



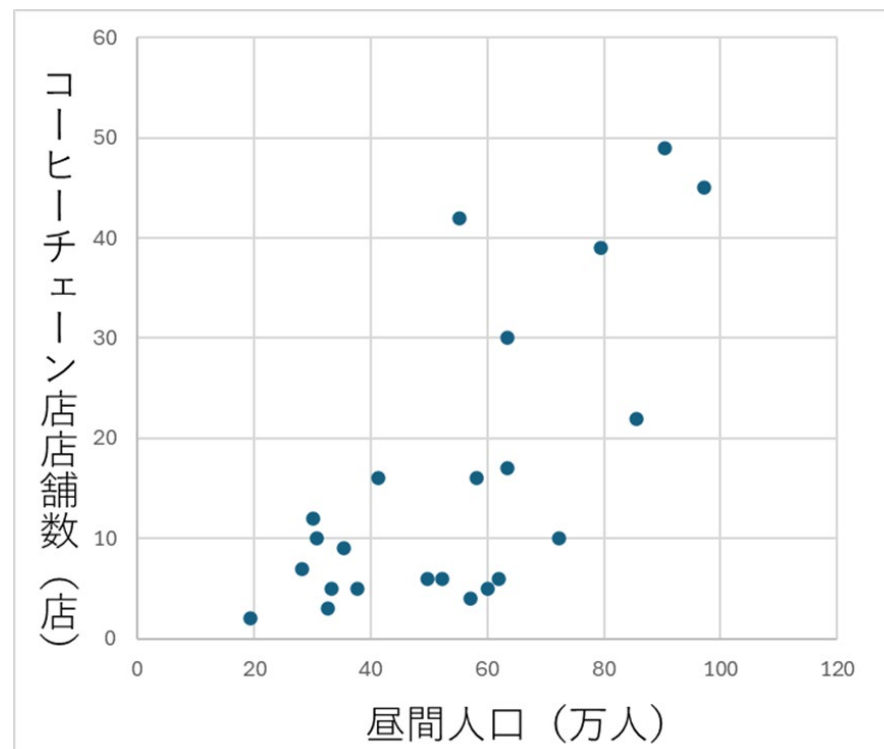
②分析の基本姿勢

ーグラフの目的に応じた使い方を学ぶ

折れ線グラフ・散布図

- 時間とともに変化するデータには折れ線グラフを使う。
- 2つの変数の関係を表すには散布図を使う。

レンタカー・カーシェアリング支出額（2010～2024年経年）



3. Excelを使った政府統計データの分析 (演習)

e-Stat / jSTAT MAP の活用

データ分析の一連の流れ

①	興味ある統計を 探してみよう	e-Stat / jSTAT MAP等、使えるデータの種類や内容を確認する。
②	利用可能なデータの内容の 確認	必要な統計・必要な項目を選択する（例：分析に必要な項目（年齢、性別、所得など）が入っているかを確認する、特定の地域や期間でデータを絞りこむ等）。
③	データをダウンロードして 整理	極端に大きな値や小さな値を確認し、必要に応じて削除または補正する。 単位を揃えたり、カテゴリデータを数値データに変換したりする。日付データは年月の形式に変換するなど、分析可能な形に整える。
④	特徴量を抽出し、分析に必 要な指標を考える	分析のために重要な特徴を選択。 （例：消費パターンを分析する際は、「平均消費金額」や「購入頻度」など）
⑤	Excelで回帰分析・グラフ 作成	基本統計量（平均、中央値など）を求め、ヒストグラムや折れ線グラフを使用してデータの分布や傾向を視覚化する。複数のデータ間の関係を相関係数で示し、どのデータが特に関連があるかを確認。
⑥	各指標間の関係性を確認・考察	

e-Statとは

- e-Statは、各府省の700調査以上もの統計データを1箇所を集めて、簡単に検索できるポータルサイト。
- 検索した統計データを統計表形式で表示されるだけでなく、グラフや地図、ランキング等、様々な形で可視化もできる。



e-Statを使うコツ

- 何も基礎知識なしだと使いにくい。
- 統計の発表資料などに目を通しておくとよい。
- たとえば、118件もデータベースがある。

家計調査を使ってみる

【家計調査を使うコツ】

- 2人以上世帯、家計収支、年次で使う（30件までに絞られる）。
- 品目別分類を使用（用途分類は使わない）。
- 金額を使う。
- 最新のデータを使う。時系列でみるときは複数年のデータを見る。
- 項目を選ぶ時はまずは「全解除」して、必要なものを選ぶ。

●統計データを探す (政府統計の調査結果を探します)

その他の絞込

 **すべて**

政府統計一覧の中から探します

 **分野**

17の統計分野から探します

 **組織**

統計を作成した府省等から探します

キーワード検索:

検 索

●統計データを活用する

 **グラフ**

主要指標をグラフで表示
(統計ダッシュボード)

 **時系列表**

主要指標を時系列表で表示
(統計ダッシュボード)

 **地図**

地図上に統計データを表示

 **地域**

都道府県、市区町村の
主要データを表示

 **利用ガイド**

e-Statの機能をご紹介します

●統計データの高度利用

マイクロデータの利用

公的統計のマイクロデータの利用案内
調査票情報の利用申出手続案内

統計データの自動取得 (API)

データを自動で受け取れる仕組み

●統計関連情報

統計分類・調査計画等

鉱工業



主な調査

- ＞ 業事工業生産動態統計調査
- ＞ 工業統計調査
- ＞ 経済産業省生産動態統計調査
- ＞ 生産動態統計
- ＞ 鉱工業生産・出荷・在庫指数
- ＞ 製造工業生産能力・稼働率指数
- ＞ 埋蔵鉱量統計調査
- ＞ 造船造機統計調査
- ＞ 鉄道車両等生産動態統計調査

＞ すべて見る (39 調査)

商業・サービス業



主な調査

- ＞ サービス産業動態統計調査
- ＞ 商業統計調査
- ＞ 商業動態統計調査
- ＞ 特定サービス産業実態調査
- ＞ 石油製品需給動態統計調査

＞ すべて見る (29 調査)

企業・家計・経済



主な調査

- ＞ 国民経済計算
- ＞ 個人企業経済調査
- ＞ 経済センサス - 基礎調査
- ＞ 経済センサス - 活動調査
- ＞ 経済構造実態調査
- ＞ 家計調査
- ＞ 全国家計構造調査 (旧全国消費実態調査)
- ＞ 小売物価統計調査
- ＞ 全国物価統計調査
- ＞ 産業連関表
- ＞ 法人企業統計調査
- ＞ 経済産業省企業活動基本調査

＞ すべて見る (89 調査)

住宅・土地・建設



主な調査

- ＞ 住宅・土地統計調査
- ＞ 建築着工統計調査
- ＞ 建設工事受注動態統計調査
- ＞ 法人土地・建物基本調査

＞ すべて見る (40 調査)

24,859 件のデータ

データ種別

データベース 118

ファイル 24,741

政府統計名で絞り込み

家計調査 [24,859]

検索結果をさらに絞り込み

統計分野（大分類）で絞り込み

組織で絞り込み

データセット

キーワードを入力

×

Q

検索条件の保存

▼検索オプション

☒提供分類、表題を検索

☒データベース、ファイル内を検索

保存した検索条件

▼

検索のしかた

i

家計調査

詳細

一覧形式で表示

家計調査は、統計理論に基づき選定された全国約9千世帯を対象として、家計の収入・支出、貯蓄・負債などを毎月調査しています。

家計調査の結果は、我が国の景気動向の把握、生活保護基準の検討などの基礎資料として利用のほか、地方公共団体、民間の会社などでも利用されています。

二人以上の世帯の結果は、主に、地域・世帯属性ごとに1世帯当たり1か月間の収支金額にまとめ毎月公表、単身世帯及び総世帯の家計収支に関する結果並びに二人以上の世帯の貯蓄・負債に関する結果を四半期ごとに公表しています。

家計調査	データベース	件数 更新日	ファイル	件数 更新日	概要
家計調査		118件 2025-10-07		24,741件 2025-10-07	

データ種別

データベース118

ファイル24,741

政府統計名で絞り込み

家計調査 [118]

提供統計名で絞り込み

家計調査 [118]

検索結果をさらに絞り込み

統計分野（大分類）で絞り込み

組織で絞り込み

政府統計名で絞り込み

提供統計名で絞り込み

提供周期で絞り込み

調査年で絞り込み

調査月で絞り込み

提供分類 1 で絞り込み

公開年月で絞り込み

▼検索オプション

提供分類、表題を検索 データベース、ファイル内を検索

保存した検索条件

家計調査 詳細

一覧形式で表示

家計調査は、統計理論に基づき選定された全国約9千世帯を対象として、家計の収入・支出、貯蓄・負債などを毎月調査しています。

家計調査の結果は、我が国の景気動向の把握、生活保護基準の検討などの基礎資料として利用のほか、地方公共団体、民間の会社などでも利用されています。

二人以上の世帯の結果は、主に、地域・世帯属性ごとに1世帯当たり1か月間の収支金額にまとめ毎月公表、単身世帯及び総世帯の家計収支に関する結果並びに二人以上の世帯の貯蓄・負債に関する結果を四半期ごとに公表しています。

家計調査	公開（更新）日
■家計収支編 [91件]	
— 二人以上の世帯 [59件]	
— 月次 [18件]	2025-10-07
— 四半期 [11件]	2025-08-08
— 年次 [30件]	2025-02-07
— 総世帯 [17件]	
— 四半期 [9件]	2025-08-08
— 年次 [8件]	2025-02-07
— 単身世帯 [15件]	
— 四半期 [8件]	2025-08-08
— 年次 [7件]	2025-02-07
■貯蓄・負債編 [27件]	
— 二人以上の世帯 [27件]	

提供統計名	家計調査	
提供分類1	家計収支編	
提供分類2	二人以上の世帯	
提供周期	年次	

表番号	統計表	調査年月	公開（更新）日	表示・ダウンロード
用途分類				
001	用途分類（総数）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
002	用途分類（年間収入五分位階級別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
003	用途分類（世帯主の定期収入五分位階級別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
004	用途分類（世帯人員別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
005	用途分類（世帯主の年齢階級別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
006	用途分類（世帯主の職業別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
008	用途分類（世帯主の勤め先企業規模別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
009	用途分類（住居の所有関係別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
品目分類				
010	品目分類（2020年改定）（総数：金額）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
011	品目分類（2020年改定）（総数：数量）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
012	品目分類（2020年改定）（年間収入五分位階級：金額）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
013	品目分類（2020年改定）（年間収入五分位階級：数量）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
014	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：金額）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
015	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：数量）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
010	品目分類（平成27年改定）（総数：金額）	-	2020-02-07	→ DB 📄 API
011	品目分類（平成27年改定）（総数：数量）	-	2020-02-07	→ DB 📄 API

統計表・グラフ表示

統計名	家計調査 家計収支編 二人以上の世帯
表番号	010
表題	品目分類（2020年改定）（総数：金額）

▼ もっと見る

≡ 統計表表示

📊 グラフ表示



表示項目選択 >

レイアウト設定 >

表章項目
金額

世帯区分（年次～二人以上の世帯）
二人以上の世帯（2000年～）

地域区分
全国

再表示

凡例表示

	世帯数分布(抽出率調整) 【一万分比】	集計世帯数 【世帯】	世帯人員 【人】	18歳未満人員 【人】	65歳以上人員 【人】	65歳以上無職者人員 【人】	有業人員 【人】	世帯主の年齢 【歳】	持家 【%】
2000年	10,000	7,921	3.31	0.74	0.53	0.42	1.52	52.8	
2001年	10,000	7,913	3.28	0.71	0.57	0.44	1.51	53.6	
2002年	10,000	7,908	3.24	0.70	0.58	0.46	1.45	53.8	
2003年	10,000	7,912	3.22	0.68	0.59	0.47	1.44	54.0	
2004年	10,000	7,896	3.19	0.68	0.59	0.47	1.41	54.4	
2005年	10,000	7,891	3.17	0.64	0.62	0.49	1.42	54.9	
2006年	10,000	7,854	3.16	0.65	0.63	0.51	1.41	55.2	
2007年	10,000	7,830	3.14	0.64	0.67	0.54	1.39	55.7	
2008年	10,000	7,818	3.13	0.64	0.65	0.53	1.39	55.7	
2009年	10,000	7,828	3.11	0.65	0.66	0.53	1.37	55.8	
2010年	10,000	7,817	3.09	0.63	0.68	0.55	1.36	56.3	
2011年	10,000	7,676	3.08	0.62	0.69	0.57	1.33	56.8	
2012年	10,000	7,788	3.07	0.60	0.72	0.59	1.33	57.5	
2013年	10,000	7,784	3.05	0.59	0.76	0.61	1.34	57.9	

表示項目選択 ?

初期状態は全項目表示状態です。表示を変更するには、以下の手順で設定を変更してください。

1. **項目を選択** ボタンをクリックして表示項目を設定してください。
2. **確定** ボタンを押すと変更内容の表示が更新されます。

画面表示セル数： 27,600

画面総セル数： 5,851,200

(統計表は最大100,000セルまで表示可能、
グラフは最大15,000セルまで表示可能)

 解説表示

項番	事項名	説明	選択/全項目 ?	
1/5	表章項目		1/1	項目を選択
2/5	品目分類（2020年改定）		690/690	項目を選択
3/5	世帯区分（年次一二人以上の世帯）		4/4	項目を選択
4/5	地域区分		53/53	項目を選択
5/5	時間軸（年次）		40/40	項目を選択

初期状態に戻す（全項目表示）

キャンセル

確定

表示項目選択



レイアウト設定



表示項目選択 ?

初期状態は全項目表示状態です。表示を変更するには、以下の手順で設定を変更してください。

1. **項目を選択** ボタンをクリックして表示項目を設定してください。
2. **確定** ボタンを押すと変更内容の表示が更新されます。

画面表示セル数： 27,600

画面総セル数： 5,851,200

(統計表は最大100,000セルまで表示可能、
グラフは最大15,000セルまで表示可能)

i 解説表示

項番	事項名	説明	選択/全項目 ?
1/5	表章項目		1/1 項目を選択
2/5	品目分類 (2020年改定)		690/690 項目を選択
3/5	世帯区分 (年次一二人以上の世帯)		4/4 項目を選択
4/5	地域区分		53/53 項目を選択
5/5	時間軸 (年次)		40/40 項目を選択

初期状態に戻す (全項目表示)

キャンセル

確定

表示項目選択 <

レイアウト設定 >

「全解除」して、必要な項目を選ぶ→確定

表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

2/5 品目分類 (2020年改定) ?

表示切替 選択: 1 全項目: 690 未選択: 689 全選択 全解除

☐ 357 スナック菓子
☐ 349 キャンデー
☐ 352 チョコレート
☒ 53 チョコレート菓子
☐ 356 アイスクリーム・シャーベット
☐ 359 他の菓子
☐ 1.9 調理食品
☐ 1.9.1 主食的調理食品

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。

連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

⇄ 選択状態の反転

反転

✓ 複数項目の選択/解除

選択

解除

👤 配下グループの選択/解除

選択

解除

📁 同一階層の選択/解除

選択

解除

🕒 時間軸の範囲選択

選択

項目検索

🔍

キャンセル

確定

「チョコ」と入力
して検索

表示項目選択 ?

初期状態は全項目表示状態です。表示を変更するには、以下の手順で設定を変更してください。

1. **項目を選択** ボタンをクリックして表示項目を設定してください。
2. **確定** ボタンを押すと変更内容の表示が更新されます。

画面表示セル数： 27,600

画面総セル数： 5,851,200

(統計表は最大100,000セルまで表示可能、
グラフは最大15,000セルまで表示可能)

i 解説表示

項番	事項名	説明	選択/全項目 ?
1/5	表章項目		1/1 項目を選択
2/5	品目分類 (2020年改定)		690/690 項目を選択
3/5	世帯区分 (年次一二人以上の世帯)		4/4 項目を選択
4/5	地域区分		53/53 項目を選択
5/5	時間軸 (年次)		40/40 項目を選択

初期状態に戻す (全項目表示)

キャンセル

確定

表示項目選択 <

レイアウト設定 >

「全解除」して、必要な項目を選ぶ→確定

表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

5/5 時間軸 (年次) ?

表示切替

選択: 15

全項目: 40

未選択: 25

全選択

全解除

- ☐ 2009年
- ☒ 2010年
- ☒ 2011年
- ☒ 2012年
- ☒ 2013年
- ☒ 2014年
- ☒ 2015年
- ☒ 2016年

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。

連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

⇄ 選択状態の反転

反転

✓ 複数項目の選択/解除

選択

解除

👤 配下グループの選択/解除

選択

解除

☰ 同一階層の選択/解除

選択

解除

📅 時間軸の範囲選択

選択

項目検索



キャンセル

確定

グラフ表示設定 ?

変更を保存して表示に反映させるには、**設定して表示を更新** を押してください。

1 グラフ表示設定

グラフの種類選択	折れ線グラフ ▼
グラフのタイトル	
基準軸の選択	☐ 列 ☒ 行
基準軸の並び順	☒ 昇順 ☐ 降順

キャンセル

設定して表示を更新

表示項目選択
➤

レイアウト設定
➤

グラフ表示設定
➤

グラフ表示設定を選択
→作成したい「グラフの種類」を選択

2010年～2024年経年

- チョコレート菓子支出額（2010～2024年経年）
- 家事代行料支出額（2010年～2024年経年）

チョコレート菓子支出額（2010～2024年経年）

統計表・グラフ表示

統計名	家計調査 家計収支編 二人以上の世帯
表番号	010
表題	品目分類（2020年改定）（総数：金額）

▼ もっと見る

統計表表示

グラフ表示



表示項目選択

レイアウト設定

グラフ表示設定

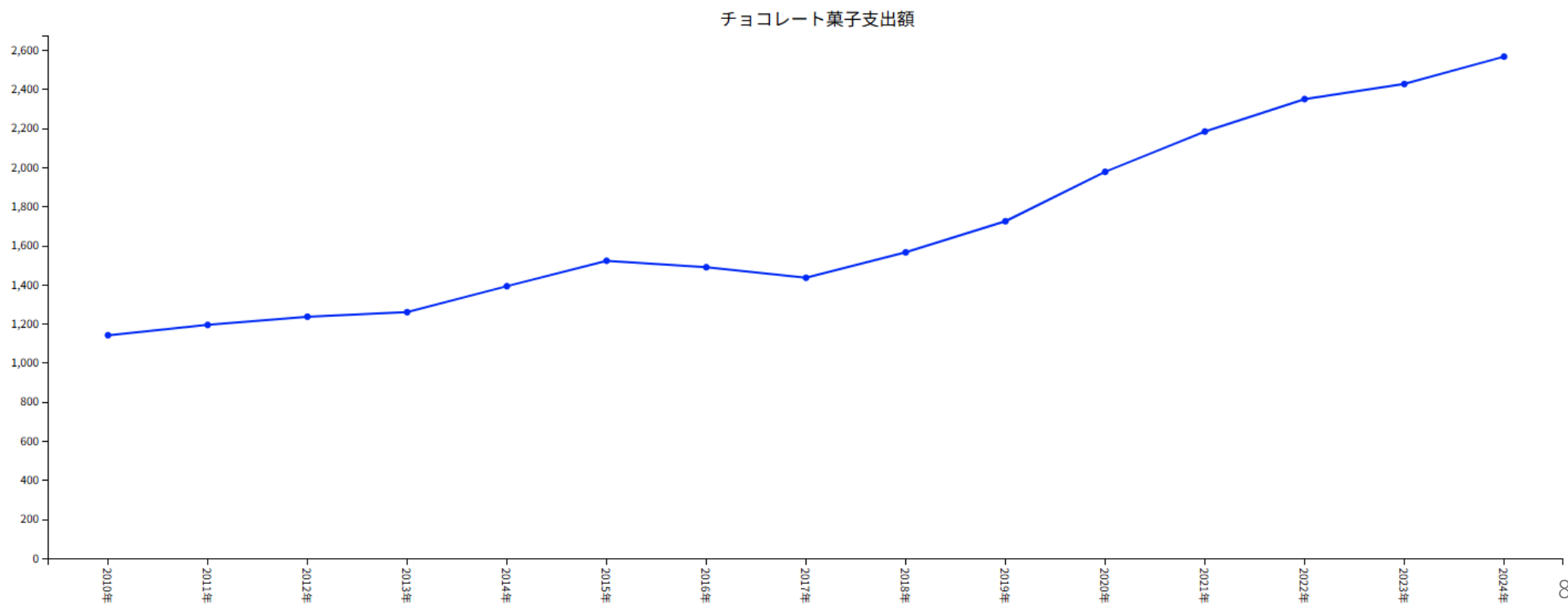
世帯区分（年次－二人以上の世帯）

二人以上の世帯（2000年～）

地域区分

全国

再表示



家事代行料支出額（2010～2024年経年）

統計表・グラフ表示

統計名	家計調査 家計収支編 二人以上の世帯
表番号	010
表題	品目分類（2020年改定）（総数：金額）

▼ もっと見る

統計表表示

グラフ表示



表示項目選択



レイアウト設定



グラフ表示設定



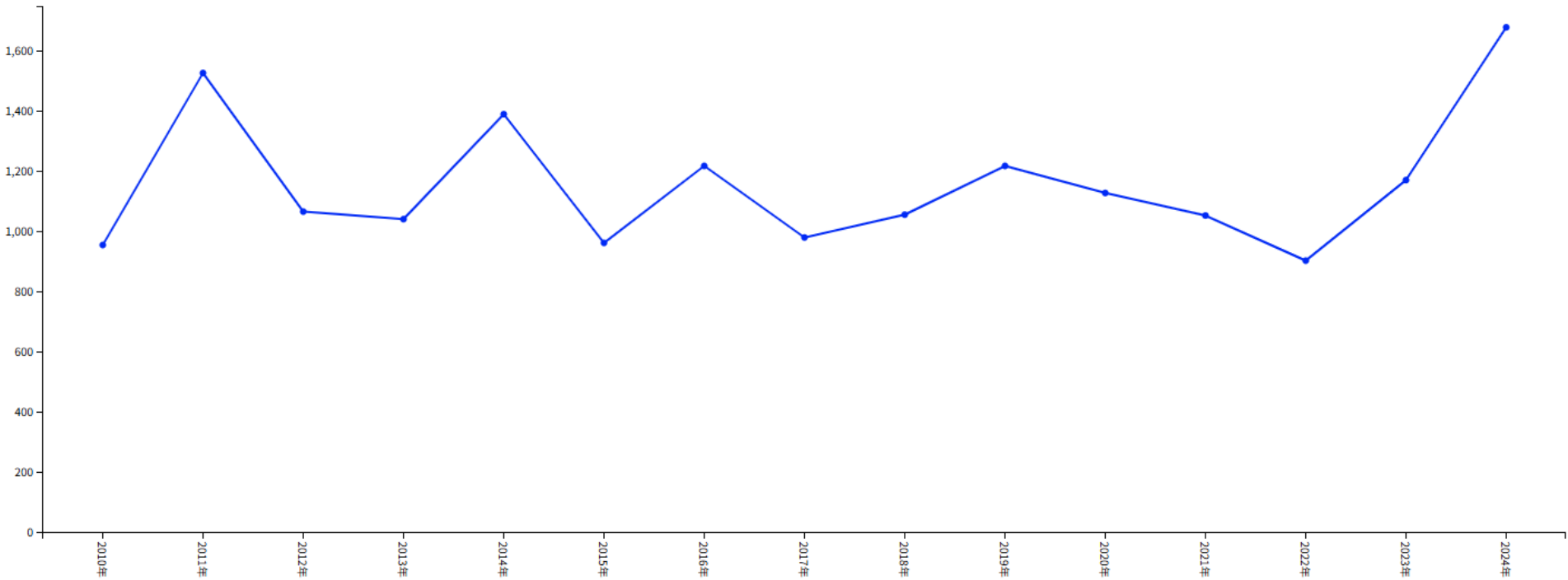
表章項目 金額

世帯区分（年次－二人以上の世帯） 二人以上の世帯（2000年～）

地域区分 全国

再表示

家事代行料支出額



年間収入階級別

- 月謝支出額（スポーツ、語学、音楽）（2024年収入階級別）
- カップ麺、中華そば（2024年収入階級別）
- 酒類（2024年収入階級別）

提供統計名	家計調査	
提供分類1	家計収支編	
提供分類2	二人以上の世帯	
提供周期	年次	

表番号	統計表	調査年月	公開（更新）日	表示・ダウンロード	
用途分類					
001	用途分類（総数）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
002	用途分類（年間収入五分位階級別）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
003	用途分類（世帯主の定期収入五分位階級別）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
004	用途分類（世帯人員別）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
005	用途分類（世帯主の年齢階級別）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
006	用途分類（世帯主の職業別）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
008	用途分類（世帯主の勤め先企業規模別）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
009	用途分類（住居の所有関係別）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
品目分類					
010	品目分類（2020年改定）（総数：金額）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
011	品目分類（2020年改定）（総数：数量）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
012	品目分類（2020年改定）（年間収入五分位階級：金額）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
013	品目分類（2020年改定）（年間収入五分位階級：数量）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
014	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：金額）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
015	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：数量）	-	2025-02-07	→ DB	🔗 API
010	品目分類（平成27年改定）（総数：金額）	-	2020-02-07	→ DB	🔗 API
011	品目分類（平成27年改定）（総数：数量）	-	2020-02-07	→ DB	🔗 API

表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

2/6 品目分類（2020年改定）

?

表示切替

選択: 3

全項目: 690

未選択: 687

全選択

全解除

☐ 9.4.3 月謝類

☒ 875 語学月謝
 ☐ 870 他の教育的月謝
 ☒ 876 音楽月謝
 ☐ 871 他の教養的月謝
 ☒ 872 スポーツ月謝
 ☐ 873 自動車教習料
 ☐ 874 家賃月謝

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。

連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

⇄ 選択状態の反転

反転

✓ 複数項目の選択/解除

選択

解除

👤 配下グループの選択/解除

選択

解除

📋 同一階層の選択/解除

選択

解除

🕒 時間軸の範囲選択

選択

月謝

🔍

キャンセル

確定

月謝で検索

表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

4/6 年間収入五分位

?

表示切替

選択: 5

全項目: 6

未選択: 1

全選択

全解除

☐ 平均

☒ 年収五分位1
 ☒ 年収五分位2
 ☒ 年収五分位3
 ☒ 年収五分位4
 ☒ 年収五分位5

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。

連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

⇄ 選択状態の反転

反転

✓ 複数項目の選択/解除

選択

解除

👤 配下グループの選択/解除

選択

解除

📋 同一階層の選択/解除

選択

解除

🕒 時間軸の範囲選択

選択

項目検索

🔍

キャンセル

確定

平均以外の年収5分位とする

86

表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

6/6 時間軸（年次）

?

表示切替

選択: 1

全項目: 40

未選択: 39

全選択

全解除

☐ 2017年

☐ 2018年

☐ 2019年

☐ 2020年

☐ 2021年

☐ 2022年

☐ 2023年

☒ 2024年

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。
連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

☒ 選択状態の反転

反転

☒ 複数項目の選択/解除

選択

解除

☒ 配下グループの選択/解除

選択

解除

☒ 同一階層の選択/解除

選択

解除

☒ 時間軸の範囲選択

選択

項目検索

Q

キャンセル

確定

最新の2024年のみにする

レイアウト設定

レイアウト変更は、下記の項目名の を押して「ページ上部」「列」「行」を選択して項目を移動してください。表示順の変更は を押して調整してください。変更を保存して表示に反映させるには、 を押してください。

1レイアウト設定

ページ上部 (欄外)

▼

表章項目

^

▼

▼

世帯区分 (年次—二人以上の世帯)

^

▼

▼

地域区分

^

▼

▼

時間軸 (年次)

^

▼

列

▼

年間収入五分位

^

▼

行

▼

品目分類 (2020年改定)

^

▼

ページ上部

列

行

画面表示セル数：15

画面総セル数：60

(統計表は最大100,000セルまで表示可能、
グラフは最大15,000セルまで表示可能)

キャンセル

設定して表示を更新

2表示オプション

グラフ表示設定

変更を保存して表示に反映させるには、 を押してください。

1グラフ表示設定

グラフの種類選択

折れ線グラフ

グラフのタイトル

基準軸の選択

☒ 列 ☐ 行

基準軸の並び順

☒ 昇順 ☐ 降順

キャンセル

設定して表示を更新

表示項目選択

レイアウト設定

グラフ表示設定

行を品目分類に

折れ線グラフに変更

88

月謝支出額（スポーツ・音楽・語学）（2024年収入階級別）

統計表表示

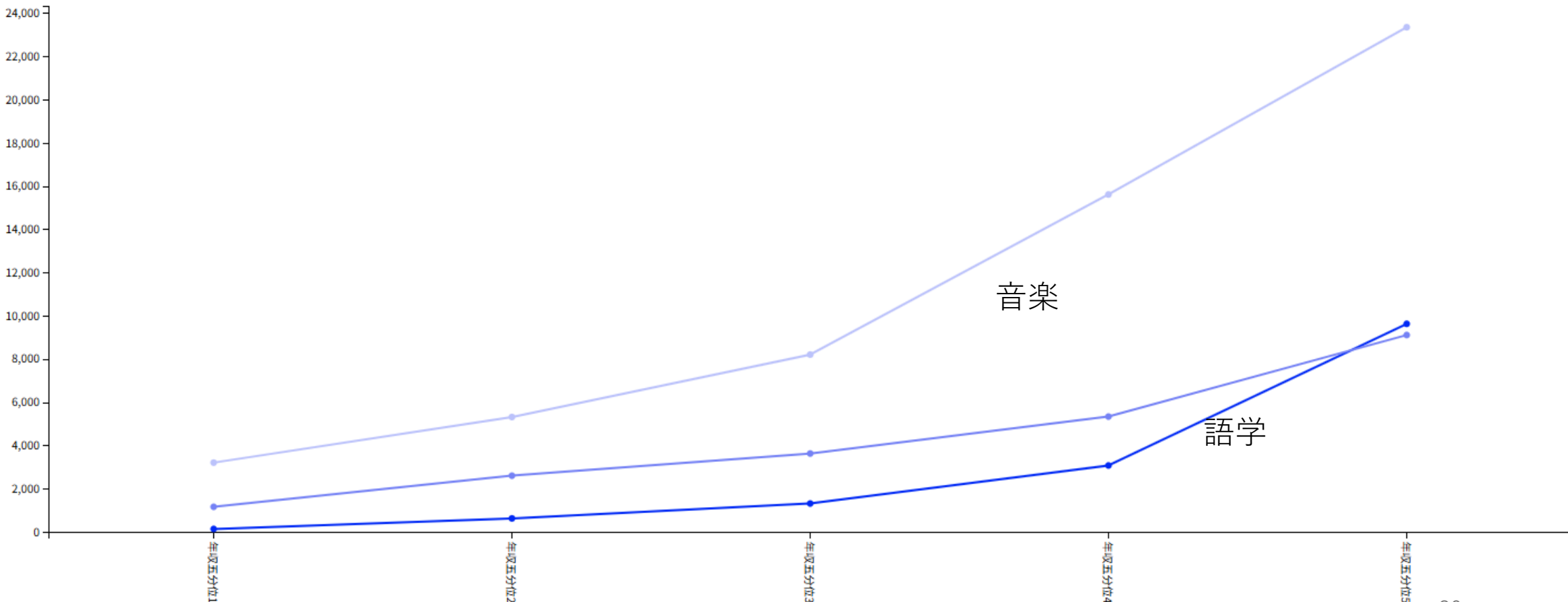
グラフ表示

?

表章項目 金額 地域区分 全国 時間軸（年次） 2024年

再表示

月謝（スポーツ、音楽、語学）



カップ麺、中華そば（2024年収入階級別）

統計表表示

グラフ表示

?

表項目 金額

世帯区分（年次-二人以上の世帯） 二人以上の世帯（2000年～）

地域区分 全国

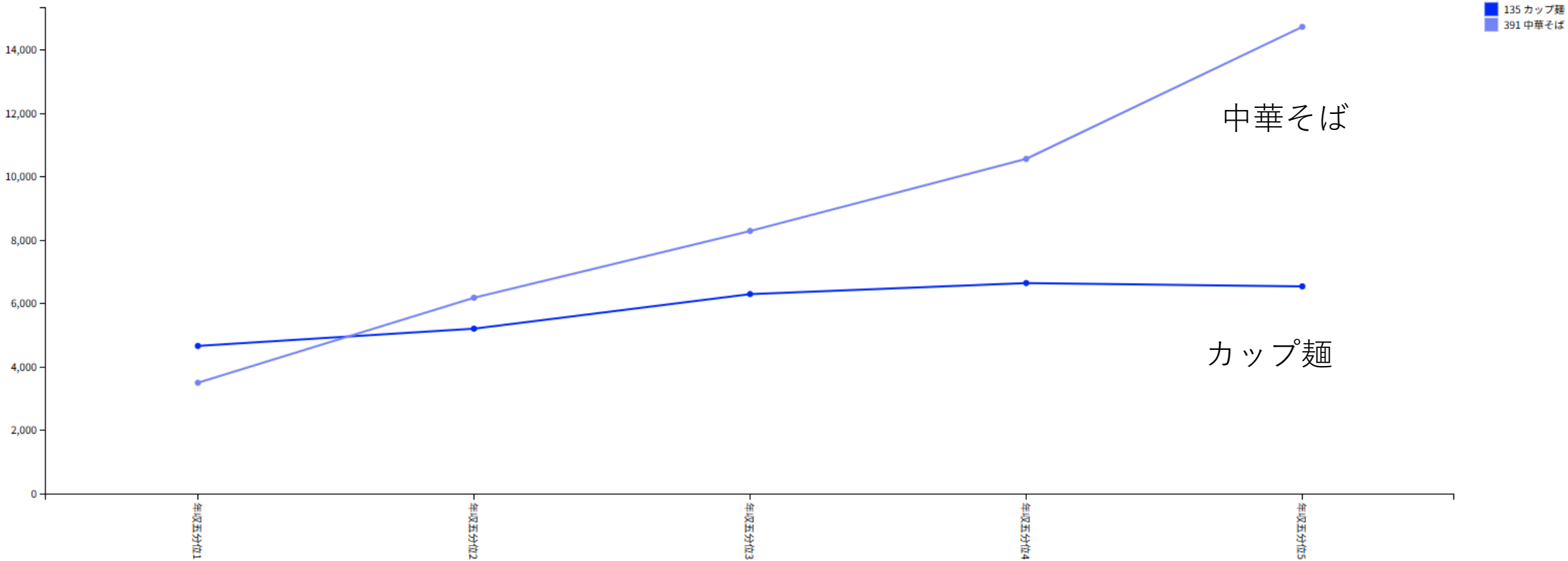
時間軸（年次） 2024年

再表示

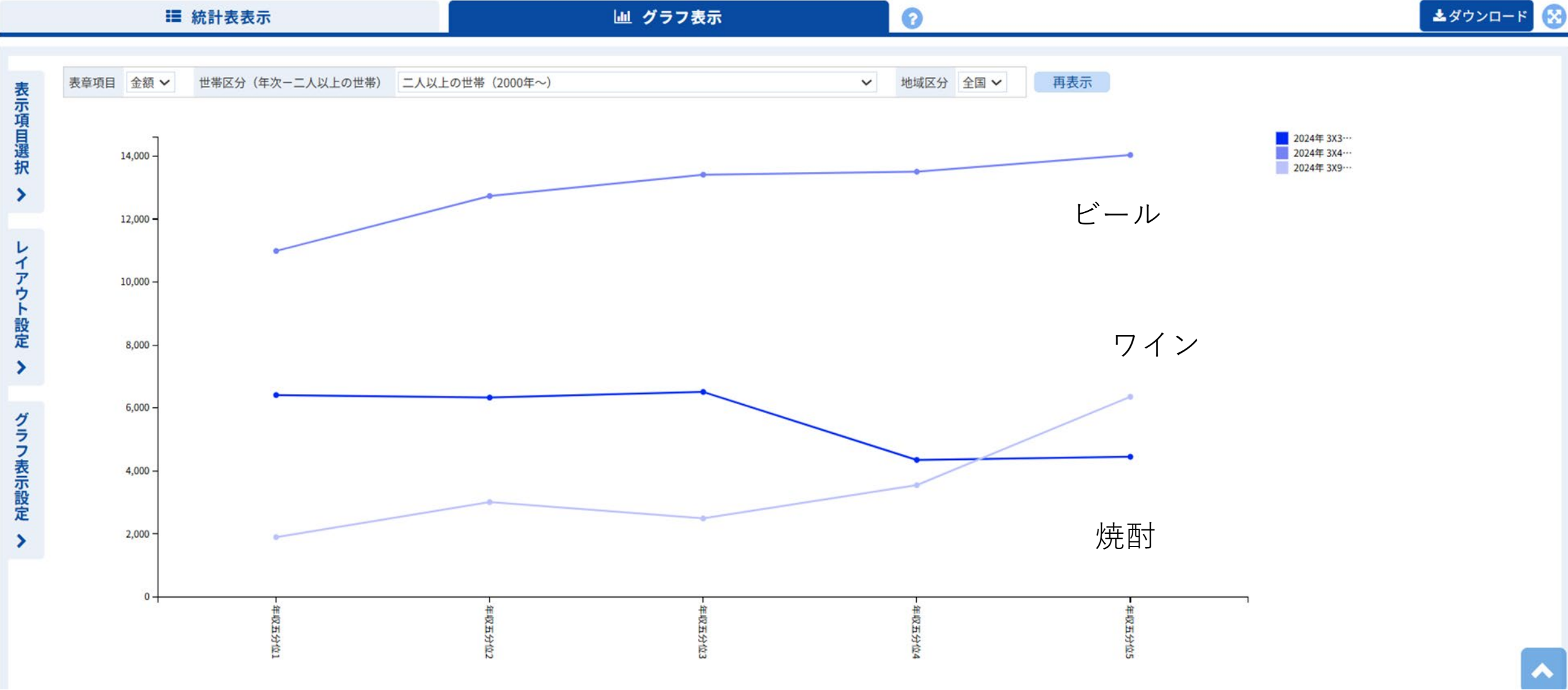
表示項目選択

レイアウト設定

グラフ表示設定



酒類支出額（2024年收入階級別）



表やグラフの見え方の変更

- 菓子類支出額（2024年年齢階級別）
- 菓子類支出額（2010～2024年経年）

提供統計名	家計調査	
提供分類1	家計収支編	
提供分類2	二人以上の世帯	
提供周期	年次	

表番号	統計表	調査年月	公開（更新）日	表示・ダウンロード
用途分類				
001	用途分類（総数）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
002	用途分類（年間収入五分位階級別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
003	用途分類（世帯主の定期収入五分位階級別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
004	用途分類（世帯人員別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
005	用途分類（世帯主の年齢階級別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
006	用途分類（世帯主の職業別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
008	用途分類（世帯主の勤め先企業規模別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
009	用途分類（住居の所有関係別）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
品目分類				
010	品目分類（2020年改定）（総数：金額）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
011	品目分類（2020年改定）（総数：数量）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
012	品目分類（2020年改定）（年間収入五分位階級：金額）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
013	品目分類（2020年改定）（年間収入五分位階級：数量）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
014	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：金額）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
015	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：数量）	-	2025-02-07	→ DB 📄 API
010	品目分類（平成27年改定）（総数：金額）	-	2020-02-07	→ DB 📄 API
011	品目分類（平成27年改定）（総数：数量）	-	2020-02-07	→ DB 📄 API

統計表・グラフ表示

統計名	家計調査 家計収支編 二人以上の世帯
表番号	014
表題	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：金額）

▼ もっと見る

統計表表示		グラフ表示					
表章項目	金額▼	品目分類（2020年改定）	世帯数分布(抽出率調整)【一万分比】			世帯区分（年次－二人以上の世帯）	二人以上の世帯
	平均	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳
2000年	10,000	385	1,637	2,138	2,427	2,131	
2001年	10,000	366	1,573	1,961	2,410	2,310	
2002年	10,000	354	1,531	1,915	2,489	2,237	
2003年	10,000	324	1,562	1,887	2,434	2,286	
2004年	10,000	294	1,497	1,982	2,325	2,275	
2005年	10,000	248	1,498	1,856	2,348	2,349	
2006年	10,000	266	1,475	1,857	2,325	2,230	
2007年	10,000	265	1,394	1,838	2,249	2,354	
2008年	10,000	206	1,487	1,894	2,092	2,365	
2009年	10,000	215	1,449	1,929	2,010	2,420	
2010年	10,000	232	1,356	1,894	1,973	2,472	
2011年	10,000	209	1,380	1,825	1,861	2,453	
2012年	10,000	183	1,255	1,810	1,823	2,517	
2013年	10,000	158	1,200	1,860	1,784	2,451	
2014年	10,000	183	1,136	1,854	1,720	2,420	
2015年	10,000	170	1,052	1,776	1,778	2,468	
2016年	10,000	170	1,045	1,804	1,678	2,414	
2017年	10,000	159	1,011	1,789	1,701	2,345	
2018年	10,000	149	996	1,851	1,774	2,279	
2019年	10,000	127	1,029	1,890	1,711	2,183	

表示項目選択

レイアウト設定

表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

2/6 品目分類（2020年改定）

?

✕

表示切替

選択: 3

全項目: 690

未選択: 687

全選択

全解除

☐ 1.8 菓子類

☐ 340 ようかん
 ☐ 341 まんじゅう
 ☐ 342 他の和生菓子
 ☐ 343 カステラ
 ☒ 344 ケーキ
 ☐ 347 ゼリー
 ☐ 348 プリン

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。
連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

⇄ 選択状態の反転

反転

✓ 複数項目の選択/解除

選択

解除

👤 配下グループの選択/解除

選択

解除

📋 同一階層の選択/解除

選択

解除

🕒 時間軸の範囲選択

選択

菓子類

🔍

キャンセル

確定

菓子類で検索

表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

4/6 世帯主の年齢階級

?

✕

表示切替

選択: 6

全項目: 12

未選択: 6

全選択

全解除

☐ 平均
 ☒ 29歳以下
 ☒ 30～39歳
 ☒ 40～49歳
 ☒ 50～59歳
 ☒ 60～69歳
 ☒ 70歳以上
 ☐ 75～74歳

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。
連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

⇄ 選択状態の反転

反転

✓ 複数項目の選択/解除

選択

解除

👤 配下グループの選択/解除

選択

解除

📋 同一階層の選択/解除

選択

解除

🕒 時間軸の範囲選択

選択

項目検索

🔍

キャンセル

確定

年齢階級を選択

統計表・グラフ表示

統計名	家計調査 家計収支編 二人以上の世帯
表番号	014
表題	品目分類（2020年改定）（世帯主の年齢階級：金額）

▼ もっと見る

≡ 統計表表示

📊 グラフ表示



表示項目選択
>

レイアウト設定
>

表章項目	金額▼	品目分類（2020年改定）	世帯数分布(抽出率調整)【一万分比】▼	世帯区分（年次－二人以上の世帯）	二人以上の世帯		
	平均	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2000年	10,000	385	1,637	2,138	2,427	2,131	
2001年	10,000	366	1,573	1,961	2,410	2,310	
2002年	10,000	354	1,531	1,915	2,489	2,237	
2003年	10,000	324	1,562	1,887	2,434	2,286	
2004年	10,000	294	1,497	1,982	2,325	2,275	
2005年	10,000	248	1,498	1,856	2,348	2,349	
2006年	10,000	266	1,475	1,857	2,325	2,230	
2007年	10,000	265	1,394	1,838	2,249	2,354	
2008年	10,000	206	1,487	1,894	2,092	2,365	
2009年	10,000	215	1,449	1,929	2,010	2,420	
2010年	10,000	232	1,356	1,894	1,973	2,472	
2011年	10,000	209	1,380	1,825	1,861	2,453	
2012年	10,000	183	1,255	1,810	1,823	2,517	
2013年	10,000	158	1,200	1,860	1,784	2,451	
2014年	10,000	183	1,136	1,854	1,720	2,420	
2015年	10,000	170	1,052	1,776	1,778	2,468	
2016年	10,000	170	1,045	1,804	1,678	2,414	
2017年	10,000	159	1,011	1,789	1,701	2,345	
2018年	10,000	149	996	1,851	1,774	2,279	
2019年	10,000	127	1,029	1,890	1,711	2,183	

レイアウト設定 ?

レイアウト変更は、下記の項目名の▼を押して「ページ上部」「列」「行」を選択して項目を移動してください。表示順の変更は▲▼を押して調整してください。変更を保存して表示に反映させるには、**設定して表示を更新**を押してください。

1 レイアウト設定

ページ上部 (欄外)	
▼ 表章項目 ▲▼	
▼ 世帯区分 (年次～二人以上の世帯) ▲▼	
▼ 地域区分 ▲▼	
▼ 時間軸 (年次) ▲▼	

列
▼ 世帯主の年齢階級 ▲▼

行
▼ 品目分類 (2020年改定) ▲▼

画面表示セル数： 36
画面総セル数： 36
(統計表は最大100,000セルまで表示可能、
グラフは最大15,000セルまで表示可能)

キャンセル **設定して表示を更新**

2 表示オプション ?

グラフ表示設定 ?

変更を保存して表示に反映させるには、**設定して表示を更新**を押してください。

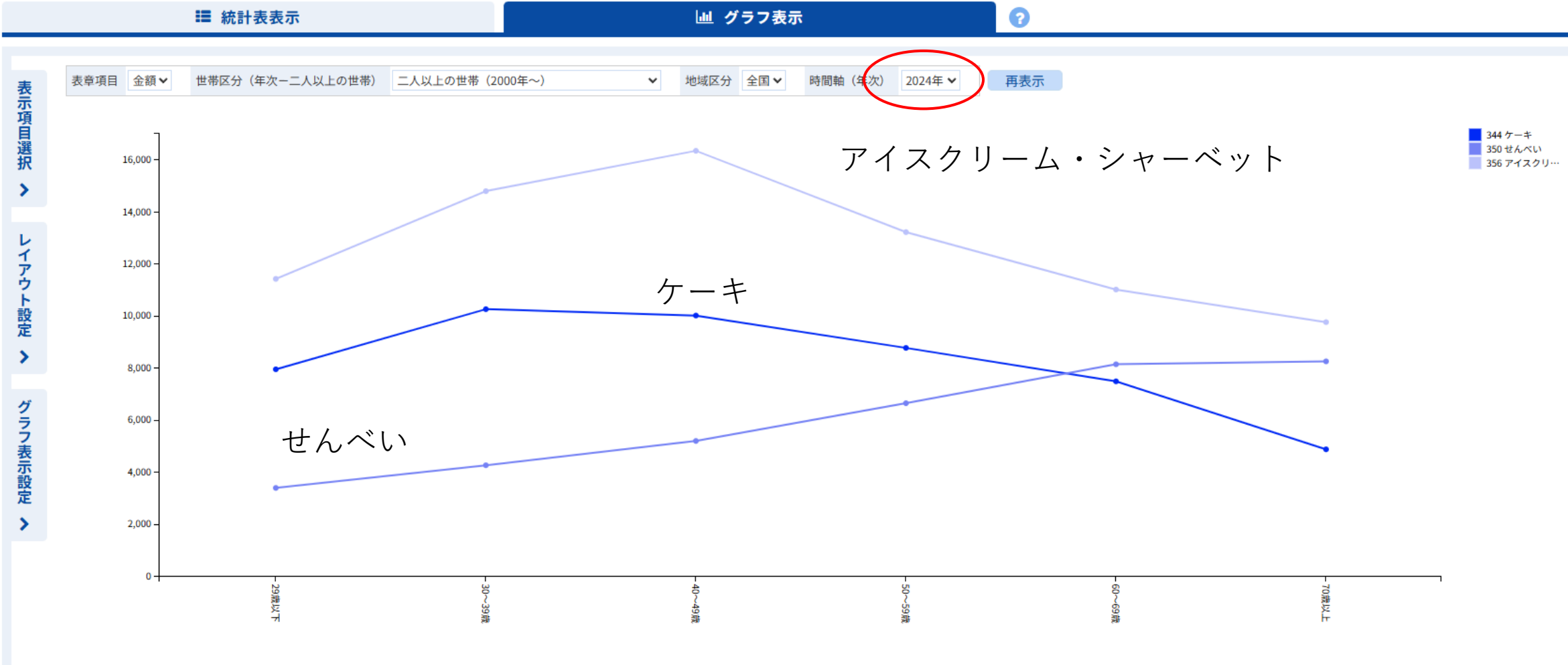
1 グラフ表示設定

グラフの種類選択	折れ線グラフ ▼
グラフのタイトル	
基準軸の選択	☒ 列 ☐ 行
基準軸の並び順	☒ 昇順 ☐ 降順

キャンセル **設定して表示を更新**

列：年齢階級別など
行：品目別

菓子類支出額（2024年年齢階級別）



表示項目の設定

項目の表示・非表示を設定してください

4/6 世帯主の年齢階級

表示切替 選択: 1 全項目: 12 未選択: 11 全選択 全解除

☒ 平均

☐ 29歳以下

☐ 30～39歳

☐ 40～49歳

☐ 50～59歳

☐ 60～69歳

☐ 70歳以上

※複数項目を選ぶ場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。
連続した範囲であれば、マウスの左クリックを押した状態でマウスを移動するか、Shiftキーを押しながらクリックしてください。

☒ 選択状態の反転 反転

☒ 複数項目の選択/解除 選択 解除

☒ 配下グループの選択/解除 選択 解除

☒ 同一階層の選択/解除 選択 解除

☒ 時間軸の範囲選択 選択

項目検索

キャンセル 確定

年齢階級を平均に変更

レイアウト設定

レイアウト変更は、下記の項目名の▼を押して「ページ上部」「列」「行」を選択して項目を移動してください。表示順の変更は▲▼を押して調整してください。変更を保存して表示に反映させるには、**設定して表示を更新**を押してください。

1 レイアウト設定

ページ上部 (欄外)	列
表章項目 ▲▼	時間軸 (年次) ▲▼
世帯区分 (年次一人以上の世帯) ▲▼	
地域区分 ▲▼	
世帯主の年齢階級 ▲▼	

行
品目分類 (2020年改定) ▲▼

画面表示セル数: 75
画面総セル数: 150
(統計表は最大100,000セルまで表示可能、グラフは最大15,000セルまで表示可能)

キャンセル 設定して表示を更新

列を時間軸に変更

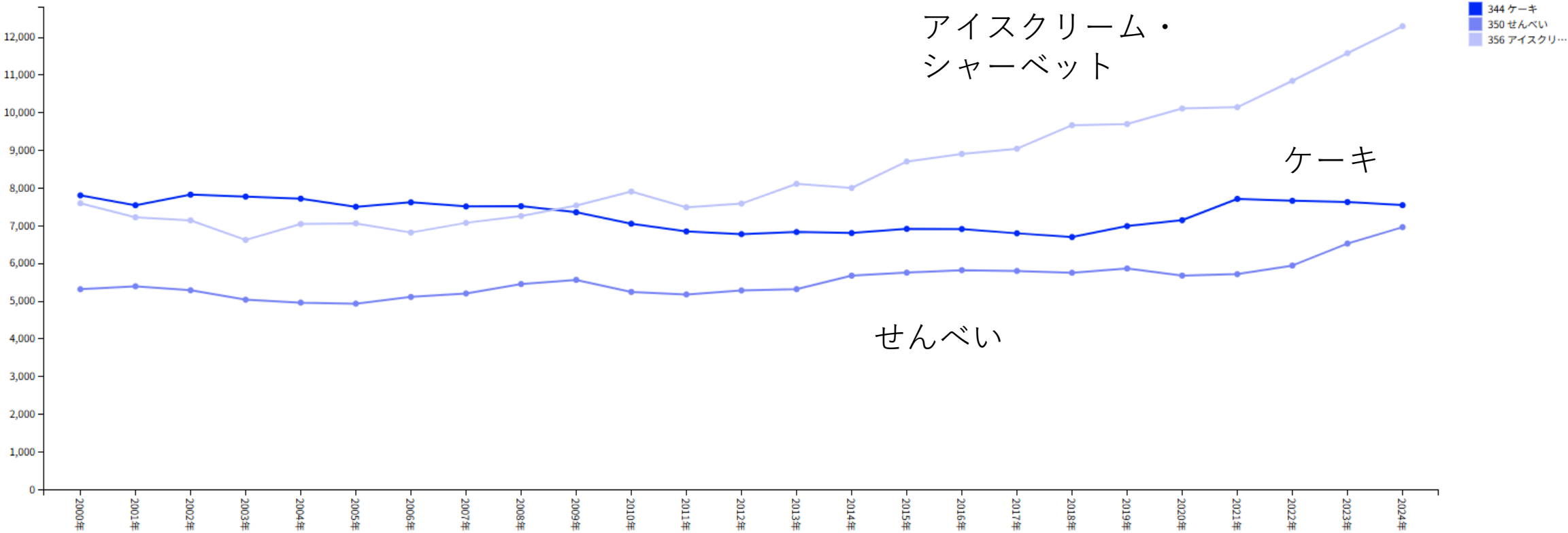
菓子類支出額（2010～2024年経年）

統計表表示

グラフ表示

?

表章項目 金額 世帯区分（年次一人以上の世帯） 二人以上の世帯（2000年～） 地域区分 全国 世帯主の年齢階級 平均 再表示



事例 1：コーヒーチェーン店の出店戦略

- コーヒーチェーン店の出店戦略を探る
 - 今回は東京23区について
 - ホームページから店舗数を計算
- 何が影響するか？
 - 所得
 - 人口
 - 世帯構成
- 人口は何を使うべきか
 - 総人口（夜間人口）か昼間人口か

人口を政府統計で確認する

・市区町村データ

The screenshot shows the e-Stat website interface. The header includes the e-Stat logo, the text '統計で見る日本' (Japan seen through statistics), and a description: 'e-Statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです' (e-Stat is a government statistics portal site where Japanese statistics can be browsed). Navigation links include 'お問い合わせ' (Contact), 'ヘルプ' (Help), and 'English'. A secondary navigation bar contains '統計データを探す' (Search for statistical data), '統計データの活用' (Use of statistical data), '統計データの高度利用' (Advanced use of statistical data), '統計関連情報' (Statistics-related information), and 'リンク集' (Link collection). On the right, there are links for 'マイページ' (My page) and 'ログアウト' (Logout).

The main content area is divided into two main sections: '●統計データを探す (政府統計の調査結果を探します)' (Search for statistical data (Search for survey results of government statistics)) and '●統計データを活用する' (Use statistical data). The first section includes buttons for 'すべて' (All), '分野' (Field), and '組織' (Organization), each with a description of how to search. Below these is a keyword search bar with the example '例：国勢調査' (Example: Census) and a '検索' (Search) button. The second section includes buttons for 'グラフ' (Graph), '時系列表' (Time series table), '地図' (Map), and '地域' (Region), each with a description of how to use the data. The '地域' button is circled in red. On the right side, there are additional links for '利用ガイド' (User guide), '統計データの高度利用' (Advanced use of statistical data), '統計データの自動取得 (API)' (Automatic acquisition of statistical data (API)), and '統計関連情報' (Statistics-related information).

都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

「統計でみる都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」で整備された各種統計データ（人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、居住、健康・医療、福祉・社会保障など）から、地域・項目を抽出した統計表表示、グラフ表示、ダウンロード等を行なうことができます。

また、比較したい地域から、類似する地域を検索し抽出する「類似地域を検索」や、項目ごとのランキング表示を行うことができます。

収録データ：[社会・人口統計体系](#)

- ・都道府県データ（基礎データ4,552項目、指標データ749項目）
- ・市区町村データ（基礎データ821項目、指標データ67項目）
- ・最終更新日：2025-09-04 [※更新情報](#)

市区町村データは、2024年3月31日時点の市区町村で整備しています。

○都道府県データ

○市区町村データ

 データ表示

 地域ランキング

地域選択 ?

任意の地域

類似の地域

地域を選択してください。

1 絞り込み

表示データ	☒ 現在の市区町村 ☐ 過去の市区町村を含む
地域区分	都道府県 東京都
絞り込み	☐ 特別区部 ☒ 特別区 ☐ 市 (特別区部を除く) ☐ 区 (特別区を除く) ☐ 町・村 ☐ 県庁所在市 ☐ 政令指定都市 ☐ 中核市 ☐ (施行時) 特例市

実行

2 地域候補

地域候補 0地域

地域を選択>

全て選択>

<地域を削除

<全て削除

選択中地域 23地域 (残り 2477地域選択可能)

クリア

- 13101_東京都 千代田区
- 13102_東京都 中央区
- 13103_東京都 港区
- 13104_東京都 新宿区
- 13105_東京都 文京区
- 13106_東京都 台東区
- 13107_東京都 墨田区
- 13108_東京都 江東区
- 13109_東京都 品川区
- 13110_東京都 目黒区
- 13111_東京都 大田区

キャンセル

確定

地域選択 <

表示項目選択 >

レイアウト設定 >

都道府県
→東京都
特別区

地域候補
→すべて選択

e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsvew/municipality

表示項目選択 ?

データ種別、分野等で絞り込み項目を選択するか、キーワード検索にて項目を選択してください。

1 絞り込み

データ種別	☒ 基礎データ ☐ 指標データ
分野	A人口・世帯
大分類	---
小分類	---
キーワード検索	実行

2 項目候補

項目候補	131項目	項目を選択>	選択中項目	3項目 (残り22項目選択可能)	クリア
A6106	流入人口(他県に常住している人口)(人)	項目を選択> 全て選択> 項目を削除 全て削除	A1101	総人口(人)	
A6108	昼夜間人口比率(%)		A6107	昼間人口(人)	
A710101	一般世帯数(世帯)		A7101	世帯数(世帯)	
A710102	施設等の世帯数(世帯)				
A710201	一般世帯人員数(人)				
A710202	施設等の世帯人員数(人)				
A7103	住民基本台帳世帯数(日本人)(世帯)				
A810101	親族のみの世帯数(世帯)				
A810102	核家族世帯数(世帯)				
A810103	核家族以外の世帯数(世帯)				
A810104	非親族を含む世帯数(世帯)				

※複数選択を行う場合は、Ctrlキーを押しながら選択してください。

キャンセル 確定

分野
→A人口・世帯

項目候補
→総人口(人)
→昼間人口(人)
→世帯数(世帯)
を選択

地域選択
>

表示項目選択
<

レイアウト設定
>

地域選択

表示項目選択

統計表表示

表示項目選択 ?

データ種別、分野等で絞り込み項目を選択するか、キーワード検索にて項目を選択してください。

1 絞り込み

データ種別	☒ 基礎データ ☐ 指標データ
分野	C 経済基盤
大分類	---
小分類	---
キーワード検索	実行

2 項目候補

項目候補 197項目	選択中項目 5項目 (残り20項目選択可能) クリア
C120120 納税義務者数(所得割)(人) C2101 事業所数(事業所・企業統計調査結果)(所) C2104 第2次産業事業所数(事業所・企業統計調査結果)(所) C2105 第3次産業事業所数(事業所・企業統計調査結果)(所) C2107 事業所数(経済センサス-基礎調査結果)(事業所) C210701 事業所数(公務を除く)(所) C210702 事業所数(農林漁業)(所) C210703 事業所数(農業、林業)(所) C210704 事業所数(漁業)(所) C210705 事業所数(非農林漁業)(所) C210706 事業所数(非農林漁業(公務を除く))(所)	項目を選択> 全て選択> 項目を削除 全て削除 A1101 総人口(人) A6107 昼間人口(人) A7101 世帯数(世帯) C120110 課税対象所得(千円) C120130 納税義務者数(均等割)(人)

※複数選択を行う場合は、Ctrlキーを押しながら選択してください。

キャンセル

確定

地域選択
>表示項目選択
<レイアウト設定
>分野
→C経済基盤項目候補
→総人口(人)
→昼間人口(人)
→世帯数(世帯)
→課税対象所得
(千円)
→納税義務者数
(均等割)(人)
を選択

調査年
→プルダウンリスト
から**2020年**を選択
→再表示
を押す

統計表表示

グラフ表示

?

地域選択
>

表示項目選択
>

レイアウト設定
>

調査年

2023年度

並べ替え

☒なし ☐あり

降順

項目

A1101_総人口【人】

再表示

	2023年度	C120110 課税対象 所得 【千円】	C120130 納税義務 者数（均等割） 【人】
13101_東 田区	2022年度		
	2021年度		
	2020年度	460,937,758	48,737
13102_東 区	2019年度	820,765,956	109,381
13103_東	2018年度		
13104_東 区	2017年度	2,075,473,639	154,276
13105_東 区	2016年度	1,170,367,488	196,689
	2015年度		
13106_東 区	2014年度	925,033,955	135,472
	2013年度		
13107_東 区	2012年度	588,074,126	127,104
	2011年度		
13108_東 区	2010年度	689,628,811	168,887
	2009年度		
13109_東 区	2008年度	1,470,056,301	305,642
	2007年度		
13110_東 区	2006年度	1,335,981,478	248,634
	2005年度		
13111_東 区	2004年度	1,177,733,747	170,901
13112_東京都 世田 谷区		1,945,410,441	434,359
		3,175,645,915	531,973

地域選択
➤

表示項目選択
➤

レイアウト設定
➤

調査年 2020年度 ▼ 並べ替え ☒ なし ☐ あり 降順 ▼ 項目 A1101_総人口【人】 ▼

再表示

	A1101_総人口 【人】	A6107_昼間人口 【人】	A7101_世帯数 【世帯】	C120110_課税対象 所得 【千円】	C120130_納税義務 者数(均等割) 【人】
13101_東京都 千代田区	66,680	903,780	37,011	400,984,266	46,675
13102_東京都 中央区	169,179	633,390	92,533	684,753,903	104,137
13103_東京都 港区	260,486	972,673	146,160	1,704,945,973	152,021
13104_東京都 新宿区	349,385	793,528	222,800	1,044,274,299	195,972
13105_東京都 文京区	240,069	353,648	133,661	778,597,546	129,658
13106_東京都 台東区	211,444	307,176	124,345	504,292,100	118,437
13107_東京都 墨田区	272,085	281,971	145,768	604,651,466	159,653
13108_東京都 江東区	524,310	633,813	264,278	1,261,281,380	291,966

e-Stat / jSTAT MAP の活用

③ データをダウンロードして整理

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

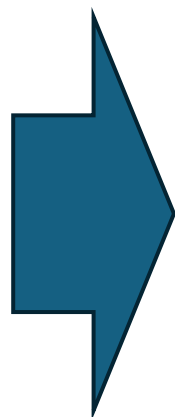
人口を政府統計で確認する

都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

2020年度

ダウンロードデータ

	課税対象所得 (千円)	納税義務者数 (均等割) (人)	昼間人口 (人)	世帯数 (世帯)	総人口 (人)
千代田区	400,984,266	46,675	903,780	37,011	66,680
中央区	684,753,903	104,137	633,390	92,533	169,179
港区	1,704,945,973	152,021	972,673	146,160	260,486
新宿区	1,044,274,299	195,972	793,528	222,800	349,385
文京区	778,597,546	129,658	353,648	133,661	240,069
台東区	504,292,100	118,437	307,176	124,345	211,444
墨田区	604,651,466	159,653	281,971	145,768	272,085
江東区	1,261,281,380	291,966	633,813	264,278	524,310
品川区	1,189,250,332	243,928	582,156	237,641	422,488
目黒区	1,047,325,161	171,055	301,801	155,715	288,088
大田区	1,792,361,034	429,330	722,027	400,164	748,081
世田谷区	2,822,665,875	517,402	854,838	492,065	943,664
渋谷区	1,192,700,801	140,370	551,344	149,967	243,883
中野区	803,422,586	196,738	325,767	208,093	344,880
杉並区	1,523,214,688	335,499	498,067	336,339	591,108
豊島区	753,620,498	170,163	412,070	183,819	301,599
北区	718,409,312	197,829	332,018	189,700	355,213
荒川区	427,985,507	117,621	193,640	112,009	217,475
板橋区	1,108,490,477	312,579	523,358	314,446	584,483
練馬区	1,612,733,797	399,370	601,359	374,842	752,608
足立区	1,187,288,146	356,642	619,375	345,346	695,043
葛飾区	820,479,595	242,271	376,832	215,948	453,093
江戸川区	1,311,428,383	366,923	571,717	333,200	697,932



出店に影響する可能性のある指標を推計

	1人当たり 課税対象所得 (千円)	昼間人口 (人)	1世帯当たり 人数 (人)
千代田区	8,591	903,780	1.80
中央区	6,576	633,390	1.83
港区	11,215	972,673	1.78
新宿区	5,329	793,528	1.57
文京区	6,005	353,648	1.80
台東区	4,258	307,176	1.70
墨田区	3,787	281,971	1.87
江東区	4,320	633,813	1.98
品川区	4,875	582,156	1.78
目黒区	6,123	301,801	1.85
大田区	4,175	722,027	1.87
世田谷区	5,455	854,838	1.92
渋谷区	8,497	551,344	1.63
中野区	4,084	325,767	1.66
杉並区	4,540	498,067	1.76
豊島区	4,429	412,070	1.64
北区	3,631	332,018	1.87
荒川区	3,639	193,640	1.94
板橋区	3,546	523,358	1.86
練馬区	4,038	601,359	2.01
足立区	3,329	619,375	2.01
葛飾区	3,387	376,832	2.10
江戸川区	3,574	571,717	2.09

1人当たり課税対象所得

= 課税対象所得 (千円) / 納税義務者数 (均等割) (人)

課税対象所得 (千円)	納税義務者数 (均等割) (人)
400,984,266	46,675

1世帯当たり人数

= 総人口 (人) / 世帯数 (世帯)

世帯数 (世帯)	総人口 (人)
37,011	66,680

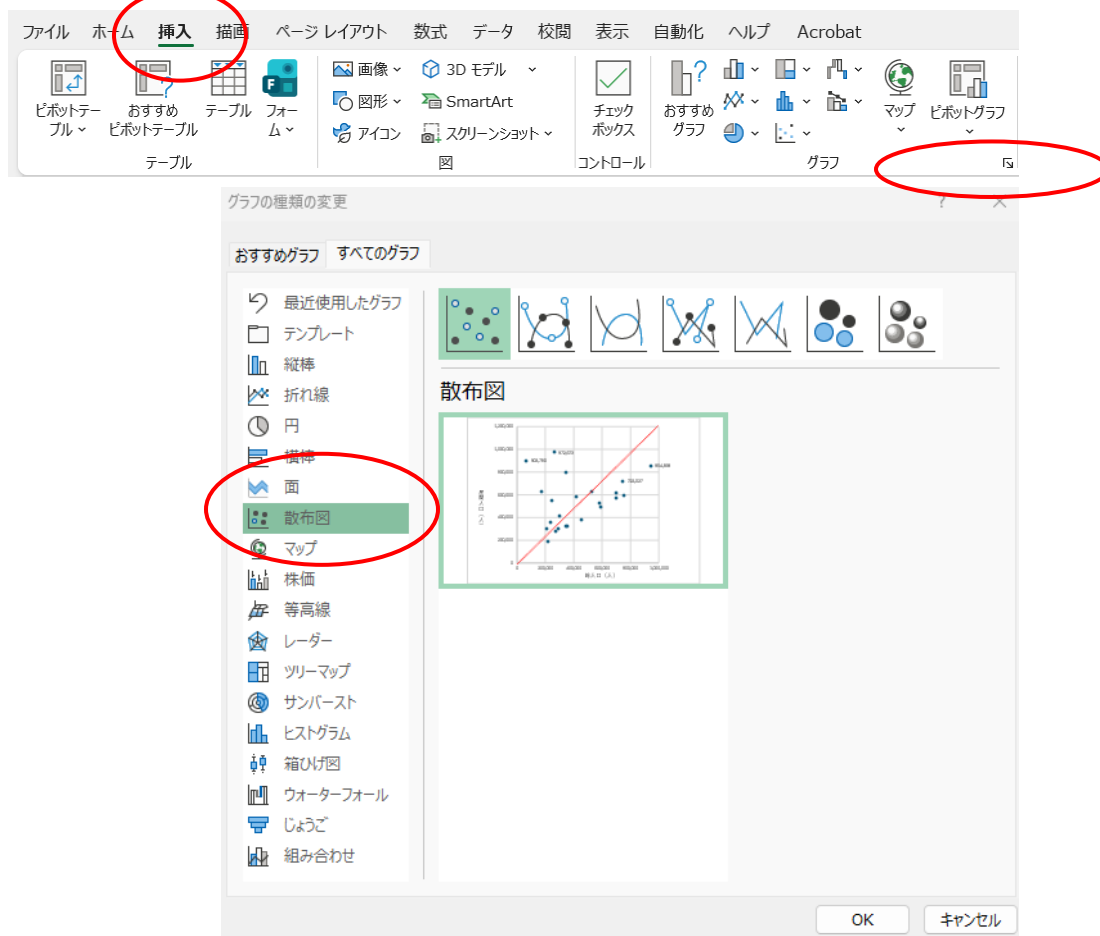
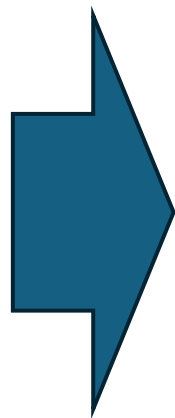
特徴量を確認する

- 何がその変数に影響するのかを考える。
- 経済理論、因果関係、直感などを使ってさまざまな候補を挙げてみる。
- 例えばコーヒーチェーンの出店数では…
 - 人口
 - 所得
 - 世帯構成など。

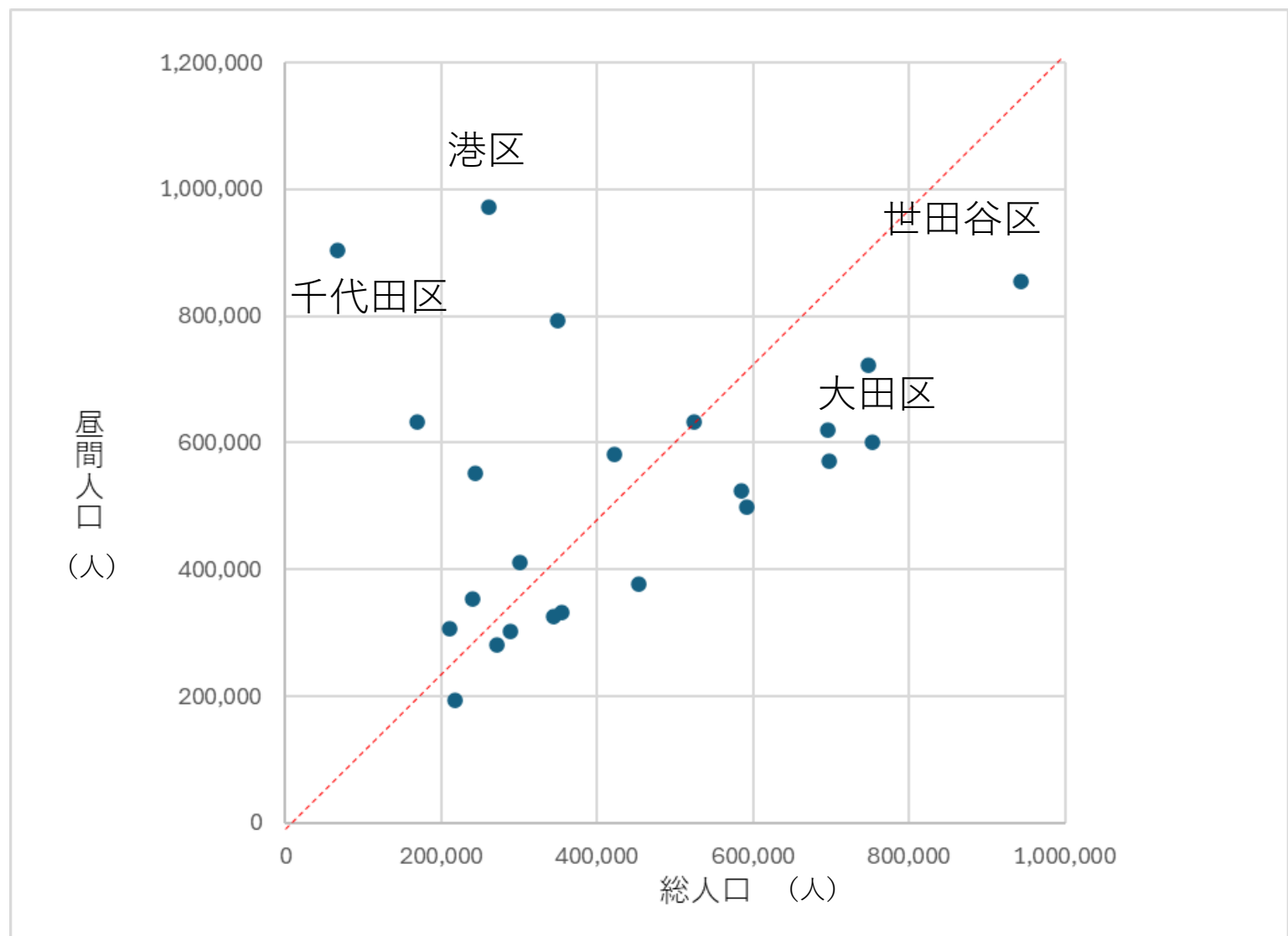
散布図を作る

- データの範囲を選択→挿入タブ→グラフ挿入画面で散布図を選択。

	A1101	A6107
	総人口(人)	屋間人口(人)
東京都 千代田区	66,680	903,780
東京都 中央区	169,179	633,390
東京都 港区	260,486	972,673
東京都 新宿区	349,385	793,528
東京都 文京区	240,069	353,648
東京都 台東区	211,444	307,176
東京都 墨田区	272,085	281,971
東京都 江東区	524,310	633,813
東京都 品川区	422,488	582,156
東京都 目黒区	288,088	301,801
東京都 大田区	748,081	722,027
東京都 世田谷区	943,664	854,838
東京都 渋谷区	243,883	551,344
東京都 中野区	344,880	325,767
東京都 杉並区	591,108	498,067
東京都 豊島区	301,599	412,070
東京都 北区	355,213	332,018
東京都 荒川区	217,475	193,640
東京都 板橋区	584,483	523,358
東京都 練馬区	752,608	601,359
東京都 足立区	695,043	619,375
東京都 葛飾区	453,093	376,832
東京都 江戸川区	697,932	571,717



人口に関する散布図

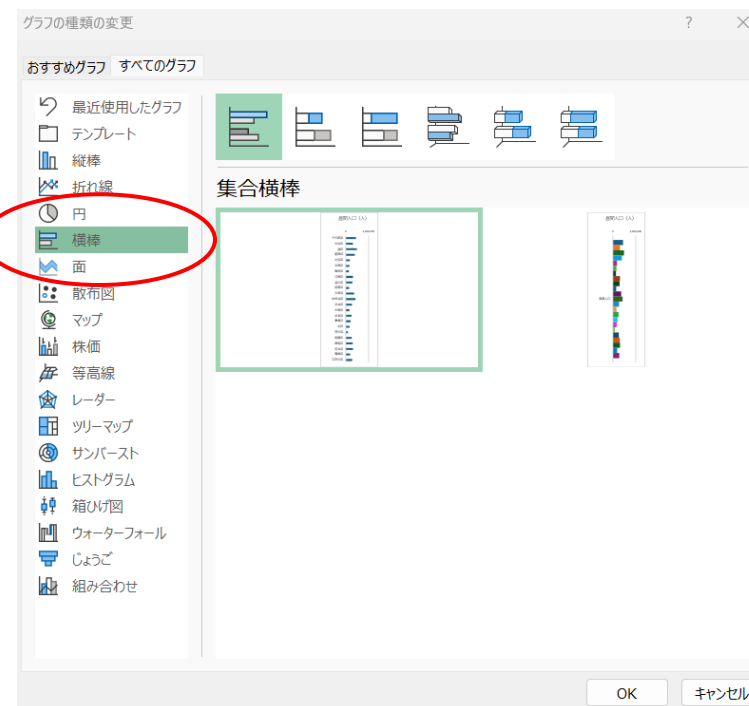
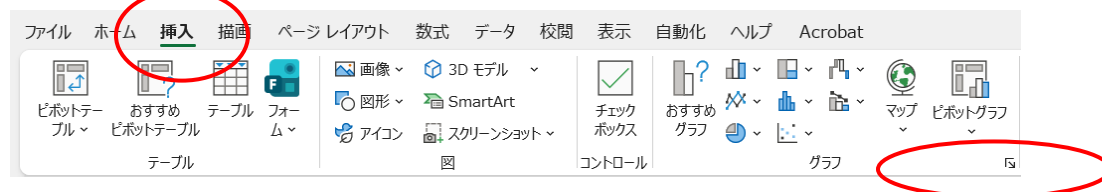
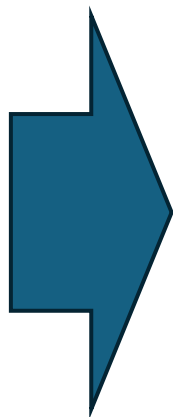


(出典) 令和2年国勢調査

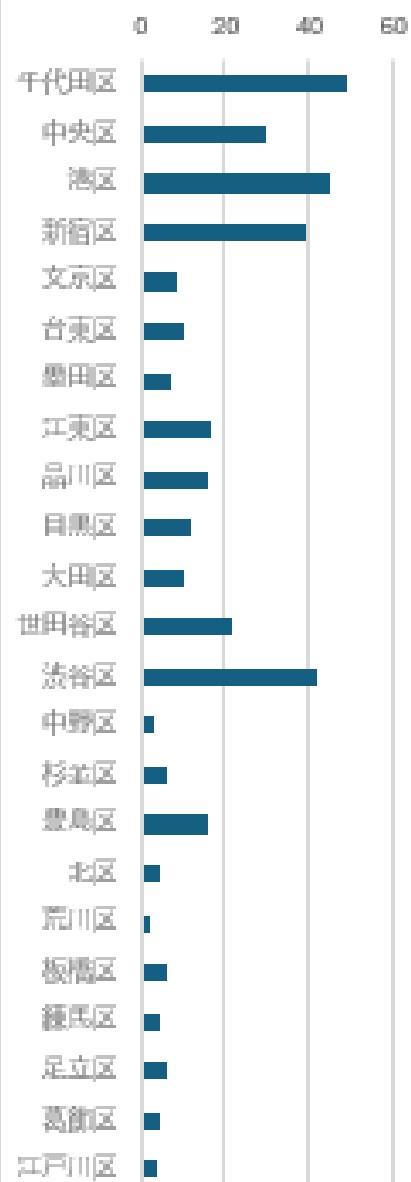
グラフを作る

- データの範囲を選択→挿入タブ→グラフ挿入画面で横棒を選択。

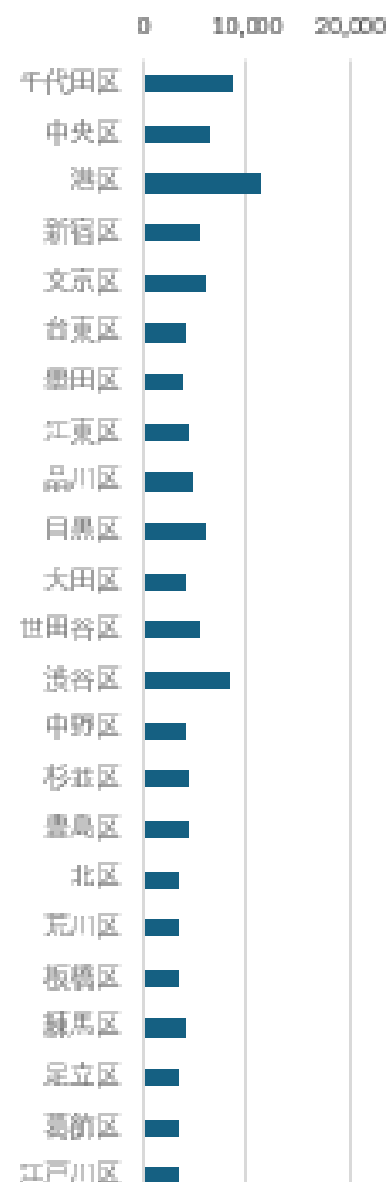
	コーヒー チェーン 店舗数	1人当たり 課税対象 所得	昼間人口	1世帯当 たり人数
千代田区	49	8,591	903,780	1.80
中央区	30	6,576	633,390	1.83
港区	45	11,215	972,673	1.78
新宿区	39	5,329	793,528	1.57
文京区	9	6,005	353,648	1.80
台東区	10	4,258	307,176	1.70
墨田区	7	3,787	281,971	1.87
江東区	17	4,320	633,813	1.98
品川区	16	4,875	582,156	1.78
目黒区	12	6,123	301,801	1.85
大田区	10	4,175	722,027	1.87
世田谷区	22	5,455	854,838	1.92
渋谷区	42	8,497	551,344	1.63
中野区	3	4,084	325,767	1.66
杉並区	6	4,540	498,067	1.76
豊島区	16	4,429	412,070	1.64
北区	5	3,631	332,018	1.87
荒川区	2	3,639	193,640	1.94
板橋区	6	3,546	523,358	1.86
練馬区	5	4,038	601,359	2.01
足立区	6	3,329	619,375	2.01
葛飾区	5	3,387	376,832	2.10
江戸川区	4	3,574	571,717	2.09



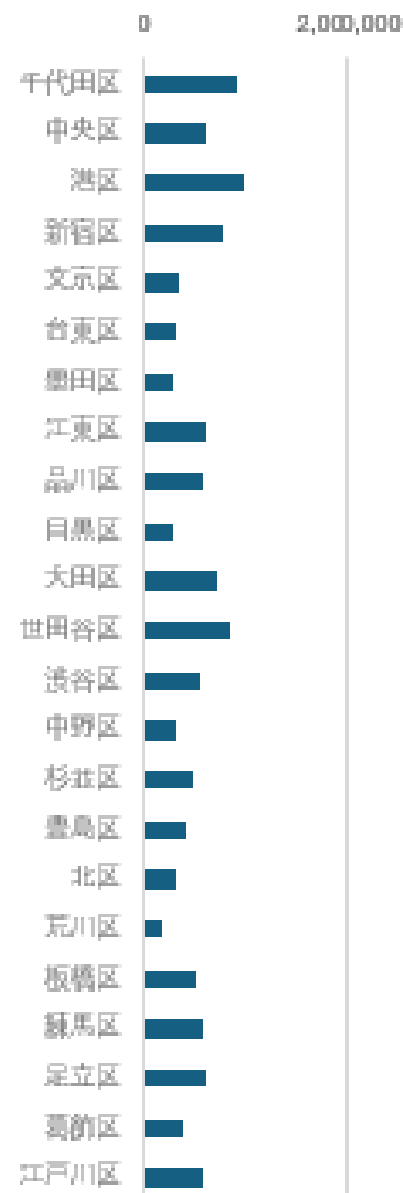
コーヒーチェーン
店舗数（店）



1人当たり課税対象
所得（千円）



昼間人口（人）



1世帯当たり人数



相関を確認する

- 相関係数の関数はCORREL。
- 2つの変数のセルを選ぶ。
- =CORREL(セルの範囲 1,セルの範囲 2)

セルの範囲 1 : コーヒーチェーン店店舗数

セルの範囲 2 : 1人当たり課税対象所得

※セルの範囲は、コーヒーチェーン店店舗数との相関性を求めたいデータの範囲を選択。

例 (コーヒーチェーン店店舗数, 1人当たり課税対象所得)
(コーヒーチェーン店店舗数, 昼間人口)

	コーヒー チェーン 店店舗数	1人当たり 課税対象 所得	昼間人口	1世帯当 たり人数
千代田区	49	8,591	903,780	1.80
中央区	30	6,576	633,390	1.83
港区	45	11,215	972,673	1.78
新宿区	39	5,329	793,528	1.57
文京区	9	6,005	353,648	1.80
台東区	10	4,258	307,176	1.70
墨田区	7	3,787	281,971	1.87
江東区	17	4,320	633,813	1.98
品川区	16	4,875	582,156	1.78
目黒区	12	6,123	301,801	1.85
大田区	10	4,175	722,027	1.87
世田谷区	22	5,455	854,838	1.92
渋谷区	42	8,497	551,344	1.63
中野区	3	4,084	325,767	1.66
杉並区	6	4,540	498,067	1.76
豊島区	16	4,429	412,070	1.64
北区	5	3,631	332,018	1.87
荒川区	2	3,639	193,640	1.94
板橋区	6	3,546	523,358	1.86
練馬区	5	4,038	601,359	2.01
足立区	6	3,329	619,375	2.01
葛飾区	5	3,387	376,832	2.10
江戸川区	4	3,574	571,717	2.09
相関係数	1.00	F10:F32)	0.71	-0.47

=CORREL(コーヒーチェーン店舗数, 1人当たり課税対象所得)
=CORREL(E10:E32, F10:F32)

相関係数

	コーヒー チェーン 店店舗数	1人当たり 課税対象 所得	昼間人口	1世帯当 たり人数
千代田区	49	8,591	903,780	1.80
中央区	30	6,576	633,390	1.83
港区	45	11,215	972,673	1.78
新宿区	39	5,329	793,528	1.57
文京区	9	6,005	353,648	1.80
台東区	10	4,258	307,176	1.70
墨田区	7	3,787	281,971	1.87
江東区	17	4,320	633,813	1.98
品川区	16	4,875	582,156	1.78
目黒区	12	6,123	301,801	1.85
大田区	10	4,175	722,027	1.87
世田谷区	22	5,455	854,838	1.92
渋谷区	42	8,497	551,344	1.63
中野区	3	4,084	325,767	1.66
杉並区	6	4,540	498,067	1.76
豊島区	16	4,429	412,070	1.64
北区	5	3,631	332,018	1.87
荒川区	2	3,639	193,640	1.94
板橋区	6	3,546	523,358	1.86
練馬区	5	4,038	601,359	2.01
足立区	6	3,329	619,375	2.01
葛飾区	5	3,387	376,832	2.10
江戸川区	4	3,574	571,717	2.09
相関係数	1.00	0.87	0.71	-0.47

相関係数
= CORREL(セルの範囲,
セルの範囲)

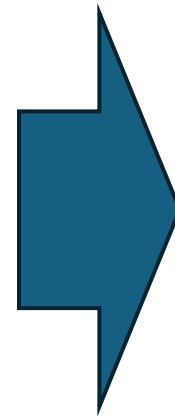
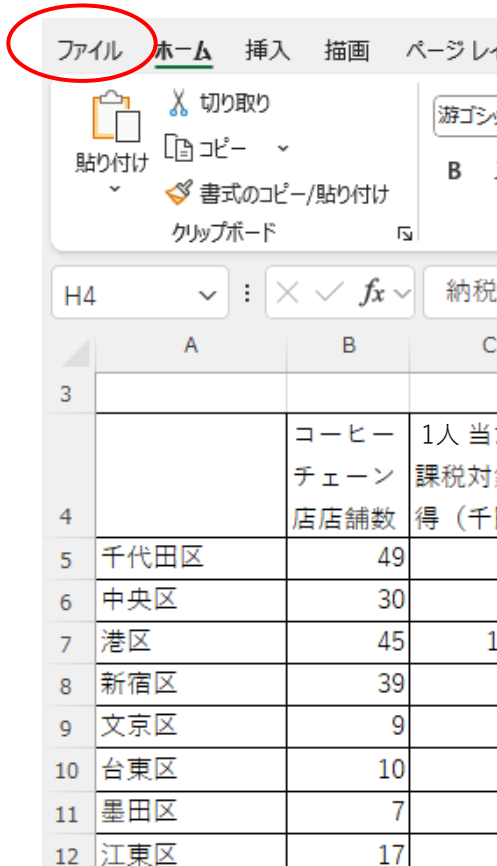
コーヒーチェーン店店舗数との相関係数

e-Stat / jSTAT MAP の活用
⑤Excelで回帰分析・グラフ作成

回帰分析をする

分析ツールを
使えるように
する

ファイル→
オプション
を選択



1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

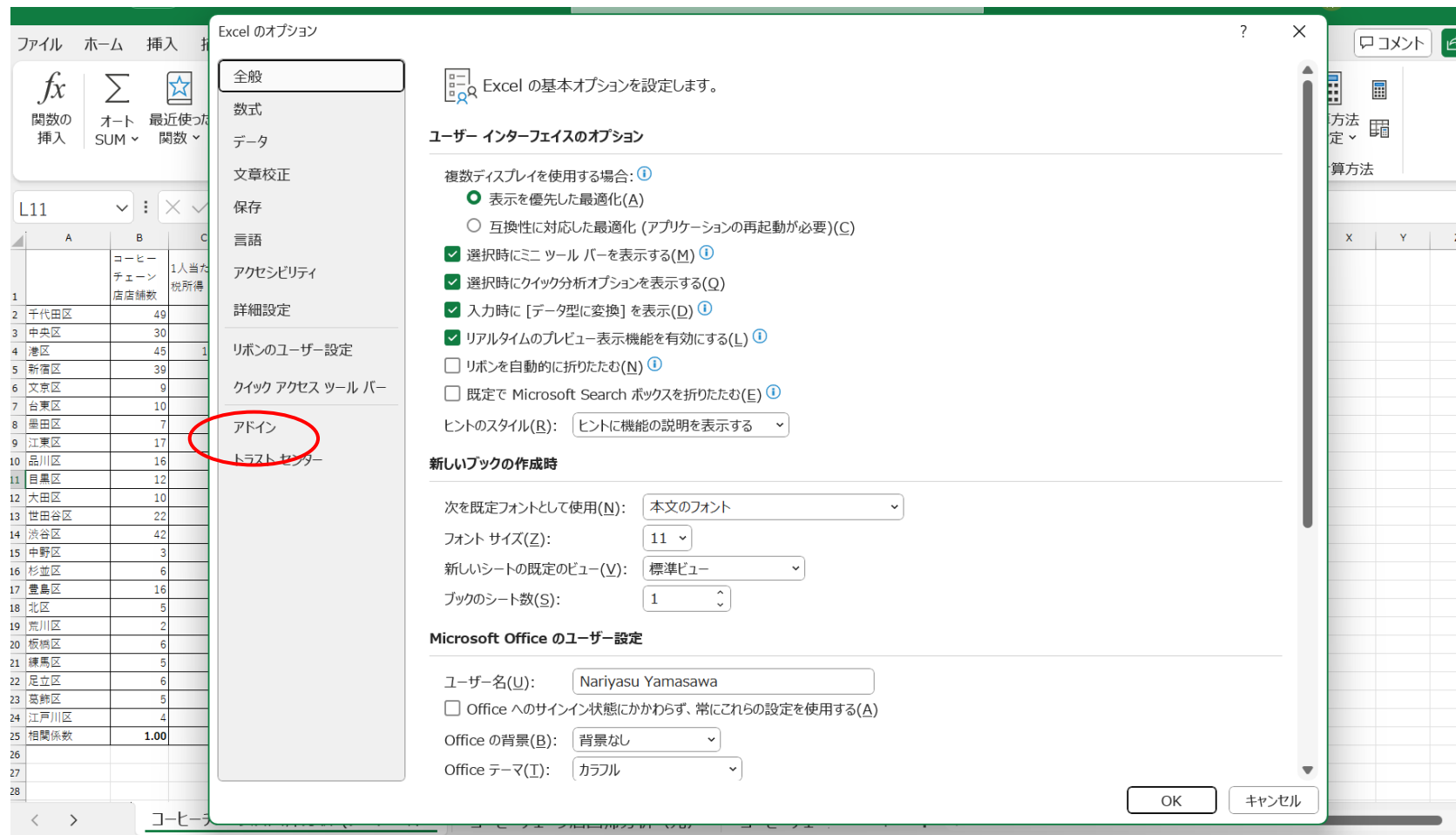
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

e-Stat / jSTAT MAP の活用

⑤Excelで回帰分析・グラフ作成

回帰分析をする

Excelの
オプション
→アドインを選
択



1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何かから
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

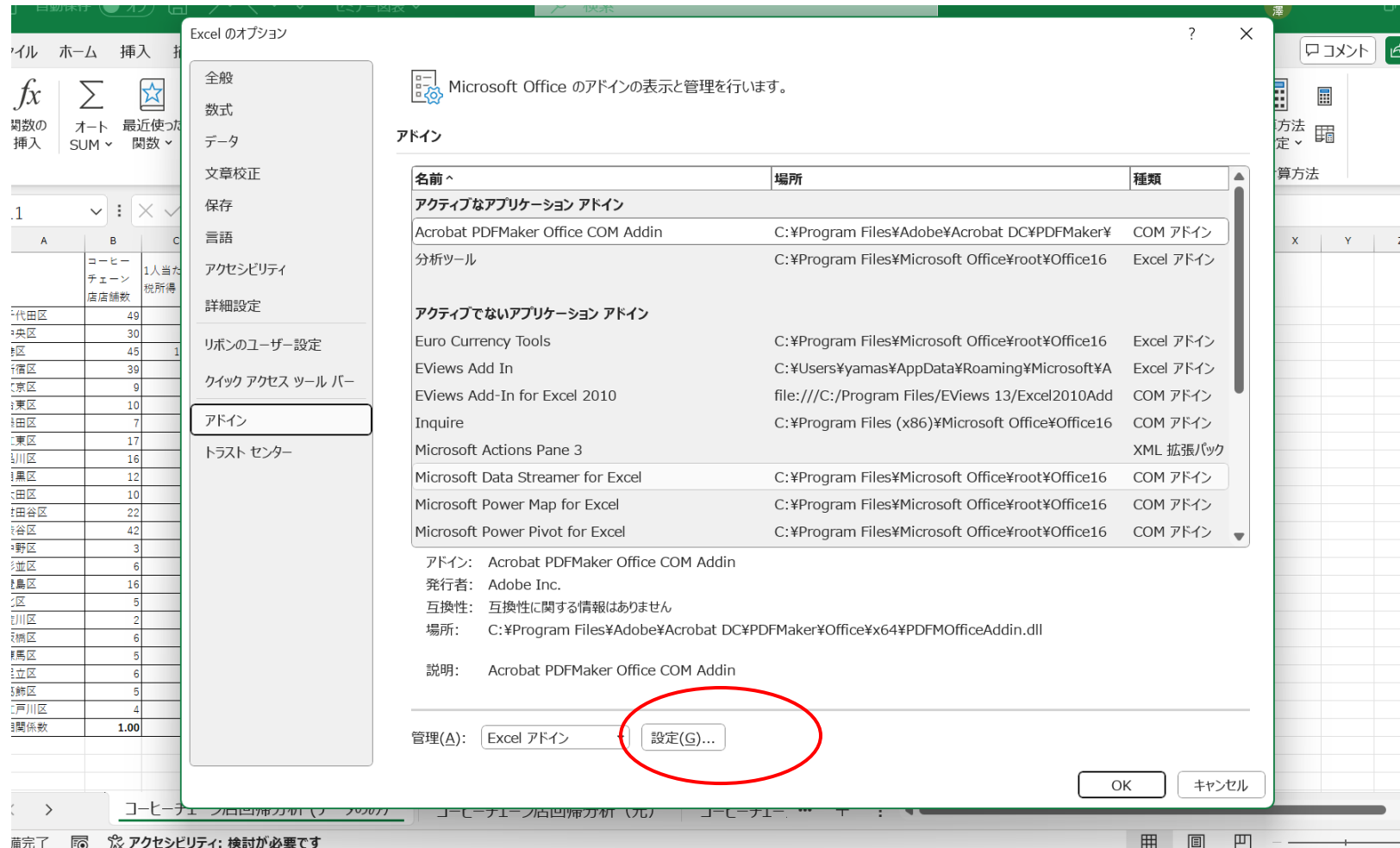
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

e-Stat / jSTAT MAP の活用

⑤Excelで回帰分析・グラフ作成

回帰分析をする

アドイン
→Excelアドイン
の設定



1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何かから
始めればいいの？

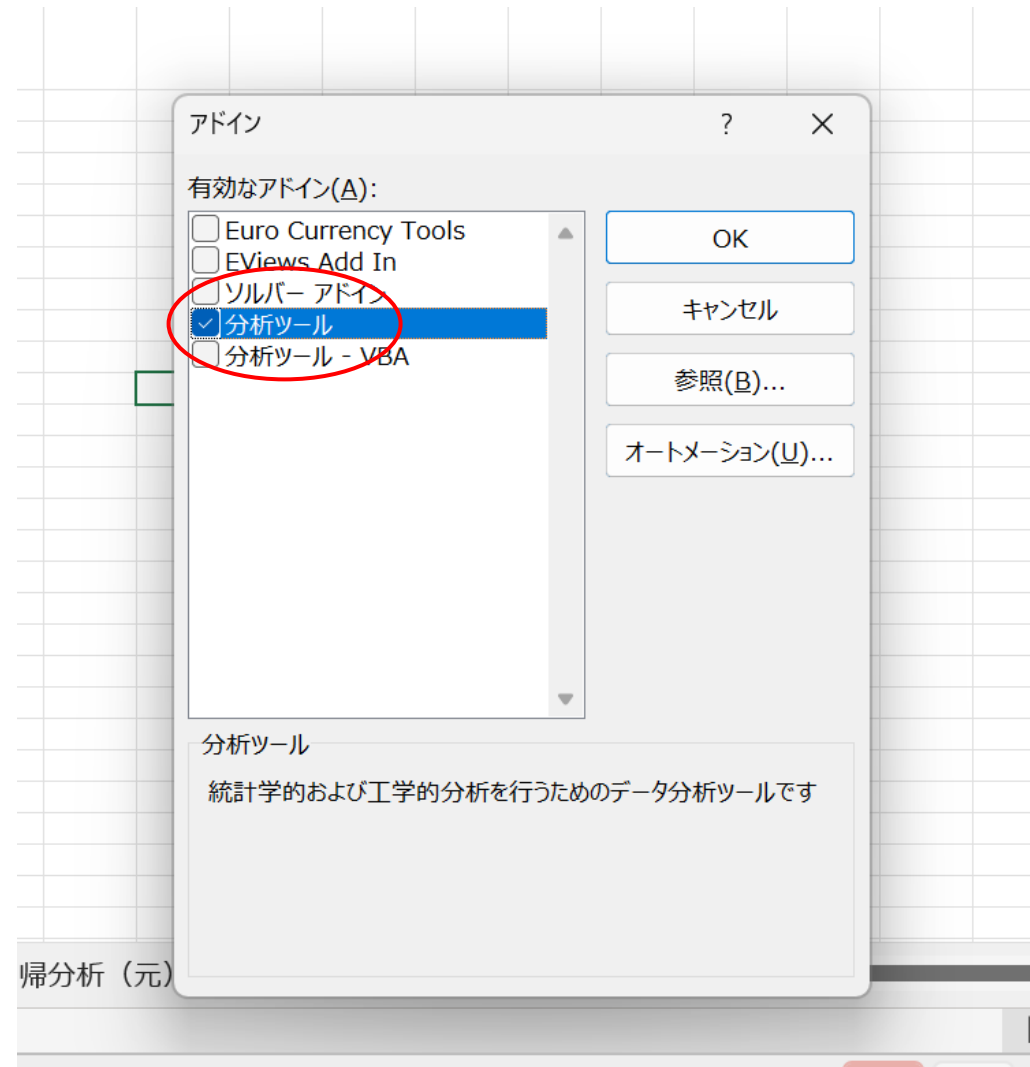
3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

回帰分析をする

分析ツールにチェック
を入れる。

この作業を一度実行す
れば、エクセルを再起
動しても分析ツールを
使えるようになる。

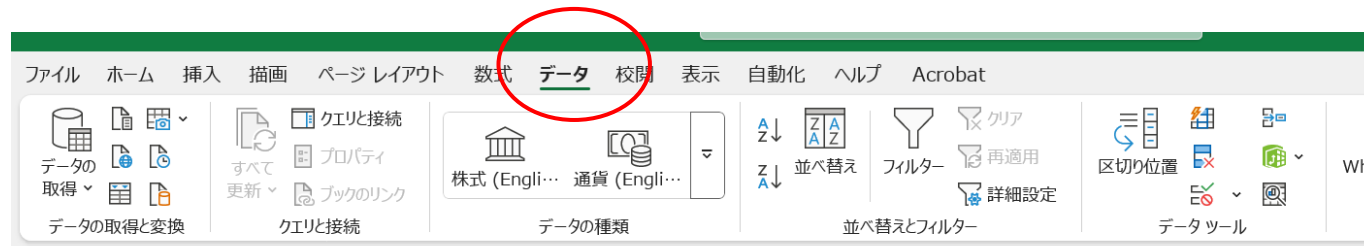


e-Stat / jSTAT MAP の活用

⑤Excelで回帰分析・グラフ作成

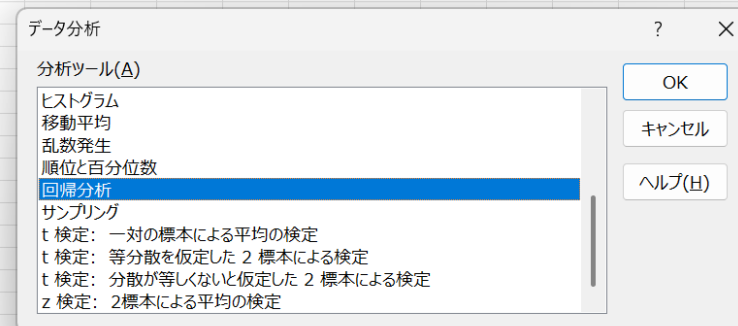
回帰分析をする

データ→データ分析



Excelの「データ」タブの「データ分析」ボタンが赤い円で囲まれています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1		コーヒー チェーン 店舗数	1人当たり 課税対象 所得	世帯人口	1世帯当 たり人数														
2	千代田区	49	8,591	903,780	1.80														
3	中央区	30	6,576	633,390	1.83														
4	港区	45	11,215	972,673	1.78														
5	新宿区	39	5,329	793,528	1.57														
6	文京区	9	6,005	353,648	1.80														
7	台東区	10	4,258	307,176	1.70														
8	墨田区	7	3,787	281,971	1.87														
9	江東区	17	4,320	633,813	1.98														
10	品川区	16	4,875	582,156	1.78														
11	目黒区	12	6,123	301,801	1.85														
12	大田区	10	4,175	722,027	1.87														
13	世田谷区	22	5,455	854,838	1.92														
14	渋谷区	42	8,497	551,344	1.63														
15	中野区	3	4,084	325,767	1.66														
16	杉並区	6	4,540	498,067	1.76														
17	豊島区	16	4,429	412,070	1.64														
18	北区	5	3,631	332,018	1.87														
19	荒川区	2	3,639	193,640	1.94														
20	板橋区	6	3,546	523,358	1.86														
21	練馬区	5	4,038	601,359	2.01														
22	足立区	6	3,329	619,375	2.01														
23	葛飾区	5	3,387	376,832	2.10														
24	江戸川区	4	3,574	571,717	2.09														
25	相関係数	1.00	0.87	0.71	-0.47														
26																			
27																			



データ分析

分析ツール(A)

- ヒストグラム
- 移動平均
- 乱数発生
- 順位と百分位数
- 回帰分析**
- サンプリング

t 検定: 一対の標本による平均の検定
t 検定: 等分散を仮定した 2 標本による検定
t 検定: 分散が等しくないと仮定した 2 標本による検定
z 検定: 2標本による平均の検定

OK
キャンセル
ヘルプ(H)

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何か
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥



Excelの「データ」タブの「データ分析」ボタンが赤い円で囲まれています。

e-Stat / jSTAT MAP の活用

⑤Excelで回帰分析・グラフ作成

回帰分析をする

1. なぜ今「データ分析
×政府統計」か？

2. データ分析は何かから
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

The screenshot shows the Excel 'Data' ribbon with the 'Data Analysis' group. The 'Data Analysis' task pane is open, and the 'Regression' option is selected. The 'Regression' dialog box is displayed, showing the following settings:

- 入力元 (Input Range): \$B\$1:\$B\$24 (Y-axis)
- 入力 X 範囲(X): \$C\$1:\$E\$24 (X-axis)
- ☒ ラベル(L) (Labels in first row)
- ☐ 定数に 0 を使用(Z) (Constant is zero)
- ☐ 有意水準(Q) (Significance level): 95 %
- 出力オプション (Output Options):
 - ☒ 一覧の出力先(S): \$G\$2 (Output to worksheet)
 - ☐ 新規ワークシート(P) (New worksheet)
 - ☐ 新規ブック(W) (New workbook)
- 残差 (Residuals):
 - ☐ 残差(R) (Residuals)
 - ☐ 残差グラフの作成(D) (Residuals plot)
 - ☐ 標準化された残差(I) (Standardized residuals)
 - ☐ 観測値グラフの作成(I) (Observed values plot)
- 正規確率 (Normal distribution):
 - ☐ 正規確率グラフの作成(N) (Normal distribution plot)

The background data table is as follows:

	A	B	C	D	E
		コーヒー チェーン 店舗数	1人当たり 課税対象 所得	1世帯当 り人口	1世帯当 り人数
1					
2	千代田区	49	8,591	903,780	1.80
3	中央区	30	6,576	633,390	1.83
4	港区	45	11,215	972,673	1.78
5	新宿区	39	5,329	793,528	1.57
6	文京区	9	6,005	353,648	1.80
7	台東区	10	4,258	307,176	1.70
8	墨田区	7	3,787	281,971	1.87
9	江東区	17	4,320	633,813	1.98
10	品川区	16	4,875	582,156	1.78
11	目黒区	12	6,123	301,801	1.85
12	大田区	10	4,175	722,027	1.87
13	世田谷区	22	5,455	854,838	1.92
14	渋谷区	42	8,497	551,344	1.63
15	中野区	3	4,084	325,767	1.66
16	杉並区	6	4,540	498,067	1.76
17	豊島区	16	4,429	412,070	1.64
18	北区	5	3,631	332,018	1.87
19	荒川区	2	3,639	193,640	1.94
20	板橋区	6	3,546	523,358	1.86
21	練馬区	5	4,038	601,359	2.01
22	足立区	6	3,329	619,375	2.01
23	葛飾区	5	3,387	376,832	2.10
24	江戸川区	4	3,574	571,717	2.09
25	相関係数	1.00	0.87	0.71	-0.47
26					
27					
28					

- ・ 入力Y範囲
- ・ 入力X範囲
- ・ ラベルにチェック
- ・ 一覧の出力先の指定

回帰分析の結果

概要

回帰統計	
重相関 R	0.92941
重決定 R ²	0.8638
補正 R ²	0.8423
標準誤差	5.84001
観測数	23

分散分析表

	自由度	変動	分散	観測された 分散比	有意 F
回帰	3	4109.82	1369.94	40.1674	2E-08
残差	19	648.009	34.1057		
合計	22	4757.83			

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	24.9034	19.2257	1.29532	0.21073	-15.336	65.1432	-15.336	65.1432
1人当たり課税対象所得	0.00407	0.00085	4.76738	0.00013	0.00228	0.00585	0.00228	0.00585
屋間人口	2.7E-05	7.3E-06	3.67803	0.0016	1.2E-05	4.2E-05	1.2E-05	4.2E-05
1世帯当たり人数	-23.974	9.6985	-2.472	0.02306	-44.273	-3.6751	-44.273	-3.6751

- ・ 重決定R²は決定係数と呼び、0～1の値をとる。1が最も当てはまりがよい。
- ・ t（t値）は各係数がどれくらい信用できるかを表し、絶対値で2を超えていればよい。
- ・ 係数については以下の通り。
 - 1人当たり課税対象所得が100万円増えると4.1店の増加要因。
 - 人口が10万人増えると、2.7店の増加要因。
 - 1世帯当たり人数が0.1人減ると、2.4店舗増える。

事例 2 : コンビニエンスストアの立地戦略

- コンビニエンスストアの立地を考える。
- 西荻窪駅周辺のコンビニの立地を調査。
- 人口と比較する。

j STAT MAPを使う

- jSTAT MAPは、統計地図の作成や、利用者のニーズに沿った地域分析ができるオンラインサービス。
- 都道府県、市区町村、小地域（町丁・字等）、地域メッシュ統計の結果を地図に表示することができる。
- 国が公表している統計データを使用して統計地図を作成する他に、利用者の持っているデータを使用した地域分析も可能。

e-Stat / jSTAT MAP の活用
② 利用可能なデータの内容を確認

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

j STAT MAPの機能 (1 / 2)

プロット作成機能



エリア作成機能



(出典) 地理情報システム jSTAT MAP

e-Stat / jSTAT MAP の活用
② 利用可能なデータの内容を確認

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

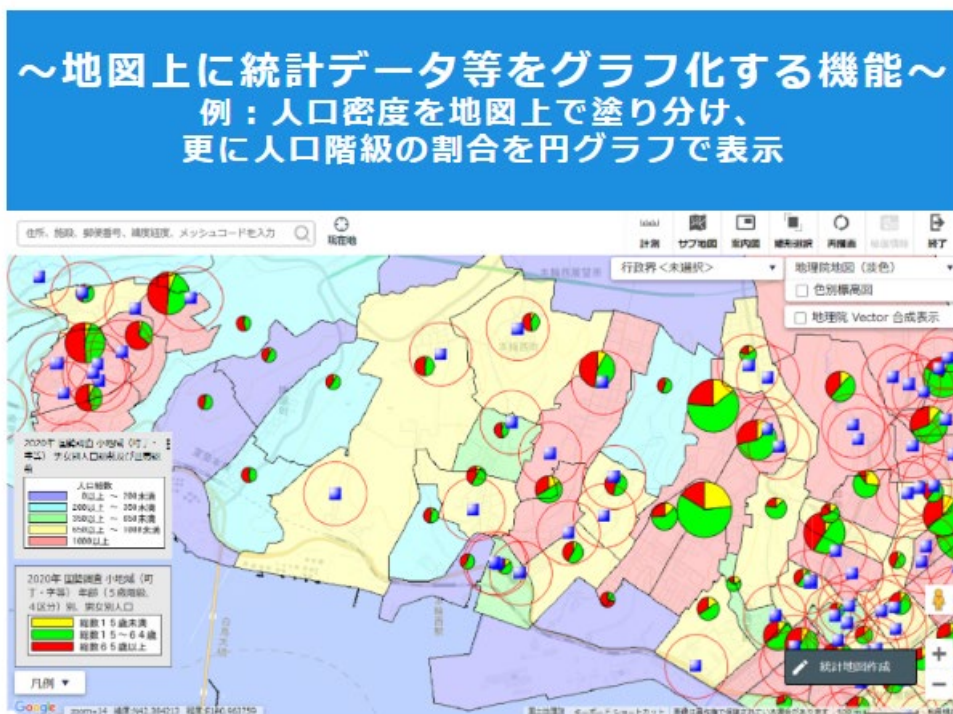
2. データ分析は何かから
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

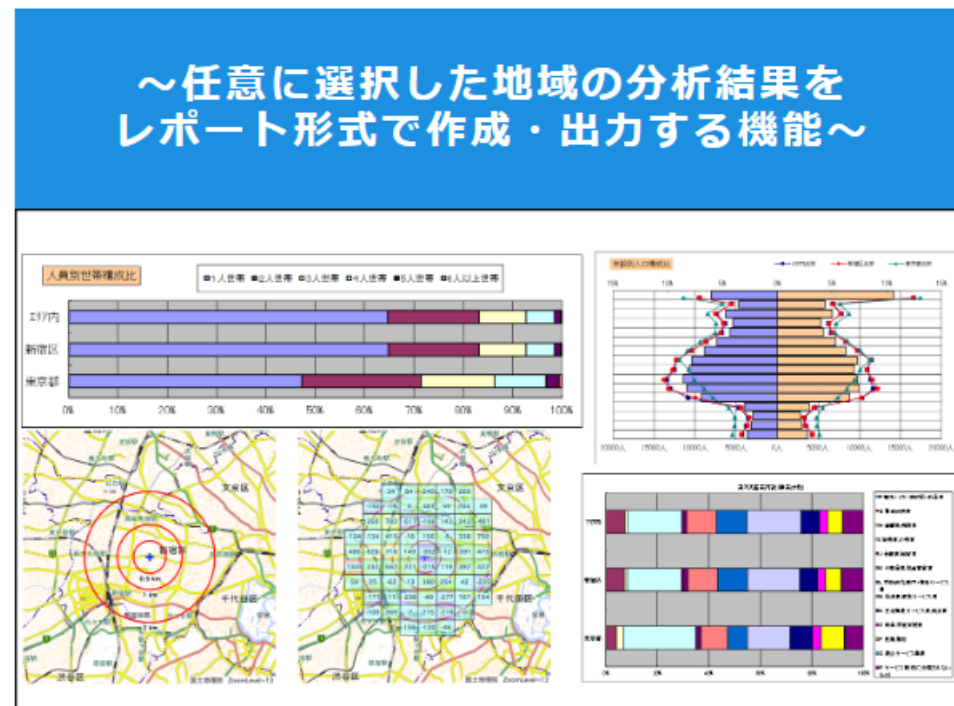
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

j STAT MAPの機能 (2 / 2)

統計グラフ作成機能



レポート作成機能



(出典) 地理情報システム jSTAT MAP

e-Stat / jSTAT MAP の活用
② 利用可能なデータの内容を確認

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

j STAT MAPの使い方

- e-Statのトップ画面から「地図」を選択。

e-Stat / jSTAT MAP の活用 ② 利用可能なデータの内容を確認

1. なぜ今「データ分析
× 政府統計」か？

2. データ分析は何から
始めればいいの？

3. Excelを使った
政府統計データの
分析(演習)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

j STAT MAPの使い方

e-Stat
政府統計の総合窓口

統計で見る日本

e-Statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです

お問い合わせ | ヘルプ | English

ログイン

新規登録

統計データを探す 統計データの活用 統計データの高度利用 統計関連情報 リンク集

[トップページ](#) / 統計地理情報システム

統計地理情報システム

- ・ 各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計を把握できる地理情報システムとして「地図で見る統計 (jSTAT MAP)」
- ・ 「地図で見る統計 (jSTAT MAP)」に登録されている小地域又は地域メッシュ統計などの統計データ及び境界データを提供しています。

[>地図で見る統計 \(jSTAT MAP\)](#)

地図で見る統計 (jSTAT MAP) は、誰でも使える地理情報システムです。

統計地図を作成する他に、利用者のニーズに沿った地域分析が可能となるようなさまざまな機能を提供しています。

防災、施設整備、市場分析等、各種の詳細な計画立案に資する基本的な分析が簡単にできます。

j STAT MAPの使い方

地図で見る統計 (jSTAT MAP)

地図で見る統計 (jSTAT MAP) は、誰でも使える地理情報システムです。

都道府県、市区町村、小地域、地域メッシュ統計の結果を地図に表示することができます。

ログインしないで始める

【ログインしないで利用できる機能】

統計グラフ作成、エリア作成などを利用できます。

ログイン

【ログインすると利用できる機能】

- ・利用者が取り込んだデータを保存できます。
- ・リッチレポート（地域分析レポート）が利用できます。

[詳細はこちら](#)

操作方法につきましては[マニュアル](#)を参照ください。

アカウントをお持ちの方は、「政府統計の総合窓口」でログインしてからjSTAT MAPを始めると、すべての機能を利用できる

コンビニの場所を地図上に表示

- グーグルマップ（<https://www.google.co.jp/maps/>）を利用する。
- 各コンビニの場所を右クリックすると、緯度と経度の情報が入手できる。



コンビニの場所を地図上に表示

- 店舗名、住所、緯度、経度のデータを作成。

- 住所は各コンビニの「概要」から入手できる。
- 緯度経度は、グーグルマップから入手できる。

- jSTAT MAPでデータを使うための準備をする。

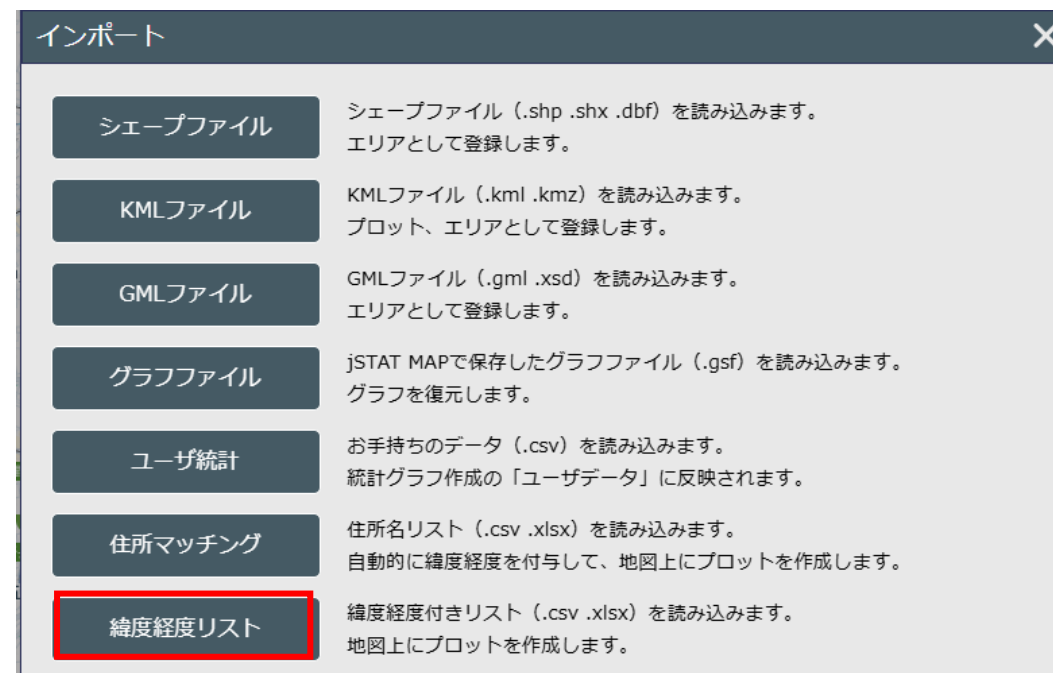
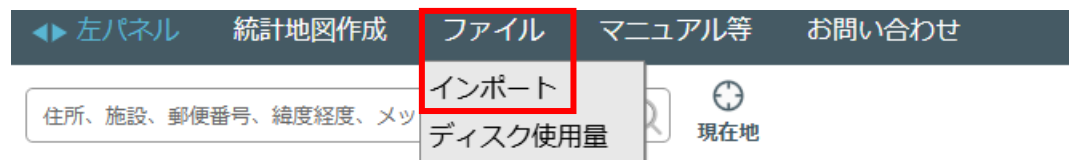
- 最初の列はプロット名に利用され、2 列目以降（経度、緯度以外）が属性項目となる。
- 2 行目に文字の場合は「S」、数字の場合は「N」を記述することで、各項目の属性の型を指定。

	A	B	C	D	
1	店舗名	住所	経度	緯度	
2	S	S	N	N	
3	コンビニ 1	東京都杉並区	139.5996	35.70402	
4	コンビニ 2	東京都杉並区	139.5996	35.70273	
5	コンビニ 3	東京都杉並区	139.596	35.70599	
6	コンビニ 4	東京都杉並区	139.6026	35.70111	
7	コンビニ 5	東京都杉並区	139.6047	35.70376	
8	コンビニ 6	東京都杉並区	139.6017	35.70869	
9	コンビニ 7	東京都杉並区	139.5992	35.69758	
10	コンビニ 8	東京都杉並区	139.6014	35.71166	
11	コンビニ 9	東京都武蔵野市	139.5914	35.69809	
12	コンビニ 10	東京都武蔵野市	139.588	35.70356	
13	コンビニ 11	東京都杉並区	139.6007	35.70454	
14	コンビニ 12	東京都杉並区	139.6015	35.7064	
15	コンビニ 13	東京都杉並区	139.5925	35.70814	
16	コンビニ 14	東京都武蔵野市	139.5895	35.7024	
17	コンビニ 15	東京都杉並区	139.5984	35.71451	
18	コンビニ 16	東京都杉並区	139.6135	35.70406	
19	コンビニ 17	東京都杉並区	139.6174	35.70346	
20	コンビニ 18	東京都杉並区	139.617	35.70663	
21	コンビニ 19	東京都三軒茶屋	139.5888	35.69229	
22	コンビニ 20	東京都杉並区	139.6215	35.703	
23	コンビニ 21	東京都杉並区	139.6134	35.68992	
24	コンビニ 22	東京都杉並区	139.6017	35.70438	
25	コンビニ 23	東京都杉並区	139.6002	35.70318	
26	コンビニ 24	東京都杉並区	139.5941	35.70937	
27	コンビニ 25	東京都杉並区	139.5992	35.70007	

コンビニの場所を地図上に表示

緯度経度リストを利用する場合

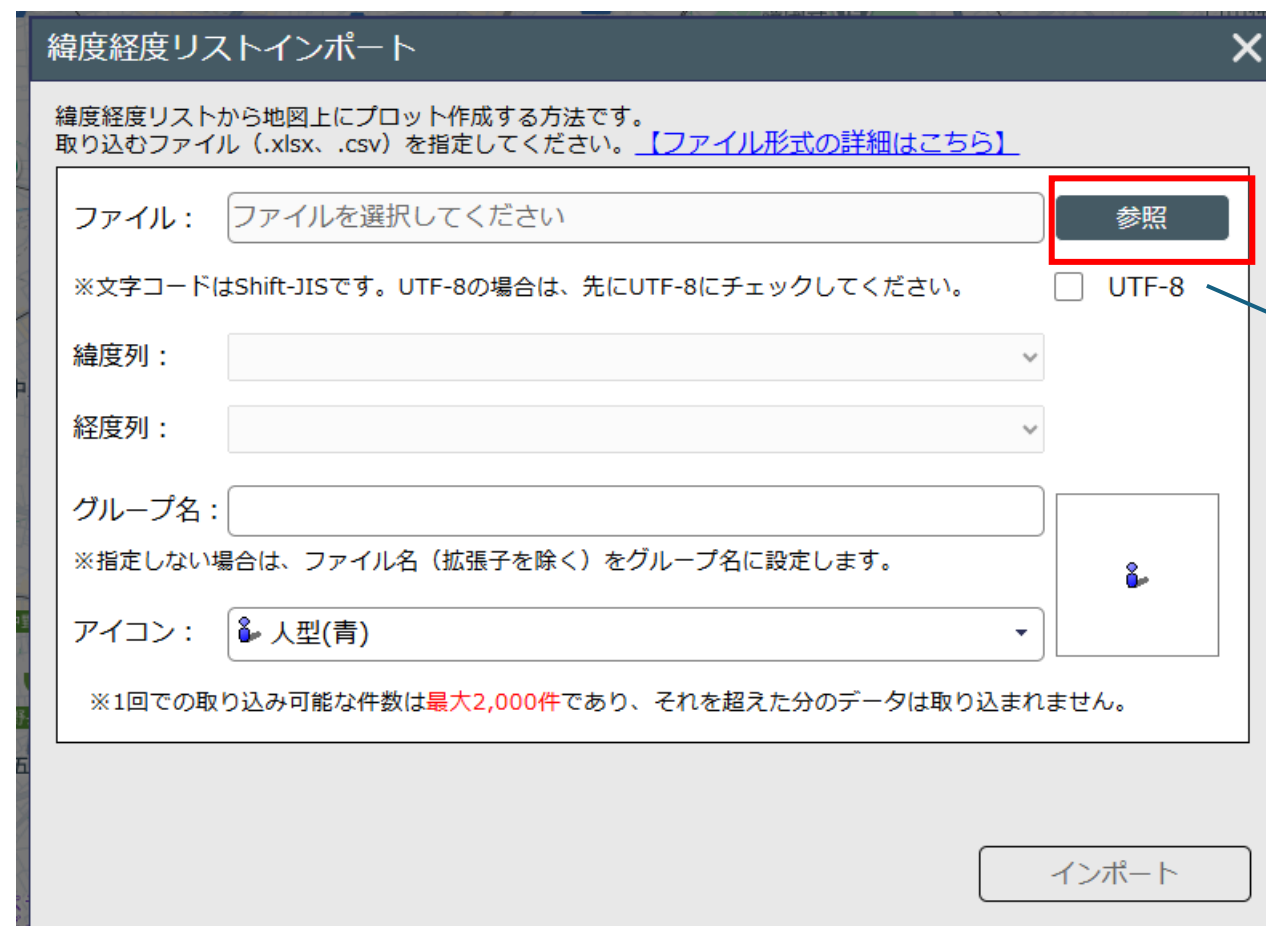
- メニューバーの上の「ファイル」をクリック。
- 「インポート」→「緯度経度リスト」を選択。



コンビニの場所を地図上に表示

- 参照ボタンをクリックして、緯度経度付きファイル（セミナーデモデータ（事例2））を指定。

緯度列、経度列及び
グループ名は、
参照ボタンと押すと
自動で設定される。



緯度経度リストインポート

緯度経度リストから地図上にプロット作成する方法です。
取り込むファイル（.xlsx、.csv）を指定してください。【ファイル形式の詳細はこちら】

ファイル： **参照**

※文字コードはShift-JISです。UTF-8の場合は、先にUTF-8にチェックしてください。 ☐ UTF-8

緯度列：

経度列：

グループ名：

※指定しない場合は、ファイル名（拡張子を除く）をグループ名に設定します。

アイコン：

※1回での取り込み可能な件数は最大2,000件であり、それを越えた分のデータは取り込まれません。

インポート

※CSVファイル内の
文字コードがUTF-8
の場合チェック

コンビニの場所を地図上に表示

- インポートボタンをクリックして緯度経度付きファイルをアップロード。

緯度経度リストインポート

緯度経度リストから地図上にプロット作成する方法です。
取り込むファイル（.xlsx、.csv）を指定してください。【[ファイル形式の詳細はこちら](#)】

ファイル： 参照

※文字コードはShift-JISです。UTF-8の場合は、先にUTF-8にチェックしてください。 ☐ UTF-8

緯度列：

経度列：

グループ名：

※指定しない場合は、ファイル名（拡張子を除く）をグループ名に設定します。

アイコン：

※1回での取り込み件数は最大2,000件であり、それを超えた分のデータは取り込まれません。

ピン型(緑)
四角形(青)
四角形(赤)
四角形(緑)
Shop

インポート

アイコンは
Shopを選択

コンビニの場所を地図上に表示

- 結果ファイルをダウンロードする。

緯度経度リストインポート

緯度経度リストから地図上にプロット作成する方法です。
取り込むファイル（.xlsx、.csv）を指定してください。【ファイル形式の詳細はこちら】

ファイル： 参照

※文字コードはShift-JISです。UTF-8の場合は、先にUTF-8にチェックしてください。 ☐ UTF-8

緯度列：

経度列：

グループ名：

※指定しない場合は、グループ名を自動で生成します。

アイコン：

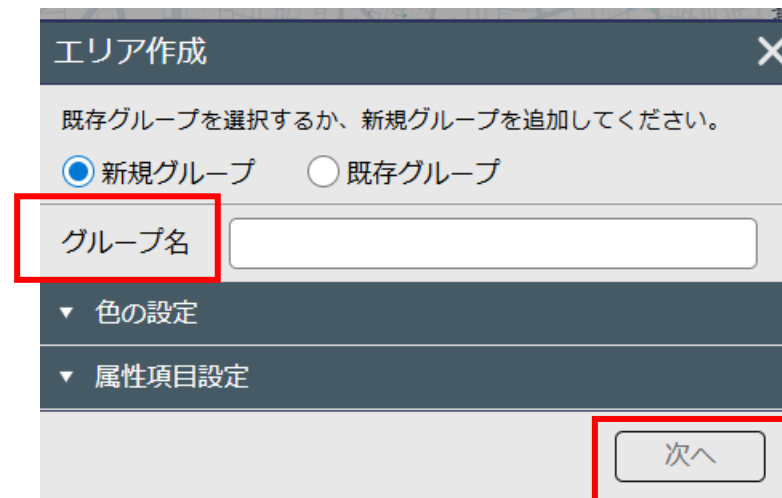
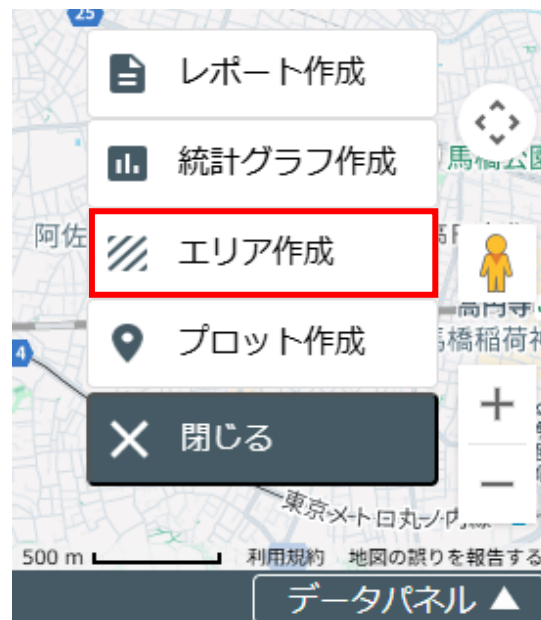
※1回での取り込み可能な件数は最大2,000件であり、それを超えた分のデータは取り込まれません。

結果ファイルダウンロード 閉じる

インポート

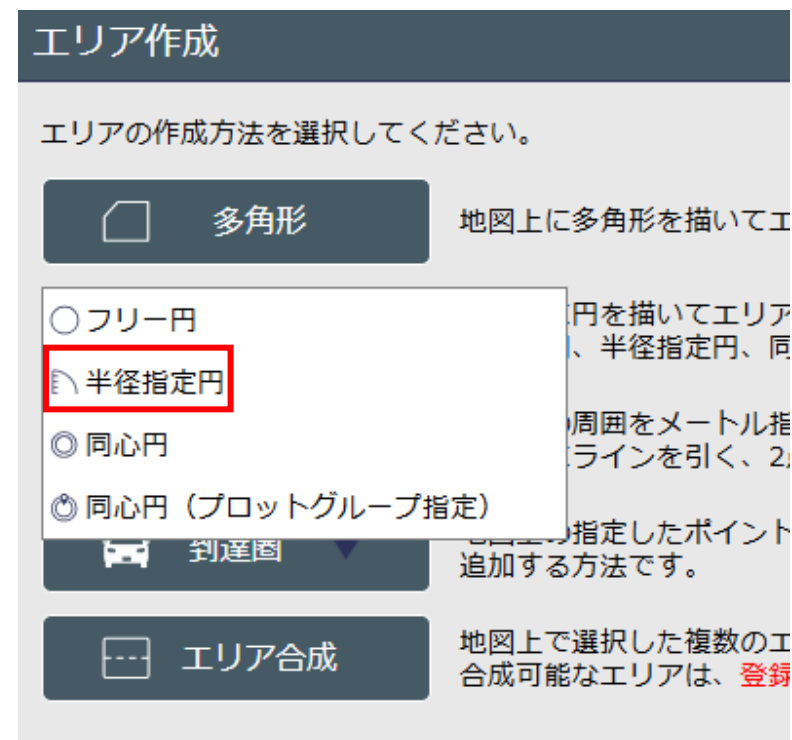
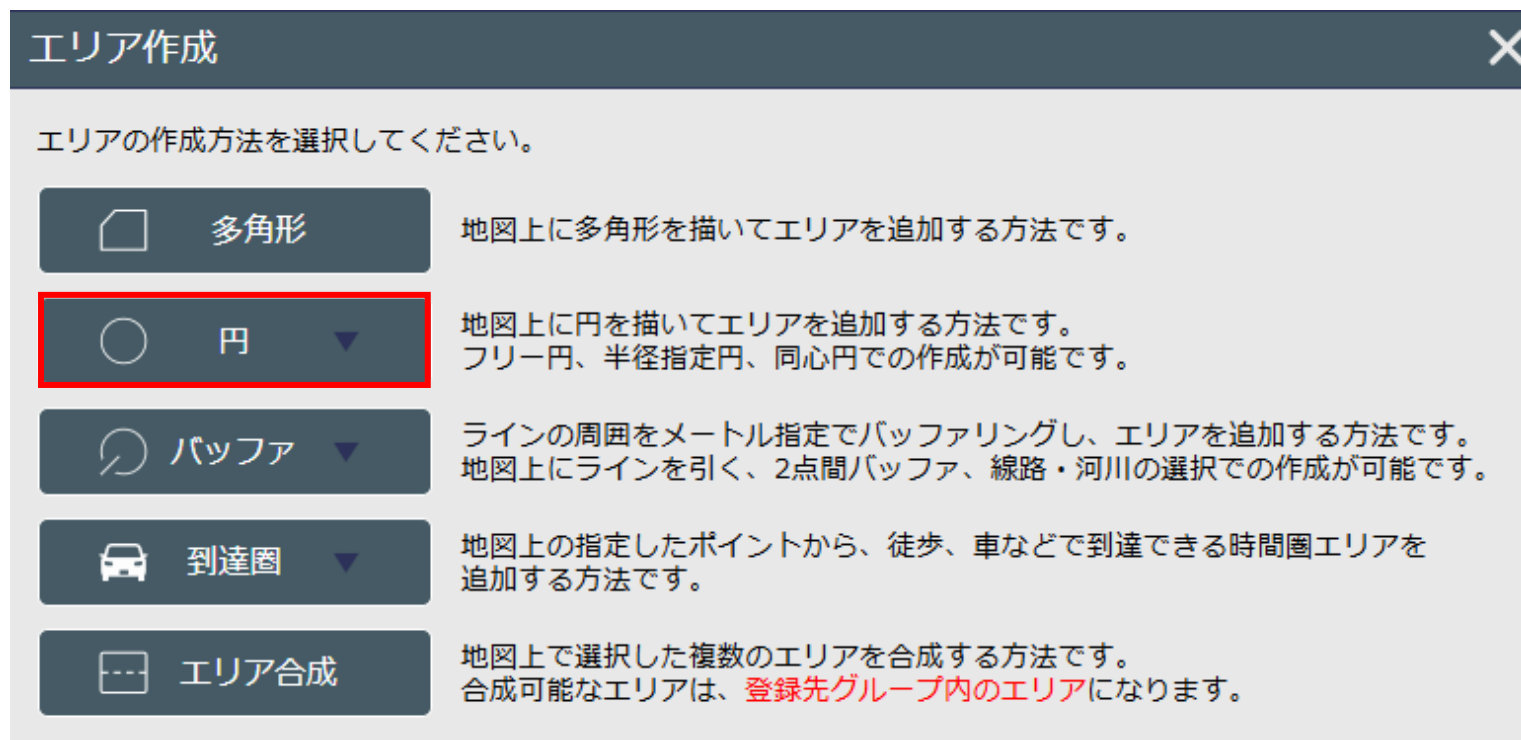
エリア作成

- エリアとは、地図上に示す円や四角形。
- 地図画面右下の「統計地図作成」ボタン→「エリア作成」を選択。
- グループ名を決める→「次へ」ボタンを押す。



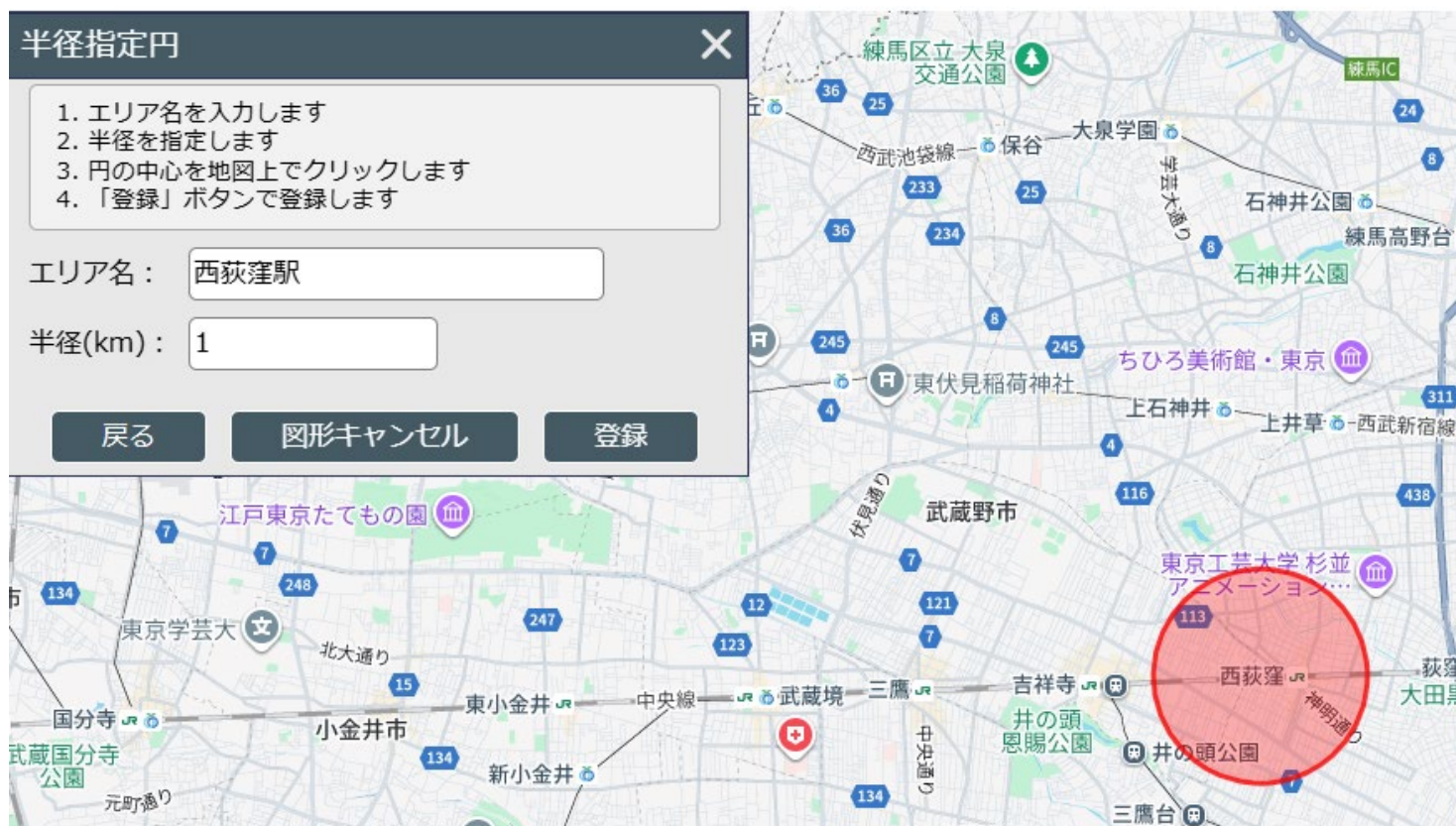
エリア作成

- エリア作成画面で、「円」ボタンをクリック→プルダウンリストから「半径指定円」を選択。

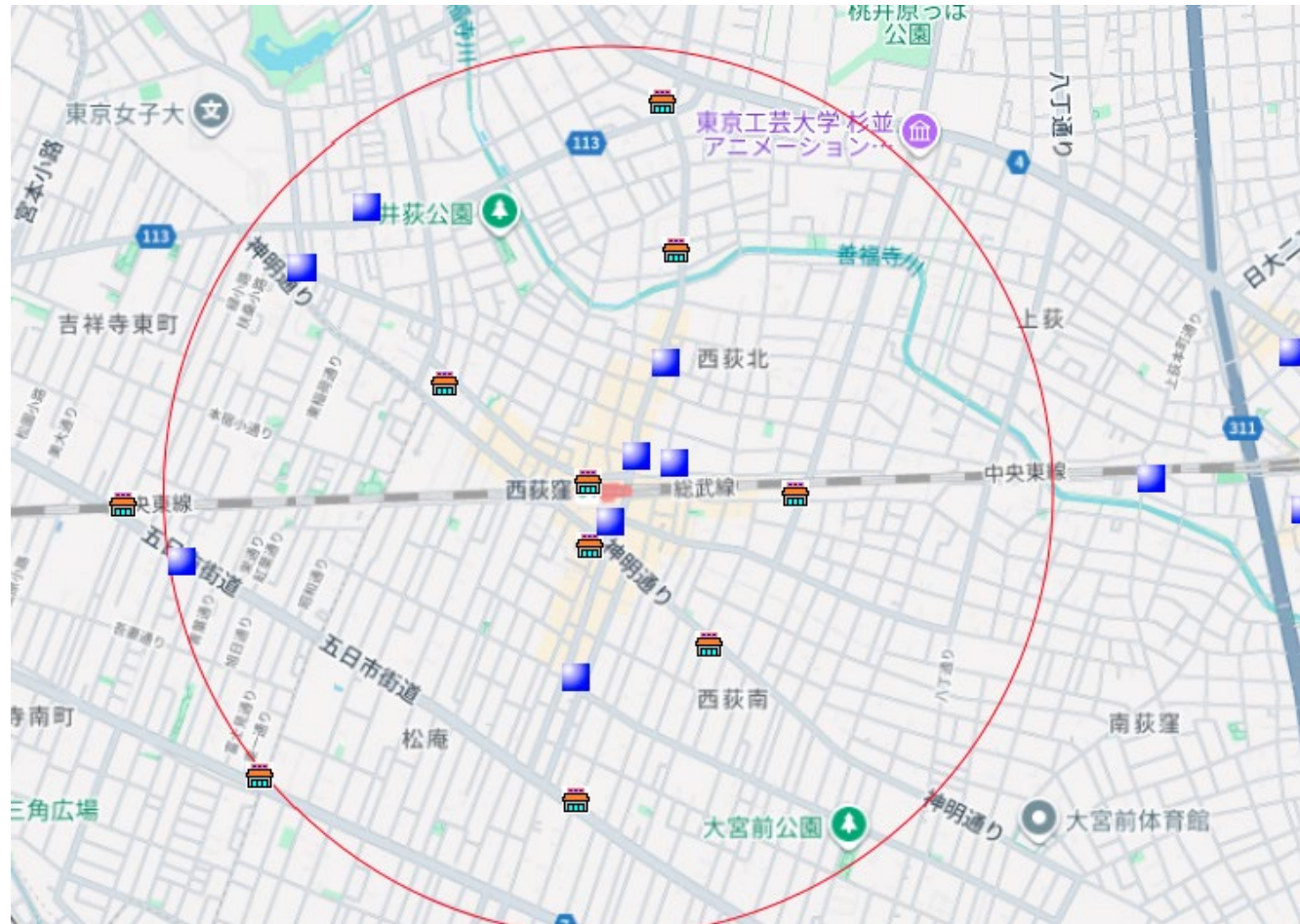


エリア作成

- エリア名、半径を指定する。



エリア作成



統計グラフ作成

- 地図画面右下の「統計地図作成」ボタン→「統計グラフ作成」を選択。



統計グラフ作成

- 表示される「統計グラフ作成」画面で指標を設定。

統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

統計データ ユーザデータ お気に入り

集計地域
5次メッシュ (250mメッシュ)

統計名
国勢調査

年または年月
2020年

統計表 (表題)
人口及び世帯

指標/データ 名称で検索

- ☐ 人口 (総数) 男
- ☐ 人口 (総数) 女
- ☐ 0～14歳人口 総数
- ☐ 0～14歳人口 男
- ☐ 0～14歳人口 女
- ☐ 15歳以上人口 総数

指標選択 選択解除

選択指標/データ 統計データ/グループ

人口 (総数)	/統計データ/国勢調査/2020年/5次メッシュ (250mメッシュ) /人口及び世帯
---------	---

お気に入りに追加 次へ

➤ 集計地域

➤ 統計名

➤ 年または年月

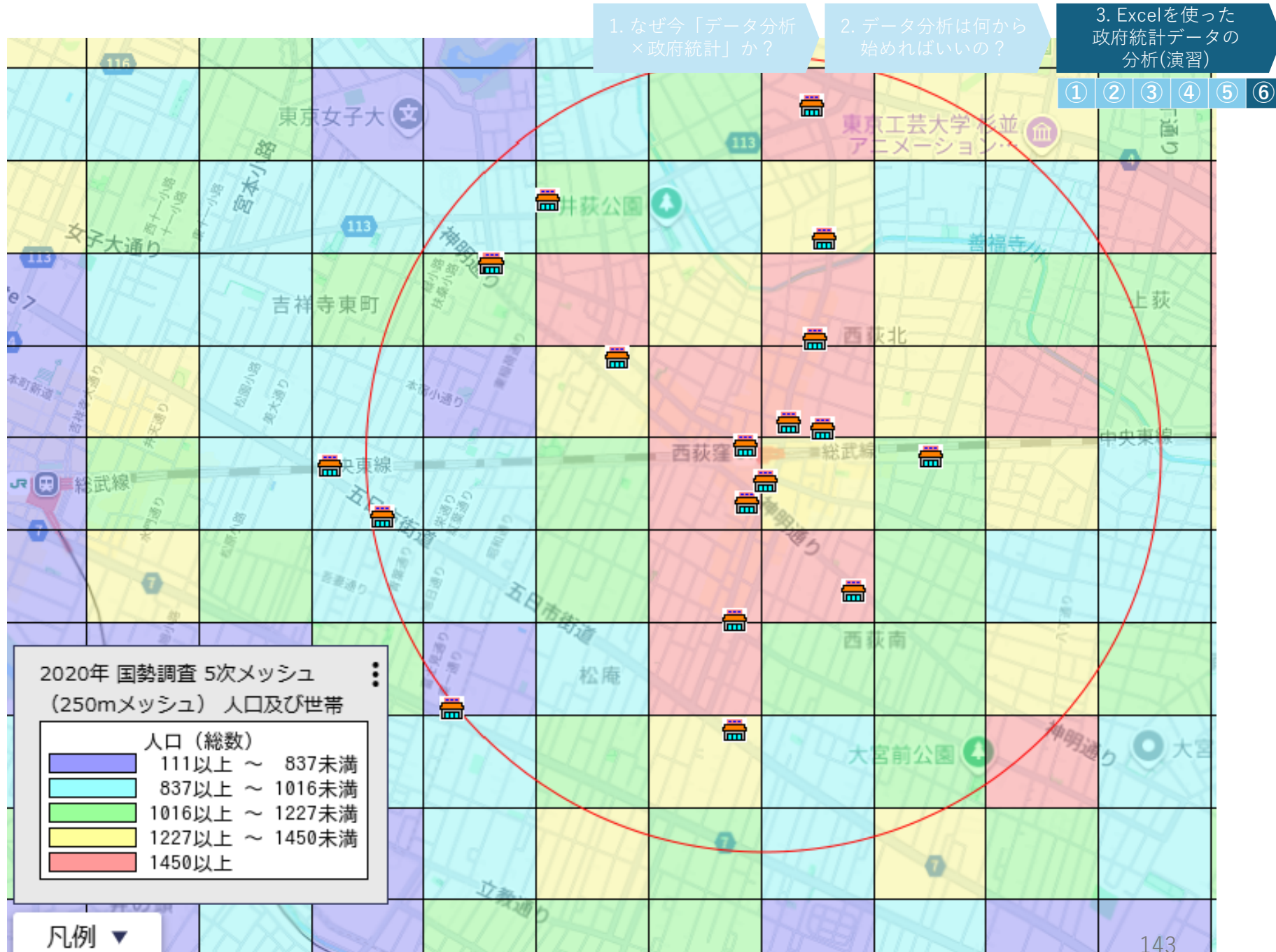
➤ 統計表 (表題)

➤ 指標／データ

5次メッシュ
(250mメッシュ)
国勢調査
2020年
人口及び世帯
人口 (総数)

分析の結果

- ・人口が多いのは赤い所。そこにはだいたいコンビニが出店している。出店していないところを調べると、スーパーがあった。
- ・次の出店候補としては黄色のところになる。
- ・青いところに出店しているコンビニもあるが、これは幹線道路沿いのため。
- ・こうした分析をすれば、出店戦略の参考になる。



まとめ

- 政府統計を活用することで、社会や市場の構造をより深く理解できる。
- 民間企業におけるデータ利活用の幅を広げる。
- 今後の実践に向けて：e-Stat・j STAT MAPを積極的に活用。
 - ✓e-Statは、各府省の700調査以上もの統計データを1箇所を集めて、簡単に検索でき、グラフや地図、ランキング等、様々な形でわかりやすく可視化ができる。
 - ✓jSTAT MAPは、国が公表している統計データを使用して統計地図を作成する他に、利用者の持っているデータを使用して地域分析が可能。施設整備、市場分析等、各種詳細な計画立案にも使える。